

71-278二



1200501285809



始



71-270

第四版

新藥日新全

藥學博士下山順一郎閱

藥劑官恩田重信著

藥學士酒井甲太郎補



明治三十三年七月

杏陰書屋藏版

新藥日新第四版序

新藥ノ書獨逸ニハフイツシエルノ著アリ帝國ニハ最
新藥一斑新藥纂論等アレモ或ハ文字ノ蟹行ニシテ我
ニ適モズ或ハ説ノ詳密ニ流レテ却テ新藥紹介ノ實ヲ
失フ者タラザルハナシ我新藥日新ハ乃チ然ラズ其收
ムル所ハ歐米諸雜誌ニ現ハレタル斬新ノ奇劑ニシテ
其説ク所ハ簡單詳約宜シキヲ得タリ宜ナルカナ訂正
増補未ダ數年ヲ出デスシテ版ヲ重ヌルコト已ニ三回ニ
及ベルヤ余竊ニ信ズ本書ノ世ニ益スル所アルヲ頃日

杏陰書屋主人三神君來テ告テ曰ク客冬増補ノ新藥日
新已ニ賣レ盡セリ依テ又第四版ヲ發行セントス乞フ
序言ヲ得ント余驚テ曰ク未ダ半歲ナラスシテ早ク已
ニ千餘部ヲ出ス又偉ナラスヤト主人答テ曰ク蓋シ本
書ノ世ニ信セラル、者敦ケレハナリト知ラズ果シテ
然ルヤ否ヤ竟ニ序シテ與フ

明治三十三年初夏

於麴街寓居

著者識

新藥日新第三版自序

日ニ新ニ、又日ニ新ナル者ハ、夫レ新藥
ノ謂ヒカ。本書第二版ヲ發行シテヨリ、
已ニ數年ヲ閱シ、此間新藥ノ出テタル
者、實ニ數十百種ニ達セリ、豈ニ盛ナラ
ズ哉。乃チ學友酒井甲太郎君ニ依テ、盡
ク之ヲ採集シ、是ニ此第三版ヲ發行ス。

序

三

若シ杏林ノ花、其色ヲ新ニシ、藥海ノ波
其趣ヲ異ニスルヲ得バ、著者ノ喜ビ、盡
クル所アラザラン。

明治三十二己

亥年初冬

於帝都麴街寓舍

恩田重信誌

新藥日新第一版自序

日日ニ新ニ又日ニ新タニセントハ是レ湯聖ノ訓ヘナリ守舊懈怠ヲ戒ム
ルノ語ナリ首ヲ回ラシテ歐米科學ノ進歩ヲ觀ルニ恟トニ日ニ新ナルノ
實アリテ存ス昨日ノ新奇ナル者今日陳腐ノ歎ナキハナシ醫藥ノ風景其
歎殊ニ甚シ矣獨逸國ニ製藥ヲ以テ其名ノ藉甚ナル者ニアリーハ伯林ノ
「シエーリング」商店トシ一ハ「ダルムスタット」ノ「メルク」商社トス競
フテ醫藥ノ大家ヲ聘シ一方ニハ全世界ノ生藥ヲ吸集シ盡ク分析ヲ行ヒ
一方ニハ含密學ノ高遠ナル原理ヲ應用シ深ク分子ノ組織ヲ藉ヘ神藥玄
珠ヲ製出シ家鬼以テ其効ヲ判シ海豚以テ其毒ヲ檢シ而シテ其世ニ紹介
セラル、者日ニ數十百種月ニ千有餘品慧眼ノ新誌ハ報道ニ尺歩ノ躊躇
ヲ懼レ博雅ノ君子ハ應用ニ寸陰ノ遲速ヲ爭フ此ニ於テ乎杏林花日日ニ
其色ヲ新タニシ醫海波時時ニ其趣キヲ改ム竟ニ昨日ヲ觀テ以テ今日ヲ

言フヘカラザルニ至レリ豈盛ナラズ哉世ニ新藥ノ著書乏カラス然レトモ皆泰西ノ成書ヲ將チ來テ翻譯シタル者ナリ日新ノ知識ヲ補フ能ハサル遠シ矣著者ハ此ニ憂アリ廼チ千八百九十一年ヨリ本年六月ニ至ル凡ソ四十二ヶ月間ニ刊行シタル歐米各國ノ新誌ヲ洽ク涉獵シ緻密ニ討究シ製法性状醫効用法服量極量貯藏ノ法ノ苟モ記スベク傳フベキ者ハ細大漏サズ顯微盡ク掲ケ坐シテ藥ヲ靈山ニ求メ掉サスシテ珠ヲ赤水ニ探クルノ功ヲ奏シ編シテ本末二卷トシ名ケテ新藥日新ト云フ東亞ノ醫海日本ノ杏林其波ヲ改メ其色ヲ艶ニシ生民幸福ノ日ニ新タニ又日ニ新タニナルヲ得バ著者ノ希望此ニ達シテ湯聖ノ訓ヘモ空カラザラント欲ス

明治二十七年七月中旬

著者 序

新藥日新第二版自序

予鑿ニ日清ノ其將ニ戰端ヲ開カントスルニ當リ杏陰書屋主人ノ需ニ應シ一種藥數百種ヲ撰シ正ニ梓ニ付セントシテ未タ端緒ヲ得ス充員ノ命ニ接シ急ニ筆ヲ投シ劔ヲ振フテ軍ニ從ヒ去リテ遂ニ又願ル所アラサリキ遼東ノ雪臺灣ノ熱年ヲ閱スルコト茲ニ二歲戰袍ヲ卸テ始テ舊巢ニ歸レハ何ソ料ラン其印行數百部ニ達シテ又増補再版ノ需ニ接セントハ然ル筆硯ヲ廢スル久焉筐中新藥ノ記シテ贈ルヘキ者ヲ見ス乃チ友人ニ頼リ僅ニ數十種ヲ抄録シテ杏陰書屋主人ノ厚意ニ報ント欲シ已ニシテ稿ヲ脱シ正ニ再版セラレントス由テ一言ヲ卷首ニ辯スト云爾

明治二十九年七夕涼陰下

剛堂逸人誌

新藥日新序

所謂牛溲馬渤敗鼓之皮ト雖モ嘗テ一度ハ新藥タリシニ相違ナシ其當時ニ在リテ草根木皮ヲ用フルカ如キハ新ノ又新ナルモノニシテ時人ハ必ス其奇ヲ賞賛シタルナラム中世瓦禮奴氏出テ、丁幾越幾斯アリ今人亦タ亞爾加魯乙度ノ類ヲ製スト雖モ是等ハ製藥術ノ順序的進歩ニシテ例ヘハ氣ヲ液トナシ液ヲ晶トナシタルニ過キサリ然レトモ輓今ノ有機化學カ我カ藥學ニ及ホシタルノ影響ハ大ニ彼ト其趣ヲ異ニスルモノアリソハ人工集合法ヲ以テ理想ノ物体ヲ創造スルコト之レナリ見ヨ最近五年間ニ於テ世ニ公ニセラレタル新藥ハ多ハ皆ナ此類ニシテ其數既ニ百ヲ以テ算スルニ至レリ或人ハ曰ヘリ芳香体ハ解熱防腐ニ

藥ノ無盡藏ナリト成ル程舶齋ノ新誌每號必ス其二三ヲ載セサルコトナシ想フニ如此ンハ新藥ノ事畢ニ專門ノ一科タラン而シテ本邦尙未タ這般ノ著譯ニ乏シ豈ニ遺憾ナラスヤ頃日恩田君新藥日新ナルモノヲ著シ來リテ余ニ示ス余受ケテ之ヲ閱スルニ其管ニ最新藥ヲ網羅シタル而已ナラス所論精覈行文簡潔而モ能ク其要領ヲ攬リ殊ニ每說其出所ヲ附記シタルカ如キハ此種ノ著述トシテ實ニ千鈞ノ價值アル所ナラム茲ニ於テ余亦タ遺憾ナシ因テ一言ヲ卷首ニ辯スト云フ

明治二十七年九月上浣於大本營

辱交 平山增之助識

序
 凡ソ療病ノコト、先ヅ其病ノ狀ヲ明カニシテ、然後藥品ヲ以テ之ニ應ズルニアリ、而シテ病狀ハ頗ル多般ナリ、性ヲ同フスル一病ニアリテモ、其勢ノ進退急慢洵ニ複雑ナリトス、既ニ然ルカ故ニ、其進ムモノハ之ヲ制セザルベカラズ、其退クモノハ之ヲ助ケザルベカラズ、其急ナルモノ、其慢ナルモノ、亦皆之ニ應ズルノ方ナカルベカラズ、是ニ於テカ又藥品ニ待ツモノ多シ、近者病理ノ學大ニ進ミテ、而シテ病狀ノ識甚ダシク積ミ、一方ニアリテハ製藥ノ術亦大ニ開ケ、而シテ新藥ノ數日ニ加ハリテ止マズ、恩田君本藥劑ノ學ニ精シ、則チ其日新ノ藥品ヲ取リテ之ヲ世ニ紹介シ、以テ大ニ治療界ノ人ニ益セトス、此著アル所以ナリ、此著一タビ世ニ出ヅルトキ、其大ニ歡迎セラレンコト、予ノ深ク信ズル所ナリ、

明治二十七年九月廿四日

宮入慶之助

新藥日新第三版目錄

○ハ舊版所載ノ分
 ●ハ増補シタル者

伊部

- イヒチオール硫酸安母尼亞
- イヒチオール
- イヒチオール硫酸那篤爾母
- イヒチオール硫酸利知烏母
- イヒチオール硫酸亞鉛
- イヒチオール硫酸水銀
- イヒチオール麻風涅失亞
- イヒタルピン
- イツアンチヒリン
- イツココカイン
- イツイクゴニン
- インゲストール
- イザール

頁數

○イトロール	七
○イムルリアリン	八
○イナイン	九
○インアルピン	十
○イリジン	十一
●イスタシ	十二
●硫黄ワツゲン	十三
○ロレチン	十四
○ロレチンナトリイム	十五
○ロレチン加爾叟母	十六
○ロワテリン	十七
○ロベリン	十八
○ロベリア、テレツサ	十九
●蠟彩粥石鹼	二十
●蠟大理石鹼	二十一
○蠟漿石鹼	二十二

○蠟彩劑

波部

○ババイン

○抱水テルペン

○抱水プロマール

○抱水アツチールクロラール

○抱水アミーレン

○バラクロラローゼ

○バラフオーム

○馬尿酸

○バラクレソチン

○パプチシア、チンクトリア

○バイクル根

○ハヤ

○ハセリー子

○ハシシユ

○琴角越幾斯

十二

十四

十五

十六

●ハイデルベル越幾斯

●破傷風抗毒素

●肺汁

○ババヨチン

○パンクレアチン

●半柔軟性白色華攝林

○ババグエリン

○バラアルデヒド

○バラニトロフェノール

●バラフオーム

●バラクロールフェノール

●バラフオーム古骨胃膜

●巴舞寶キシロール

○バツソリンバステ

○ニトロケリセリン

○ニツケル酸化炭素

十七

十八

十九

二十

二十一

二十二

二十三

二十四

二十五

○乳酸

○ニオリー

○乳酸古加乙涅

●乳酸銀

●乳酸石炭酸偏里設林

●乳越幾斯

●乳粉

●二沃度撒里失爾酸フェニールエステル廿八

●ニルヴァニン

●ポロタルトロール

●ポリフォルミン

○ホロカイン

○ポロフォルミクム酸アルミニウム

○ポドファイルロトキシン

○ホルニールアツエタート

○ホルニールホルミアート

二十六

二十七

二十九

三十一

三十二

三十三

三十四

○ホルニールワレリアナート

○ホマトロピ子

○ポロフェニール酸

○ポロザリチール酸

○ホルゲン

○ホルドグルチン

○ホンドユチン

○ホモアトロピ子

○ホバイン

○ポドファイルリン

●ホヘミア製リゾール

○ホルムアルデヒド

○ホルモール

○ホルマリット

○ポラール

○硼酸水

三十五

三十六

三十七

三十八

● 硼酸加爾叟謨

四十

● 硼撒里失爾偏里設林

四十

● 硼酸撒里失爾酸那篤僞謨

四十一

○ ホールグリセリンラノリン

閉部

○ ベンツォール

四十二

● ベンツアセチン

四十三

○ ベンツォイルグアヤコール

四十五

○ ベンツォゾール

四十六

○ ベンツォナフトール

四十九

○ ベンツォバラレクソール

五十

● ベンツォヨードヒドリ

○ ベンツォイルアミードフェニール 醋酸

五十一

● ベトロズルフォル

(四)

○ ベンツォフェノチイド

五十二

● ベプトメツルリン

● ヘムアルプミン

● ヘモフェルルム

● ヘモフェルローゲン

● ベタオイカイン

● ベトクレオソール

● ヘトール

● ヘモトロフィン

● ベプトオウアリン

○ ベプトーシ糊

● ヘロイン

● ベロニン

● ベタレスアルギン

● ヘマトゲン

● ヘシクラニン

● ヘモ子イン

六十

○ ヘモスタチクム

六十一

● ヘルミチー子

● ヘルコソール

● ヘルツツシン

● ヘルロチン

● ヘリチダーテス

● ヘプリン酸

● ベプトチロイゲン

● ベプトチンオイゲン酒

● ベー印オイカイン

○ ベタナフトールウイスマト

○ ベラギン

○ ベルベリン

○ ベベリン

● ヘルコ

● ヘルコグナツク

● 乾燥ヘマトゲン

○ ベルレチリン

○ ベラ質

○ ベルラドンニン

○ ヘレニン

○ ヘレポレイ

○ ベレイリン

止部

○ トリクレソール

● トリフォルモール

● トリチナル

● トリオナール炭酸水

○ トリピリン

● トリフェニン

○ トリザール

● トリールアンチピリン

○ トロバコカイン

六十八

六十九

七十

七十一

七十二

七十三

七十四

七十五

七十六

七十七

七十八

七十九

八十

八十一

八十二

八十三

八十四

(五)

● 硫酸ヒノリン	百十九	● リシゲン	百二十七
● 硫酸砒素	百十九	● リセトール	百二十七
○ 硫酸亞爾密紐古加乙	百二十	● 奴部	
○ 硫酸ロベリン	百二十	○ ヌクレイン	百二十八
○ 硫酸影射	百二十一	● ヌクレイン液	百二十九
○ 硫酸コツフェイン	百二十一	● ヌクレオアルプミナーツ	百三十
○ 硫酸タルリン	百二十二	○ ヌトロール	
○ 硫酸石炭酸亞鉛	百二十二	○ ヌトリン	
○ 硫酸アニリン	百二十三	○ 留部	
○ 硫酸漿	百二十三	○ ルルリン	百三十一
○ リチエトール	百二十三	● ルプロール	
○ リソルム ポヘミタム	百二十四	○ 遠部	
○ リンチン	百二十四	● ガイガロロール	百三十二
● リノスクレリン	百二十四	● ガイノール	百三十二
● リマノール	百二十四	● ガイレソール	百三十三
○ リケノスルフィーン	百二十五	● ガイカイ	百三十三
		● ガイカシン	百三十四

● ガイリトロール	百三十五	○ オエクロリン	百四十五
● オルフオール	百三十六	○ チキシ	百四十六
○ ガツアリン	百三十六	● 黄熱血清	百四十六
● ガルトトリヒリン	百三十七	○ オルトオキシゲフェニールカルボン酸	百四十七
● オマール	百三十七	○ オムフアラ油	百四十七
● 埃製イヒチオール	百三十七	● オクリン	百四十八
● オエナントトキシ	百三十八	○ チキシスバルテイ	百四十八
○ 阿巽油	百三十八	○ オレチクレソート	
● オイドキシ	百三十九	○ オレチグアヤコール	
○ オエカリグテオール	百三十九	○ オエフオルピヤ、ピルリフェラ	
○ オエリビ	百四十	● オウアゲン	
● オルヒゲン	百四十	○ オスミユーム酸	百四十九
● オルトフォルム	百四十二	○ オスミユーム酸加里	百四十九
● オイロピン	百四十二	○ チドール	百五十
● オイフタルミン	百四十三	○ オキシナフトイ酸	百五十
● オイロピン、假漆	百四十三		
○ オエロフェーン	百四十四	和部	
		○ ワニリン	

●アセロキシチ子	百五十一	○カタルチン酸	百六十五
●レレリゲン	百五十二	○カンフェルアイゼン	百六十六
○ワソゲン	百五十三	○ガラノール	百六十七
●ワセロン	百五十四	○ガラコトフェノール	百六十八
●ワリドール	百五十五	○ガロプロモール	百六十九
加部		○ガラール	百七十
○ガリチン	百五十六	○カッフエーイ子	百七十一
○カルホルンド	百五十七	○カンナピン	百七十二
○カルバイン	百五十八	○カンナビノン	
●カルゲン	百五十九	●痛腫血清	
●ガララノール	百六十	●可溶性ポリフォルミン	
●カルニフェルリン	百六十三	●可溶性ヒランチン	
●ガルロフォルミン	百六十四	●乾燥實扶理里治療血清	
○カンクロイン		●乾燥チレオイゲン	
○カンタリゲン		●乾燥鐵	
○カンタリゲン酸コカイン		●乾燥軟膏	
●カタロール		○肝油	

○カルノリン	百七十四	●ヨードアルバチーテ	百八十一
○乾燥マルライヌム		○沃度セシューム	百八十二
●含水蠟華攝林		○沃度叻母エムルゲチン	百八十三
○カイリン		●ヨードチリン	百八十四
○甘汞刺乃林		○沃度ピリン	百八十五
○カスカラ サクラダ流動紙機斯	百七十五	○沃度ワソゲン	百八十六
○ガウルテリヤ油		●ヨードル古管胃誤	
○ガリノール	百七十六	○沃度クロール	百八十七
○ガラニリド		●沃度フェニン	百八十八
與部		●ヨドフェー	百八十九
○ヨードホルミン	百七十七	●沃度シューム	
○沃度叻	百七十九	●ヨードシューム液	
●沃度食鹽液		●ヨードシューム酸液	
●ヨードゲン		●沃度澱粉	
○沃度イソブツチール、フェノール		●ヨードフォルミン	
○沃度イソブツチール、クレソール		●ヨードフォルマル	
●ヨードアニソール	百八十	○沃度虞備設林	

● 沃度ステリフォルミウム	百九十
● ヨードフォルミン水銀	
● ヨードヨードフォルミン	
○ 沃度ツォイン	百九十一
○ 沃度單尼涅	
○ 沃度ソ安息酸	
● 沃度スクチンミッド	
● 沃度ルビゲム	
○ 沃度チモール	百九十二
● 沃度脂肪	
● 沃度知母爾フォルムアルデヒド	百九十三
● 沃度クレシチ	
○ ヨドール	百九十四
● ヨードガリチン	
● 沃度テルピン	百九十五
● 沃度知母仿謨	百九十六

● タノサール	百九十七
● タンナルピン	百九十九
○ ゲツリン	二百
○ 脱毛藥	
○ 炭酸グアヤコール	二百二
● 炭酸パラアセトフェノールエチール	二百四
● タフオソート	二百六
● 炭酸規尼涅	
● タフナルボリン	
● 炭酸ペーター、ナフトール	
○ 炭酸クレチソート	二百六
● タンノピン	
○ タルリン	二百七
○ タンナール	一百
● 單寧酸オレキシチ	二百九
○ 第二ナチザリチル酸ナトリウム	二百十
○ 第三コロール化フェノール	

○ 第三メチールアミン	
○ 單尼涅石鹼	
● タンニゲン	二百十一
○ 第二沃度撒里失兒酸	二百十二
● 大理石石鹼	
禮部	
● レニガルロール	二百十三
● レニロビン	二百十四
● レビーチ	二百十五
○ ソゾール	二百十六
○ レセダ油	
○ レゾルビン	
○ レゾルチン	二百十八
○ レゾルチン醋酸水銀	二百二十
● レゾルチノール	二百二十一
○ レゾルチールアルギン	二百二十二
○ レグッローゼ	

○ レチノール	
○ レスアセゲン	二百二十三
會部	
○ ソマトーゼ	二百二十三
○ ソルフイノール	二百二十四
○ ソムナール	
○ ソラヌム、ガヤヌム	二百二十五
○ ソラニン	
○ ソルトール	
○ ソルゲエオール	二百二十六
○ ソゾール酸	
○ ソルフイノール	
○ ソザアルブモーゼ	二百二十七
● ソゾオポロール	二百二十七
○ ソゾヨドール	
○ ソゾヨドール那篤儺謨	二百二十九
○ ソザール	二百三十

○若鉛製劑

津部

- ツツケリン 二百三十一
- ツエアリン 二百三十二
- ツエルベリン 二百三十二
- ツエトラリン 二百三十三
- ツエルロイド 二百三十三
- ツメノール 二百三十四
- ツツソール 二百三十四
- ツオタール 二百三十四
- ツベルクリン 二百三十四
- ツスソール 二百三十五
- ツエレウス、グラランダフロルス 丁幾 二百三十五

根部

- 子ロリン
- 子リウム、オレアンデル根 粘着液

那部

- ナフトレゾルチン 二百三十六
- ナフタリン 二百三十六
- ナフト個里設林酸芥公 二百三十八
- ナフトホルミン 二百三十八
- ナフトール 二百三十九
- ナフトールホル水 二百三十九
- ナフトピリン 二百四十
- ナフタロール 二百四十
- ナスロール 二百四十一
- ナフチオン酸 二百四十二

良部

- ラクチールトロピン 二百四十三
- ラニオール 二百四十三
- ラクチールトロペイン 二百四十三
- ラクトフェニン 二百四十四

字部

- ランタナ、スピサ 二百四十五
- ラクトール 二百四十五
- ライファン 二百四十六
- ラソファーン 二百四十六
- ランタニン 二百四十七
- ラルギン 二百四十七
- 刺乃林 二百四十八
- 刺乃林華設林 二百四十八
- ラナイン 二百四十八
- ラクトナフトール 二百四十九
- ラニコール 二百四十九
- ラノフォルム 二百四十九
- Δシン 二百四十九
- ウロトロピン 二百五十
- ウイロール 二百五十
- ウロトロピン 沃度仿誤ガイセ 二百五十

乃部

- ウリゾルウイン 二百五十一
- ウレタン 二百五十二
- ウカムピン 二百五十二
- ウリプトル 二百五十二
- ウロフェリン 二百五十三
- ウラール 二百五十三
- ウライン 二百五十四
- ウアペイン 二百五十四
- ウレキシシ 二百五十五
- ウルサール 二百五十五
- ウエルロリン 二百五十六
- ノゾフェン 二百五十六
- ノエリン 二百五十六
- ノルトロピノン 二百五十七
- ノエロジン 二百五十七

久部

○クロラールカルブアア ミッド 二百五十八
 ●クレオソート 亞磷酸エステル 二百五十九
 ○クロラール フォルムアミッド 二百五十九
 ●格魯刺爾アセトフェノキシム 二百六十
 ○クロラールカンフェルグリセリン 二百六十一
 ●グロブリン 二百六十二
 ●格魯拉爾咖啡混 二百六十二
 ●クレトール 二百六十三
 ○クレソール 二百六十四
 ○クロラローゼ 二百六十六
 ●嘔囉仿母水 二百六十六
 ○クロロプロロム 二百六十七
 ●グアカムフオイル 二百六十七
 ○グアヤコール 二百六十八
 ○純粹結晶グアヤロトル 二百六十九
 ○グアヤコールヨドホルム 二百六十九

●グアヤセチン 二百七十
 ●グアヤグイン 二百七十
 ●グアヤコールピペリヂン 二百七十一
 ●グアヤチール 二百七十一
 ●クレオゾフォルム 二百七十二
 ●グアヤコフオスファール 二百七十二
 ●クリソトキシン 二百七十三
 ●グエトール 二百七十三
 ○グリコゲラチン 二百七十三
 ○クロール化エチール 二百七十四
 ○クロール化フェノール類 二百七十四
 ●クレオフォルム 二百七十五
 ○クレソールサボナート 二百七十五
 ○クレザロール 二百七十六
 ●クレアルビン 二百七十六
 ○クロトノール酸 二百七十六
 ○クロラール、アンモニウム 二百七十六

●クレオソタール 二百七十七
 ●クリソファン酸蒼鉛 二百七十八
 ●クレホルルアルビン 二百七十九
 ●クリスタルリン 二百七十九
 ○クレネリン 二百七十九
 ●クレサミン 二百七十九
 ●クレオゾリッド 二百七十九
 ●グロブラレチン 二百八十
 ●枸橼酸銀 二百八十
 ●枸橼酸磷酸那篤留誤 二百八十一
 ●クリスタルローゼ 二百八十一
 ●クレオサール 二百八十二
 ●クレサプロール 二百八十二
 ●グリコソルウォール 二百八十三
 ○クレソヒン 二百八十三
 ●クエックシルベルオキシチアニード 二百八十四
 ●クロムヨードリポール 二百八十四

○結列阿曹篤 二百八十七
 ●結麗阿曹篤麻偏涅失亞 二百八十七
 ●クレオソート汁 二百八十八
 ●クオアトール 二百八十八
 ●グアヤコール亞磷酸エステル 二百八十九
 ●クロロリン 二百八十九
 ○クロラールオキシシメ 二百九十
 ●過硫酸曹達 二百九十
 ●過滿俺酸那篤留誤 二百九十一
 ●過滿俺酸加爾叟誤 二百九十二
 ○過酸化那篤留誤 二百九十二
 ●クレオソート卵 二百九十三
 ●偏答百兒加紙代用品 二百九十三
 ○クラーリン 二百九十四
 ○クラージュン 二百九十四
 ●クリオフィン 二百九十五
 ○クロモツ油 二百九十五

○クエツキン	二百九十六	○マルツ越幾斯	三百十
○クトール及可溶性クトール	二百九十八	●マーク氏健胃液	三百十一
○クリンテリアロブデスタ	二百九十九	計部	
○クイルラヤ皮	三百	○ケフイール	三百十一
○クエアラヒン	三百二	○ケイレン	三百十二
○クレソール製劑	三百三	○ゲンチシン	
○クロアートル	三百四	○ゲンチセイイン	
○クレソサール	三百七	○ケフイール錠	三百十三
○クプロヘモール	三百九	○ゲルセミー丁幾	
也部		○ゲルセミン	
○ヤトロール		○ゲオソート	
○ヤムアール		●ゲオフォルム	三百十四
○藥質石鹼		●ケレン、メチール	三百十五
摩部		○血液	
○マルロール		●血清未	三百十六
○マラキン		●血清彩劑	
●麻仁越幾斯		●血清合劑	

不部

○桂皮酸	三百十七	○アテア護謨	三百二十六
●桂皮酸メタクレソールエステル		○フルフロール	
○プロマリン	三百十八	○親羅護水素酸	
●親羅母仿護水		●親羅護脂肪	三百二十七
○プロモシーム	三百十九	○プロームアミード	
○プロモピリン		○アツチールヒアナル	
○プローム水素酸ムアウイン		●沸騰含石灰水	三百二十八
●親羅護水素アレコリン	三百二十	●ファンゴ	三百二十九
○親羅護水素酸ホマトロビーネ	三百二十一	○フェルアルブアモーゼ	
○親羅護金	三百二十二	○フェリピリン	三百三十
○プロモール		○フェロスチアチン	
●親羅護エチールフォルミン		○フィルモゲン	三百三十一
○アラツシコン	三百二十三	○フェロピリン	
○プロモホルム	三百二十四	○フェルロピリン	三百三十二
○プチロメール		○フェルリピリン	三百三十三
●親羅母仿護ルム	三百二十五	●フルチールキーセルアンモニウム	
		○フルチレスチエーン	

●フルオールホルアンモニウム三百三十四
 ●フォルモピリン
 ○フライツシエプトン 三百三十五
 ●フナトローロール 三百三十七
 ●フェルリプトン
 ●フォルマリオン石鹼
 ○フルオール水素酸
 ●フリードルフェル氏咳嗽汁 三百三十八
 ●フェナシチピリン
 ●フェナトール 三百三十九
 ○フェナツエチン
 ○フェニールヒドラチン 三百四十二
 ○純弗爾阿兒那篤留謨
 ○フェノコルム
 ○フェノザリール 三百四十六
 ○フェノリン 三百四十八
 ○フェノールウイスムート

●不溶性ポリフォルミン
 ●フェノサール
 ○フェニール醋酸
 ○フェニールプロピン酸 三百四十九
 ○フェニールウレタン
 ○フェニール石灰水 三百五十一
 ○フェニール硼酸
 ○フェニールザリチール酸 三百五十二
 ○フェノール樟腦 三百五十二
 ●フェノールズルフォン酸銀 三百五十三
 ●フェノサリール
 ●フェネソール
 ●フェノスクチン
 ●フェノスクチン酸那篤留謨
 ●フェシン
 ○フロリドチン 三百五十五
 ●フォスフォオタール

●プラスマナザル 三百五十六
 ●プロスタターデン
 ●プロトゲン
 ●フォソート 三百五十七
 ●プラスミン
 ●ブラソイド 三百五十八
 ●プロピルアミン
 ●フェルノリット 三百五十九

古部

○古加乙涅
 ○コツフェイネ
 ●コカピリン 三百六十一
 ●古加乙涅明礬
 ○コツフェインヨドール
 ●コルラシン 三百六十二
 ●コロダイン
 ●ゴノロール 三百六十三

○コツフェインコロラール
 ○コルニチーデ
 ○コリール 三百六十四
 ●コメノール
 ○コロニリン 三百六十五
 ○コレラアンチトキシシン
 ●コルラフォルム 三百六十六
 ○コラ實
 ○格魯兒ステリフォルミクム 三百六十七
 ○コルヒチン 三百六十八
 ●コサプリン
 ○コニーン 三百六十九
 ○コトイン
 ○コンワルラリン 三百七十
 ○コンワルラマリン
 ○コツシン 三百七十一
 ●虎骨軟膏

江部

- 鹽酸コカイン 三百七十二
- エムルジン 三百七十四
- 鹽酸エリトロブレイン 三百七十五
- 鹽酸ナキシスバルテイン 三百七十六
- 鹽酸スコボラミン 三百七十七
- 鹽酸グアヤコンル規尼涅 三百七十七
- 鹽酸ババウエリン 三百七十八
- 鹽酸性没食子酸蒼鉛 三百七十八
- 鹽酸オイカイン 三百七十九
- 鹽酸トリフェネトールゲアニゲン 三百七十九
- 鹽酸燐酸規尼涅 三百八十
- 鹽酸チレキシシ 三百八十一
- 鹽酸オルトフォルム 三百八十一
- 鹽酸ヒドラスチン 三百八十一
- 鹽酸トロバコカイン 三百八十一

- 鹽酸ゲコテイルメターン 三百八十二
- 鹽酸フェノコール 三百八十二
- エルゴチン酸安母紐膜液 三百八十三
- エタコール 三百八十三
- 鹽酸性撒里矢兒酸蒼鉛 三百八十四
- エチールコロリッド 三百八十四
- エカソート 三百八十五
- エチレーンゲアミンクレソール 三百八十五
- エチレーンゲアミントリクレソール 三百八十五
- エンテロール 三百八十六
- エフエドリ 三百八十八
- エカ沃度仿誤 三百八十八
- エナラミン 三百八十九
- エルゴチノール 三百八十九
- エトキシソッフエイン 三百八十九
- エメチン 三百九十
- エルバ、レウマ 三百九十

天部

- エルバ、サンダ 三百九十一
- エフエドラ、アンゲナ 三百九十一
- エリトロブレイン 三百九十一
- エキサルギン 三百九十一
- エゼリン 三百九十一
- エゼリチン 三百九十一
- テルピノール 三百九十二
- テルロール 三百九十二
- テルモザン 三百九十三
- テルモール 三百九十三
- テルマチン 三百九十四
- テルピチチール 三百九十四
- アジヒトール 三百九十五
- チナリン 三百九十五
- デキストロフォルム 三百九十五
- タタメスアンチトキシシ 三百九十五

- テルピヒドラー 三百九十六
- テレベン偏里設林 三百九十七
- テグミン 三百九十八
- テルラリン 三百九十八
- テルマトール 三百九十八
- テチアロミン 四百
- テトラ、エチール、アンモニウム、ヒドロチキシード 四百
- テトラ、チチ、ザコロール、ザザリチール酸 四百一
- テイ 四百一
- 爹兒アセトン 四百一
- 阿部 四百一
- アツエター 四百二
- アナルゲシ 四百二
- アノツオール 四百三
- アリストール 四百三
- アンチカンクリン 四百四

○アツエタニリドニウム
 ○アツエチール、エチール、フェニール、ヒド
 ラチン
 ○安息酸エチール、フェニール、ヒドラチン
 ○アドニス、エスチアアリス
 ○アドニス、クバニアナー
 ○亞撒里失兒酸
 ○アンチフンギン
 ○アチモーチ、ブルサチルラ
 ○アボシヌーム、カンナビウーム根
 ○アレカ、カテヒユ實 四百五
 ○アテロスヘルマ、モスカーツム皮
 ●アチスチール
 ●アケノリン
 ●アヤコール
 ○アマランツース、ボリガムース
 ○アブラストール 四百六

●アムモノール
 ●アセプトリン 四百七
 ●アラプリン
 ●アザバーツム
 ●アンチザアハチン
 ○アレコリン 四百八
 ○アンチフチシム
 ●アイオザン 四百九
 ●アンチバクテリン
 ●アガチン 四百十
 ○アツエトンレゾルチン 四百十一
 ○アルフォル 四百十二
 ○アミグドフェニーン 四百十三
 ●アニザン杓蝶酸
 ●亞硫酸蒼鉛
 ○アノザン
 ●アクトール 四百十四

○アチビチニン 四百十五
 ●アンチジファイリス、セールム 四百十六
 ●アミノール
 ●アンチノシン 四百十七
 ●アルファクレオソート
 ○安知必林 四百二十
 ○安知歐親林 四百二十二
 ●アドヘソール 四百二十三
 ●アセトラクタ 四百二十四
 ●アルファ、ガアヤコール
 ●アンチザスマプチクム
 ○アンチセプシン
 ●アンチバチルラーレ 四百二十五
 ●アンチテトライチン
 ●アポリシン
 ●アンチストレプトコクシン
 ○アンチチルゲイン

●アイトチリン 四百二十六
 ●アンチパラシチン
 ○亞沃度化アンチヒリン 四百二十七
 ●アンチスバスマン
 ○アンチ、ザセンテリクラー
 ○アルゴニン 四百二十八
 ○アンザザフテリン 四百二十九
 ●アルゲンタミン 四百三十
 ●アイロール 四百三十一
 ○アンキトキシチン 四百三十二
 ●アルギノイド織 四百三十三
 ●アルギノイド麻痺涅叟誤
 ●アルギノイド亞酸化水銀
 ●アルギノイド酸化水銀 四百三十四
 ●アルギノイド莫兒比涅
 ●アルギノイド斯篤利幾尼涅

●アルキノイド安知門 四百三十五
 ●アルキノイド砒素
 ○アンチレウマチニユーム 四百三十六
 ●アニリピリン 四百三十七
 ●アルファオイカイン 四百三十七
 ●アマロール
 ○アスピドスヘルミン 四百三十八
 ○アピチニン 四百三十八
 ●アイロフォルム
 ●アセトナール 四百三十九
 ●アセトンコロロザウム
 ●アキシン 四百三十九
 ○アミールレンヒドラート
 ○亞鉛膠 四百四十
 ●アミロヨードフォルム
 ●アルゲントール 四百四十
 ○亞尼林フックシン 四百四十一

●アミノフォルム 四百四十二
 ●アルソール
 ○アドニゲン 四百四十三
 ○アドニン 四百四十三
 ○アニス酸 四百四十四
 ●アイゴン 四百四十四
 ○アントラロピン 四百四十五
 ○アルプチン 四百四十六
 ○アガリチン 四百四十七
 ○アロイン 四百四十七
 ○ア子モニン 四百四十八
 ○アセプトール 四百四十八
 ○アンチテルミン
 ○アピオール 四百四十九
 ○アスパラギン水銀
 ○アレキシシン 四百四十九
 ○安息酸アンチピリン

○安息酸蒼鉛 四百五十
 ○アボモルヒネ 四百五十一
 ○アサプロール 四百五十一
 ○アナルゲン 四百五十三
 ○アスポリン 四百五十四
 ○アルムノール 四百五十五
 ○アツェト、オルト、トルイード 四百五十五
 ○アラングン 四百五十六
 ○亞鉛油
 ○アブラストール
 ○アミード、アンチピリン
 ○アツェト、アミードアンチピリン
 ○ザリピリン 四百五十七
 ●サリピラツオリン 四百五十七
 ●ザラツオロン
 ●サロサンタール油

●サロサンタール 四百五十八
 ●サケラチン
 ●ザリガルロール 四百五十九
 ●ザリガルロール液
 ●ザリタンノール
 ●ザツカリン 四百六十
 ●ザリフェリン
 ●ザツカルム、アルチフィシアール
 ●ザリフォルミン 四百六十一
 ●撒里失爾酸テオプロミン
 ●撒里失爾醋酸 四百六十二
 ●撒里失兒酸フェノコール 四百六十二
 ●撒里失兒酸アツェトール 四百六十三
 ●撒里失兒酸オキシフェナセチン 四百六十四
 ●サリチールアニリド 四百六十五
 ●撒里失爾酸亞爾密紐加留謨
 ●ザルプリン

- 撒里失爾酸嘉度密烏謨 四百六十六
- サノフォルム 四百六十七
- 酸化樟腦 四百六十八
- ザラツエトール 四百六十九
- 三格魯兒化醋酸 四百七十
- 三格魯兒化沃度 四百七十一
- 三親魯母化沃度 四百七十二
- ザロゴール 四百七十三
- 三ブローム化フェノール蒼鉛 四百七十四
- 撒里失爾酸蒼鉛 四百七十五
- サナトール 四百七十六
- ザンクイナリン 四百七十七
- ザルミン 四百七十八
- ザリチモール 四百七十九
- サナトールゲン 四百八十
- ザロール 四百八十一
- ザリゲニン 四百八十二

- 催眠水 四百七十五
- 醋酸礬土液 四百七十六
- 醋酸トリブロームフェノール水銀 四百七十七
- ザプロール 四百七十八
- サラクトール 四百七十九
- ザロフェン 四百八十
- 幾部
- キシレノールザローレ 四百八十一
- キシロール 四百八十二
- キノピリン 四百八十三
- 蟻酸那篤留謨 四百八十四
- 蠟艸薄荷腦 四百八十五
- ギムネマ酸 四百八十六
- キノフォルム 四百八十七
- キナフトール 四百八十八
- 器管製劑類 四百八十九
- 由部

女部

- 有機液 四百八十二
- メラコール 四百八十三
- メトキシコッフエイン 四百八十四
- メチラール 四百八十五
- メチールヨザット 四百八十六
- メヅルラーデン 四百八十七
- メチールガイナレット 四百八十八
- メチールフェナツエチン 四百八十九
- メチールクロリッド 四百九十
- メチールレンクロリッド 四百九十一
- メチール、エチールエーテル 四百九十二
- メタクレソール 四百九十三
- メタツエチン 四百九十四
- メタアルデヒード 四百九十五
- 綿馬酸 四百九十六
- メントール、ヨドール 四百九十七

美部

- メチーレンブラウ 四百八十八
- メンタルカール 四百八十九
- メルクルコロロイド 四百九十
- メトエチール 四百九十一
- ミロシン 四百九十二
- ミルトール 四百九十三
- ミクロチヂン 四百九十四
- ミロニン 四百九十五
- ミルチルリン 四百九十六
- ミケロール 四百九十七
- ミグレニン 四百九十八
- ミルザオール 四百九十九
- ミエレーン 五百
- ミドリン 五百一
- ミドロール 五百二
- 之部

○臭素カンフル	四百九十四	○ピオクタニン	五百二
○蓆酸鐵	四百九十五	●ピラツォリン	五百三
●植物性軟膏	四百九十六	●ヒリソール	五百四
○樟腦酸	四百九十七	●ヒノソール	五百五
●新オルトフォルム	四百九十八	●ピランチン	五百六
○樟腦酸加里	四百九十九	●ピラミドン	五百七
○樟腦酸アニリン	五百	●ピナピン	五百八
○樟腦化クロチール	五百一	●萇麻子油麻僱溼失亞石鹼	五百九
○四格魯兒化炭素		●ヒギアース	
○シリンギン		○ピリヂン	
○次忝度化蒼鉛		●ピプノアセチン	
○人工麝香		●ビスムドール	
○焦性硼酸水銀		●ピレチン	
○焦性没食子酸蒼鉛		○ピメラチン	
○鞣酸水銀		●ピロサール	
●シダ越幾斯		●ピロフォルム	
惠部			

○ヒノリン	五百十一	○ヒドロヒノン	五百十八
○ピクロトキシシン	五百十二	○ヒヨスチン	五百十九
○ヒドロコタルニン	五百十三	○ヒヨスチアミーチ	
●ピドラルギロセプトール		毛部	
○ピロガロール	五百十二	○モノール	
●ビスムタン	五百十三	○モルロシン	
○ピドロベルベリン		○没食子酸エルゴチン	
○ヒマフイラ草		○没食子酸蒼鉛	五百二十
○ピロツォーン		○没食子酸水銀	
○ヒプナール		○モルリン	
●ヒルゴール	五百十四	○モル、イン	
●ヒルゴール軟膏	五百十五	○モルルオール	五百二十一
○ヒブノーン		勢部	
○ピキソール	五百十六	○石炭酸コカイン	
○ピクリン酸		●石炭丁幾	
○ヒドラスチン	五百十七	●石炭液	
○ヒドラスチニン		●石炭酸蒼鉛	五百二十二

○ゼネチチ酸	五百二十三	●ストマトール	五百三十二
○セレニウム華設林		○スファイグモゲニシ	
●硝酸亞酸化攝留膜		○ストロンチウム	五百三十三
●硝酸々化攝留膜安母紐膜		○スハルミン	五百三十五
○硝酸グリセリン	五百二十四	○ストロファンツス實	
○セトラリン	五百二十五	○ストロファンツス丁機	
●喘息紙		○スコボラミン	五百三十七
●染皮粉		○ズクロール	
須部		○スタツヒドリン	
○ズルフアルテヒド	五百二十六	○ステレソール	
○スチプチシン	五百二十七	○ズルフアミノール	五百三十八
○スチラコール	五百二十八	○水銀血清漿	
●スプラザン	五百二十九	●水銀血清彩粥	五百三十九
●スプレニン		○水銀劑	
●スプラレナデー			
●ズプリモフェノール			
○ズルフォナール	五百三十		

新藥日新

(第三版)

補増
伊部
醫科大學教授下山順一郎閱

藥劑官 恩田重信原著
藥學士 酒井甲太郎増補

○イヒチチール 硫酸安母尼亞 $C_{25}H_{37}SO_6(NH_4)_2$

Ammonium sulfo-ichthyolicum.

「イヒチチール」硫酸安母尼亞ハ通常單ニ「イヒチチール」ト稱スル者ニシテ赤褐色舍利別様ノ液ナリ焦性ノ臭味アリ水ニ溶解スレトモ純酒精、純依的兒ニハ溶解セス華攝林油類ニハ隨意ニ混和ス乾癬、濕疹ノ如キ皮膚病ニ華攝林又ハ刺乃林ニ和シテ用ユ一プロセント軟膏ハ殊ニ火傷ニ鎮痛ノ効アリ其他齒痛、凍瘡劇甚ノ痛風性疼痛ニ用井テ偉効ア

リ

「イヒチオール」ハ又胃加答兒、急性腎臟炎ノ如キ内臓ノ疾患ニモ用ユルコアリ一回ノ服量ハ〇、二、一〇、五丸劑トナシ或ハ膠囊ニ容レテ投シ外用ニハ一—十%軟膏ヲ作り與フ

注 蕙「イヒチオール」ノ臭氣ハ「クマリン」ヲ添加スルニ由リテ之ヲ蓋フコト得ヘシ

(Ph. C. XXXII. 344)「クマリン」ハ一種ノ芳香品ニシテ價廉ナラズ

○イヒチオール Ichthyolum $C_{25}H_{36}S_5O_6$

「イヒチオール」ハ前世界動物ノ化石ヲ乾留シタル留液ニ硫酸ヲ加ヘテ製シタル者ナリ常通

「イヒチオール」ト稱スルモノハ「イヒチオール」硫酸安母尼亞ナリ

○イヒチオール硫酸那篤留母 $C_{28}H_{36}S_5O_6Na_2$

Natrium sulfo-ichthyolicum

「イヒチオール」硫酸那篤留母ハ黒褐色多見狀ノ物質ナリ性効共ニ「イヒチオール」硫酸

安母尼亞ニ類ス

○チヒチオール硫酸利知烏母 *Litium sulfo-ichthylicum*

○イヒチオール硫酸亞鉛 *Zinnicum sulfo-ichthylicum*

○イヒチオール硫酸水銀 *Hydrargyrum sulfo-ichthylicum*

○イヒチオール 麻屈涅失亞

Magnesium ichthyolicum

「イヒチオール」麻屈涅失亞ハ「イヒチオール」硫酸安母尼亞七百七十五分ニ新製煨製麻屈涅失亞百分ヲ加ヘ水ヲ注キ攪拌シ水溶上ニ蒸發シテ製シタルモノナリ「シヨゴラーデ」様赤色ノ粉末ニシテ或ハ單ニ内用ニ供シ或ハ滑石ヲ和シテ散布藥トス (Pharm. Centralhalle XXXII. 529)

●「イヒタルビン」*Ichthabin*

「イヒチオール」ヲ内用ニ供セントスルモ臭氣不快ニシテ暖氣亦之ニ伴

フカ故ニ患者多クハ之ニ堪フル能ハサルヲ常トス然ルニドクトル、フ
 イート氏ハドクトルサックス氏ノ勸誘ニ基ツキテ茲ニ無臭無味ノ「イ
 ヒチオールアルブミナート」即チ「イヒタルビン」ヲ製造スルニ至レリ」
 本品ハ胃中ニ於テハ變化スルコトナク腸内ニ入り亞爾加里性液汁ニ逢
 ヒテ初メテ「イヒチオール」ト蛋白質トニ分解スルモノナリ製法ハ「タ
 ンナルビン」ニ類シクノル氏製造所ニ於テ工業的ニ之ヲ製造ス
 本品ハ灰褐細微ノ粉末ニシテ臭味ナキカ故ニ直ニ之ヲ舌上ニ致シ水ヲ
 以テ嚥下スルヲ得ベシ用量ハ一乃至二瓦ツ、毎日二乃至三回内服シ
 時刻ハ食前ヲ最モ佳ナリトス小兒ニハ「チヨコラート」ヲ混和シテ與フ
 ヘシ

「イヒチオール」ハ已ニ人ノ知ルガ如ク營養ヲ進メ便通ヲ整理シ且ツ消
 毒ノ効アルモノニシテ特ニ小兒科ニハ（貧血症、佝僂病、腺病、腸加

答兒）本品ヲ用ヒテ頗ル有効ナルベシ (Ph. C. XXX VIII 372)

○イソアナンチピリン Isantipyrin

「イソアナンチピリン」ハ無色ノ結晶ニシテ熔融點ハ百十三度ナリ水、亞
 爾箇保兒、嘔囉防ニ容易ニ溶解ス

○イソココカイン Isococain

「イソココカイン」ハ通常ノ「ココカイン」ニ苛性亞兒加里ヲ作用セシメテ製スル所ノモノニシテ
 其効用ハ古加乙涅ニ同シケレモ一層峻烈ナリトイフ (Chem. ztg. 1891, 506)

○イソイクゴニン Isoecgonin

「イソイクゴニン」ハ「エクゴニン」ニ苛性加里ヲ作用セシメテ製ス性効「エクゴニン」ニ同シ

●「インゲストール」 Ingestol

「インゲストール」ハ在伯林リヒテル社ノ發賣ニ係ルドクトルチムメル
 マン氏ニ據レハ急性及ヒ慢性ノ腸胃症及ヒ船暈ニ効アリト云フ

本品ハ僅ニ蛋白石濁ヲ帶フル枸橼黃色ノ水溶液ニシテ硫酸麻屈涅叟謨、硫酸那篤留謨、硫酸加留謨、食鹽、依的兒酒精及ヒ鐵ヲ含有ス (Ph. C. XXX V 533)

「インゲストール」ハ腸胃症ニ賞用スルモノニテ左ノ諸質ヨリ成ル

- 硫酸麻屈涅叟謨 二五 硫酸曹達 〇・八 硫酸加里 〇・一
- 硫酸石灰 〇・一〇〇 格魯兒麻屈涅叟謨 〇・五〇 格魯兒那篤留謨 〇・七五
- 炭硫曹達 〇・〇五〇 貌羅謨麻屈涅叟謨 〇・〇〇一 炭酸石灰 〇・〇二五
- 撒里失爾酸 一・〇〇〇 酸化鐵 〇・〇〇一 拘椽酸鐵 〇・〇〇一
- 依的兒精 〇・五〇〇 屈里設林 一・三〇〇 芳香水 一・〇〇〇

(Ph. C. XXX VII 621)

○イザール Izal

「イザール」ハ英國ノ「ニエートン、チャンメックス、コンパニー」會社ヨリ製出スル一種ノ新消

毒藥ナレモ其組成ハ諸誌ニ報スル所一ナラス藥學新聞ノ言或ハ眞ニ近カルヘシ該新聞ニ由レハ「イザール」ハ「クレソール」製劑ノ一種ナリトイフ (Ph. C. XXX IV. 431)

●「イトロール」 Jtrol

「イトロール」ハ「アクトール」ノ缺點ヲ補ハント欲シテドクトルクレーデ氏ガハイデン社ニテ製造セシメタル諸有機酸銀ノ一ニシテ寫眞藥等トシテハ從來用ヒタルコトアリシモ醫藥用トシテハ氏ヲ以テ嚆矢トナス本品ハ殆ント間然スル所ナキ全ク無臭ノ防腐藥ニシテ優等ナル創傷散布藥ナリ創面ニ散布スルモ少シモ刺戟ヲ起サス而シテ極メテ薄ク又稀ニ散布スルヲ以テ足ルカ故ニ比較的廉價ナリトス三千八百倍ノ水ニ溶解ス

本品ハ散布藥トシテ創傷、肉芽又ハ粘膜炎ニ通常一回若クハ數日ヲ隔テ、薄ク散布スヘク軟膏劑トシテハ華攝林又ハ「ラノリン」等ヲ以テ五十

乃至百倍トナシテ用ヒ水溶液トシテハ四千乃至五千倍トナシ洗滌用ニ
供シ又五千乃至一万倍トナシ含嗽、菴法、湯浴等ニ用フ溶液ハ常ニ用
ニ臨ミテ調製スルヲ可トス (Ph. C. XXX VII 158)

○イムベリアリン Imperialinum (類鹽基、心臟藥)

○イナイン Ineinum (腸室扶斯藥)

○イングルビン Ingluvin (消化催進藥)

○イリジン Irisin (胆汁分泌藥)

●「イスタン」Jstuan

「イスタン」ノ別名ナリ

●硫黃「ワソゲン」Schwefel-vasogen

硫黃「ワソゲン」ハ普通硫黃軟膏ノ代用品ニシテ皮膚ヨリ攝收セラレ易シ (Ph. C. XXX
IX 425)

呂部

○ロレチン Loretin

「ロレチン」ハ最近ノ新藥ニシテ客年十二月ノ藥學中央誌ニ見エタルヲ
始メトナス埃國藥劑師聯合會雜誌ノ報スル所ニ由レハ「メタ、ヨード、
オルト、ヲキシヒノリン、アナ、ズルフオン」酸ト稱スヘキモノナリト云
フ其色ハ硫黃ニ似テ結晶シ全ク無臭ニシテ水、酒精ニ僅カニ溶解ス格
魯胃膜又ハ油類ニ和スルキハ一種ノ乳劑トナリ永ク保貯スルモ分離ス
ルヲナシ○「ロレチン」ハ一種ノ新防腐藥ニシテ其効モ沃度防ニ同シケ
レ凡彼ノ如ク惡臭ヲ有セサルヲ以テ使用上極メテ益多シトス、煨製麻
屈涅失亞又ハ泥菖根末ヲ和スルキハ創面ニ散布シ或ハ創孔ニ吹入スル
ニ適セリ格魯胃膜ニ和シタル乳劑ハ殊ニ「エリシペラス」「エクツエマ」
「ルプス」等ニ偉効アリ

本品ハ「オキシヒノリン」硫基酸加留膜ニ沃度加留膜溶液ヲ和シ更ニ格

魯兒石灰ヲ添加シテ煮洗シ茲ニ生成スル所ノ「ロレチン」加爾臾護ヲ鹽酸ニテ分解シタルモノナリ (Ph. C. XXXV 657)

○ロレチンナトリウム Loretin-Natrium

「ロレチン」ノ「ナトリウム」鹽ニシテ水ニハ橙樣赤色ヲ以テ溶解シ易シニ一五アロセント溶液ハ「カルホル」^ホニ代テ用ユルヲ得ヘシ

○ロレチン加爾臾母 Loretin-calcium

美麗ナル赤色ノ粉末ニシテ水ニ溶解セス「レロチンガーゼ」ヲ製スルニ用ユ

○ロツテリン Rotlerin

「ロツテリン」ハロツテル氏ノ創製ニ係リシモノニシテ各種ノ藥物ヲ相和シテ成レル者ナリ

軍用出師ノ消毒材料トシテ最モ有益ナルヘシ●又別ニ「ロツテリン」粗粉ト稱スルモノアリ伯林ノラードラウエル氏ノ製出ニ係レリ五「プロ

セント」水溶液ハ病室、廁圍等ノ消毒ニ適セリ

○「ロベリン」 Lobelinum (吐劑、喘息藥)

○「ロベリア、デレッサ」 Lobelia delossa (祛痰藥)

●蠟彩^{ヌス}粥石^ヌ鹼 Wachs-Pate-Scifa

蠟彩粥石鹼ハ在伯林藥劑師コールマイエル氏ノ製品ニシテ皮膚柔軟ナラシムルニ適恰ス本品ハ蠟彩粥ニ那篤倫石鹼ヲ和シテ製造シタルモノナリ (Ph. C. XXXV 575)

●蠟大理石石鹼 Machs-Marmorseife

大理石鹼ニ同シ

○蠟漿石鹼

本品ハ皮膚ヲ柔軟ニシ彈力ヲ生發セシメ且ツ其抵抗力ヲ盛ナラシムルノ性アリテ他ノ諸藥ニ卓絶ノ効アルモノトス蓋シ薄キ蠟膜ハ皮膚ヲ柔軟ニシ其彈力性ヲ助護スレハナリ本品ハシユライヒ氏ガ鹽分ヲ去リテ

且ツ煮沸セル中性ノ基資石鹼ニ蠟漿ヲ混合シテ製シタルモノニシテ伯林府「アルリアンス」街十二番地製藥師ツエー、コールマエール氏ノ專ラ製造販賣スルモノナリト云フ (Phar. Cent. f. Deuts 1894)

●蠟彩粥 Wachs-paste

ヂートリヒ氏ニ據レハ其製法左ノ如シ
二十七瓦ノ黃蠟ニ八瓦ノ椰子油ヲ熔和シ少シク放冷セシメテ四瓦ノ刺乃林ヲ混攪シ又別ニ一瓦ノ硼砂ヲ六十瓦ノ蒸留水ニ溶解シ徐々ニ之ヲ蠟塊中ニ混和シテ製ス本品ハシユライヒ氏カ軟膏基礎藥トシテ頗ル賞用スル所ノモノナリ (Ph. C. XXXV 300)

波部

○「ババイン」 Papainum

「ババイン」ハ南米ニ産スル「カリカ、ババヤ」樹ノ子實ヨリ製シタル黃

白色輕疎ノ粉末ニシテ苦味ト一種ノ臭氣トアリ就中「ババイン、ロエス」ト稱スルモノハ「ポーリングル、ウント、ロエッス」商社ノ製ニシテ其社ノ報告ニ因レハ一デシ瓦ノ「ババイン、ロエッス」ヲ水百瓦ニ溶解シタルモノハ四十一五十度ノ温ニ於テ二時間内ニ凝固シタル鶏卵白ノ十瓦ヲ溶解シ盡スト云フ「ババイン」ハ此ノ如ク蛋白ヲ溶解スルノ性アルヲ以テ消化不良、胃弱等ニ稱用セラル内用ニハ〇、一〇〇、五ヲ重曹ニ伍シ或ハ水劑トシ含利別ヲ加ヘテ與フベシ●「ババイン」ハ又格魯布、實布埜利亞ニ塗布シテ偉効アリ伯林臨床周誌(1893, Nr. 32)ニハ「ババイン」ニ石炭酸ヲ配伍シテ「ヂフテリヤ」ニ用キタルレビー及ヒクノッピ爾氏ノ治驗ヲ載録セリ即チ十「プロセント」ノ「ババイン」水溶液百瓦ニ石炭酸五瓦ヲ溶解シタルモノヲ以テ義膜面ニ塗布スルキハ「ババイン」ノ効ニ由リテ義膜溶崩シ石炭酸ハ即チ深ク患部ニ侵入シ「バクテリヤ」ヲ

死滅セシムルヲ以テ此ニ偉効ヲ奏スルニアリ

○抱水テルペン *Terpinhydrat* $C_{10}H_{18}(OH)_2 + H_2O$

泡水「テルペン」ハ無色針狀ノ結晶ニシテ水、酒精ニ溶解ス〇、二—〇、六ヲ慢性氣管枝加答兒ノ 痰藥トナシ〇、五—一、五ヲ慢性腎臟炎ニ利尿藥トシテ用ヒ或ハ結核ノ初期ニ止血藥トシテ〇、九—一、二ヲ丸劑トシテ投スルコアリ然レモ多量ヲ服スルキハ蛋白尿、血尿ヲ誘起スルコアリ●本品ハ曾テマナッセ氏之ヲ百日咳ニ應用シタルコアリシガタラモン氏ニ至リテ愈奏効ノ確實ナルヲ證シタリ氏ハ殊ニ「アンチピリン」ニ配伍スルニ由テ奏効ノ顯著ナルヲ知レリ（「テンピンヒドラード」參看）

（處方）

テレピンヒドラート

一、〇—一、五

アンチピリン

一、〇

橙皮舍利別

五〇、〇

菩提樹花水

六〇、〇

右混和——二茶ヒツ、一日數回分服 (Therap. Monatsh. 1891 168)

○泡水ブロマール *Bromalhydrat* (鎮靜藥)

○泡水ブツナルークロラール *Butylchloralhydrat* (催眠、知覺麻痺藥)

○泡水アミーレン *Amylenhydrat* (催眠藥)

○パラクロラローゼ *Laraclorarose*

「パラクロラローゼ」ハ「クロラローゼ」即チ「クロラロール」ト「グリコーゼ」トノ集合体ヲ作製スル際ニ副生物トナリテ生成スル所ノモノナリ白色光輝アル板狀ノ結晶ニシテ熱水ニハ只僅カニ溶解シ酒精ニハ溶ケ難キニアラズ熔點ハ二百二十七度乃至二百二十九度ナリハンリフット、

リヘット、ヘッフテル三氏ハ本品ノ藥効ヲ否定スレモツソー氏ハ「クロラ
ローゼ」ノ如ク催眠ノ効アリトセリ(Ph. O. XXXV, 113)

○パラフォーム Paraform (強烈ナル腸防腐藥)

○馬尿酸 Acidum hyppuricum (痛風藥)

○バラクレソチン Acidum paraacreschinicum (解熱藥)

○バプチシア、チンクトリア Baptisia tinctoria (赤痢、室布斯藥)

○バイクル根 Radix Paykurii (收斂藥)

○「ハヤー」Hayra (矢毒)

○「ハゼリーチ」Hazeline (止血藥)

○「ハーシシ」Haschisch

「ハーシシ」ハ「アラビヤ」中土人ノ嗜好品ニシテ催眠ノ効アリ

○麥角越幾斯 Extractum Secalis cornuti (Bombero)

麥角越幾斯ハ主トノ内臟諸器管ノ出血ニ使用シ殊ニ咯血子宮出血等ニ
或ハ直チニ内服シ或ハ皮下ニ注射ス然ルニ其効ヲ見サルコアリ是レ恐
クハ其藥物ノ純精ナラサルカ爲メナラン越幾斯製造ノ原資タル麥角其
物ヲ精撰スヘキハ勿論ナレモ然モ越幾斯其物ノ成分ニ至リテハ古來確
説ナシ此ニ於テ乎種々ノ製劑ヲ出セリ即チ流動麥角越幾斯 Ext. Secalis
cornuti fluidum 濾膜製麥角幾斯 Ergotinum dialysatum ノ類之ナリ然ル
ニ著者カ經驗スル所ニ由レハ彼ノ流動麥角越幾斯モ濾膜製麥角越幾斯
モ概シテ多量ノ沈澱物ヲ見ルヲ常トス獨リボンベロン氏麥角越幾斯ト
稱スルモノハ褐色清澄ノ液ニシテ直チニ皮下ニ注射スルノ用ニモ適
シ且ツ他ノ麥角越幾斯類ニ勝レテ其効力ヲ見ルモノ、如シ

●「ハイデルベール」越幾斯 Heideelbeer-Extract

「ハイデルベール」越幾斯ハ乾燥「ハイデルベール」ニ水ヲ注キ徐々ニ之

ヲ熱シテ色素ノ悉ク浸出スルヲ窺ヒ毛製ノ篩ニテ漉シ汁液ヲ煮沸シテ
舍利別糊トナシ撒里失爾殿ノ少許ヲ水ニ溶解シタルモノヲ添加シテ製
シタルモノナリ本品ハ「エクツァム」ニ効アリ (Ph. C. XXXVI 308,
389)

●破傷風抗毒素 Tetanusantitoxin.

破傷風抗毒素ハペーリング及ビクノル氏ノ助力ヲ得テマイステル、ル
チウス及ヒブリウニク色素製造會社ニ於テ製造シタルモノニシテ市
上ニ販賣スル製品ニ左ノ二種アリ

第一 乾燥製品(人及ヒ馬ノ已ニ發作シタル后ノ應用ニ適ス)本品ハ百
倍定規抗毒素ニシテ (Tet. A. N. 100) 其一瓦ハ百單位ノ抗毒素ヲ有
シ通常一瓶中ニ五瓦ヲ容レテ販賣ス是レ人及ヒ馬一回ノ治療ニ用フル
量ナリ之ヲ使用スルニハ先ヅ之ヲ四十度ノ温ヲ超ヘサル微温湯四十五

立方「センチメートル」ニ溶解シ一頓ニ皮下ニ注射スベシ而シテ馬ニ在
リテハ靜脈ニ注射スレバ皮下ニ於テスルヨリハ効驗二十四時間早ク現
ハル、ト云フ

第二 液体製品(豫防用)本品ハ五倍定規抗毒素ニシテ (Tet. A. N. 5)
其一ccハ五單位ノ抗毒素ヲ有シ各瓶内容五ccタリ負傷者破傷風ヲ誘起
スル虞アルトキハ負傷后ニ經過シタル時間ノ長短ニ應シ〇・五cc乃至
五ccヲ皮下ニ注射スベシ (Ph. C. XXXVII.746)

●肺汁 Lungensaft

古來胸部ノ疾病ニ動物ノ肺臟ヲ乾燥シテ服用セシメシコトアリテ古キ
佛國藥局方ニモ亦犢牛ノ肺ヨリ製シタル藥物ヲ掲ケシコトアリシカ近
者ブルネット氏ハ健全ナル穉羊ノ肺ヨリ越幾斯ヲ製シテ之ヲ藥用ニ供
セリ肺液則チ是ナリ

本品ハ類黄赤色澄明ノ液ニシテ臭氣ナク味ハ微ニ甘シ之ヲ製スルニハ嚴重ニ制腐的ノ方法ニ基ツキ屠羊后肺ヲ採取シ滅菌シタル缺ニテ之ヲ細切シ純偏里設林及ヒ滅菌蒸餾水ヲ加ヘテ浸出シ（肺臓二十瓦ニツキ偏里設林六十瓦水百二十瓦トス）濾液ヲ内容十五方「センチメートル」ノ硝子器ニ入レ十二時間三十五度ノ温ヲ有スル孵卵器内ニ貯フヘシノ用量ハ毎日十方立「センチメートル」以内トス或ハ之ヲ内服セシメ又ハ皮下ニ注射ス咯痰ニ血ヲ帶ヒ並ニ下痢アルトキハ服用ヲ中止スベシ本品ハ肺並ニ肋膜ノ慢性病ニ用ヒテ結果最モ良好ナルハプロフェツソルアロンソン氏カ既ニ確認シタル所ニシテ咯痰ノ量ヲ減シ体重ヲ増ス

(Ph. C. XXXVIII 83)

○ババヨチン Papayotin (一名ババイン)

○バシクレアチン Pancreatinum

哺乳動物ノ膝ヨリ製出シタルモノニシテ澱粉ヲ糖化シ蛋白質ヲシテ「ペプトン」ニ變セシムルノ性アルニ由リ消化ヲ促進スルノ効アリ○、一〇、五ヲ「メプシチ」ニ和シ膠囊ニ容レテ投與スヘシ

●半柔軟性白色華攝林

Vaselinum album semiviscosum

柔軟性少ナク價亦廉ナル製ニナリ (Ph. C. XXXIX 352)

○ババヴェリン Payaverin (阿片類塩基麻酔藥)

○バラアルデヒド Paraldehyd

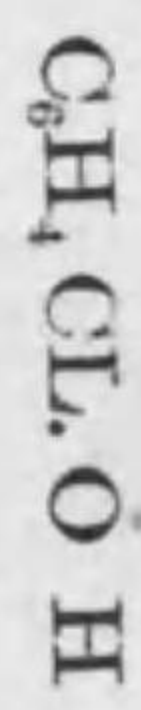
「バラアルデヒド」ハ無色透明ノ液ニシテ其二、〇一六、〇ヲ用ユルキハ催眠ノ性アリ神經性不眠症酒客譫妄等ニハ一、五瓦ヲ用ヒテ催眠ノ効アリトイフ「バラアルデヒド」ハ又「ストリキニーチ」ノ反對作用アルヲ以テ之レカ解毒藥トナスヘシ

○バラニトロフェノール Paranitrophenolum (防腐藥)

●「パラフォルム」Paraforn

「パラフォルム」ハアロンソン氏カ多層「フォルムアルデヒート」ニ命シタル名ニシテ腸ノ防腐薬トナシ又繃帯等ノ目的ニ賞用ス「フォルムアルデヒート」ノ水溶液(フォルマリソ)ヲ熱スルトキハ一部逃散シ一部ハ層積シテ「パラフォルム」トナリテ残留ス、三乃至五瓦ヲ内服セシムレハ下痢ノ効ヲ奏スレトモ之ヨリ少量ヲ與レハ却リテ便秘ヲ起スアロンソン氏ニ據レハ「チーフス」細菌ニ對スル作用ハ「ベタナフトール」ヨリモ強大ナリト云フ (Ph. C. XXXV 305)

●パラクロールフェノール Parachlorphenol



「パラクロールフェノール」ハハイデン氏製造所ニ於テ造レル結晶様ノ物質ニシテ四十度ニ於テ熔融シ三十三度ニ於テ凝箇ス亞爾簡保爾、依

的兒及ヒ脂肪油ニ溶解スレトモ水ニハ溶ケ難シカルバウ氏ニ據レハ本品ハ非常ニ強キ防腐及ヒ消毒力ヲ有シ其作用ハ只硝酸銀及ヒ昇汞ニ及ハサルノミナリト云フ又チユリロツフ氏ハ之ヲ二乃至三%ノ華攝林膏トナシテ丹毒ニ用ヒアイゼンベルヒ氏ハ之ヲ痕瘡ニ賞用セリ (Ph. C. XXXV 557, XXXVI 62)

●「パラフォルム」古魯胃膜 Paraforn collodium

「パラフォルム」古魯胃膜ハ古魯膜ニ五%ノ「パラフォルムアルデヒード」ヲ加ヘテ製シタルモノナリ元來「パラフォルムアルデヒード」ハ古魯胃膜ニ溶解セサレトモ此混和物ハ徐々ニ「フォルムアルデヒード」ヲ發生スルカ故ニ皮膚ノ腫物等ニ用ヒテ可ナリ (Ph. C. XXXIX 124)

●「巴拉賓」キシロール Paraffin-Xylo

巴拉賓「キシロール」ハ十瓦ノ固形巴拉賓ヲ百立方「センチメートル」

ノ「キシロール」中ニ溶解シタルモノナリ

メング氏ハ外科手術前ニ於テ先ツ熱湯及ヒ加里石鹼ヲ用ヒ刷子ニテ手ヲ清洗シ又次ニ消毒藥ヲ用ヒ更ニ七十%ノ酒精ヲ以テ洗滌シ最后ニ本劑ヲ注加スルコトヲ賞用セリ而シテ溶解藥ノ揮散スルニ際シ侵入スベカラサル薄皮ヲ止ムルモ毫モ手ノ運動ヲ妨クルコトナシ手術依ラハ終的兒ニテ之ヲ洗去スベシ (Münch, med. Wchschr. 1898, 143)

○バツソリンバステ Bassorinpaste

「バツソリンバステ」ハラスカル氏ノ創製ナリ皮膚病家ハ基礎劑トシテ賞用ス エルリオット氏ニ由レハ「メラガンタゴム」水、「グリセリン」「デキストリン」ノ諸品ヨリ成ルトイフ然レモ其詳細チ知ラズ「バツソリンバステ」ハ宛モ獨逸局方ノ「グリセリン」軟膏ニ似タリトイフ (Therap. Gazette 1891, 192)

仁部

○「ニトログリセリン」Nitroglycerinum(硝基グリセリンヲ見ヨ)

○ニッケル酸化炭素 Nickelkohlenoxyd

「ニッケル」酸化炭素ハモンド、ランゲル、及ヒクインケ氏ノ發明ニシテ無色透明有毒ノ液ナリ (P. C. 31,717) ケンドリツト及ヒスノードクラッスノ試験ニ由レハ、此ノ「ニッケル」酸化炭素チ皮下ニ注射スルキハ血中ニ移行シ「ヘモグロビン」ニ抱合シ且ツ酸素ノ攝收チ減少スルキハ著シク體温ノ高下ヲ現ハストイフ (Chem. ztg. 1891, 723) 然レモ本品ハ尙未タ醫藥用ニ供セラレタルヲ聞カズ

○乳酸 Acidum lacticum

乳酸ハ無色舍利別狀ノ液ニシテ酸味極メテ強シ腸加答兒、下痢又ハ腸結核ニ稱用ス Schtchegolew u. Tschernyschew ハ平均一日二、五瓦ツ、下痢患者ニ投藥セシニ三―四日間ニシテ孰レモ快復セリトイフ、兩氏ノ處方ハ乳酸八、○蒸餾水六四〇、○單含六〇、○ヲ混和シ四回分服ス

ルニアリ (Deutsch Med.-ztg. 1892 Nr. 6)

○「ニオリー」Niori (淋疾薬)

○乳酸古加乙涅 Cocainum lacticum

乳酸古加乙涅ハ稠厚ナル蜂蜜様ノ白色物質ニシテ水ニ容易ク溶解ス乾燥シタルモノハ尙ホ未タ製シ得ラレス本品ハウイツァック氏ノ勸誘ニ由リテ製出セラレタルモノニシテ同氏ハ膀胱加答兒ニ本品ノ水溶液ヲ注射シテ好結果ヲ博シタリト云フ (Ph. C. XXXV, 94)

●乳酸銀 Milchsäures Silber (アクトールニ同シ)

●乳酸石炭酸偲里設林 Glycerinum lacto-carboricum

乳酸石炭酸偲里設林ハドクトルボーテー氏ノ賞用スル所ノモノニシテ三種アリ

第一種 第二種 第三種

石炭酸 一〇〇 二〇〇 五〇〇

乳酸 二〇〇 四〇〇 一五〇〇

偲里設林 二〇〇 二〇〇 二〇〇

以上三種孰レモ擦劑トシテ用フ若シ患者之ニ堪ヘサルトキハ豫メ古加乙涅ヲ以テ局部ヲ麻痺セシムヘシ (Ph. C. XXXVIII 465)

●乳越幾斯 Extractum Lactis

乳越幾斯ハマルブアマン氏ノ衛生學業室ニ於ケル試製品ニシテ乾酪蛋白及ヒ糖分ヲ含有セス其一基瓦ハ約二千「リートル」ノ牛乳ニ相當ス (Ph. C. XXXIV 436)

●乳粉 Milchpulver

人乳ニ適應スルモノヲ製スルニハ酸性「カゼイン」加留留二瓦乳糖五、四瓦第二磷酸曹達〇、一二五瓦第一磷後加里〇、〇四、五瓦格魯兒加爾叟謨〇、〇一二瓦格魯兒加里〇、〇七五瓦拘櫛酸麻偲涅叟謨〇、〇二瓦

拘櫛酸鐵〇、〇〇一八瓦ヲ混和シ百cc中ニ溶解スヘシ
又牛乳ニ適應スルモノヲ製スルニハ前記ノ順ヲ以テ三瓦、四、五瓦、〇、
三七五瓦〇、一三五瓦〇、〇四瓦、〇、三瓦及ヒ〇、一瓦（拘櫛酸鐵ヲ欠
ク）ヲ百cc中ニ溶解スヘシ (Ph. C. XXXVII 466)

●二沃度撒里失爾酸「フェニルエステル」

Dijodsalicylsäure-Phenylester

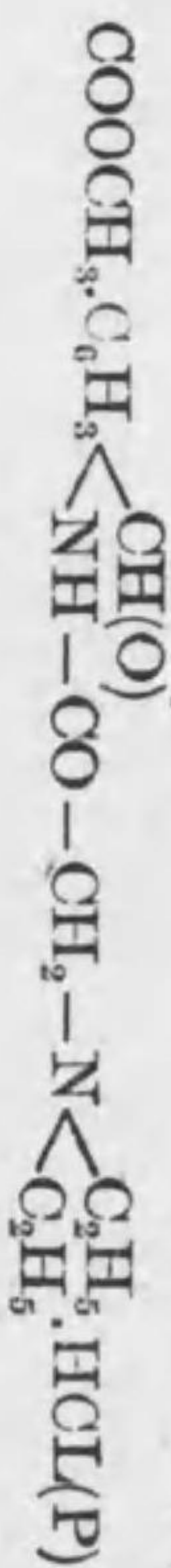
二沃度撒里失爾酸「フェニルエステル」ハ「サロール」ト沃度トヲ各々
其分子量ニ準シテ亞爾箇保爾ニ溶カシ互ニ相互作用セシメテ製シタルモ
ノニシテ其際副生スル沃度水素酸ヲ酸化汞ニ由リテ除去スヘシ是レ在
伯林ヘルツフェルド氏ノ特許法ニ係ル

本品ハ亞爾箇保爾及ヒ氷醋ヨリ結晶セシムレハ絹糸様ノ光澤アル針晶
ヲナシ又之ヲ依的兒ヨリスレハ星狀ニ群集シテ拆出ス熔融點ハ百三十

五度ナリ

本品ハ沃度仿謨ノ代用藥ニシテ其長所ハ臭氣ナキニ在リ又撒里失爾酸
那篤留謨及ヒ沃度加留謨ノ代用トシテ内服スルコトヲ得ベシ (Ph. C.
XXXVII 816)

●「ニルヴァニン」 Nirvanin



「ニルヴァニン」ハ鹽酸「ヂエチール、グリコールバラアミド オルトオキ
シ安息香酸」ノチールエステル」ニシテプロフェツソルドクトルアイン
ホルン及ヒドクトルハインツ二氏ノ創製ニ係ル是ヨリ先キ二氏ハ多年
ノ研究ニ由リテ新局處麻醉藥タル「オルトフォルム」ヲ集造シ大ニ斯道
ニ益スル所アリシカ尙多少ノ缺點ナキニアラズ即チ其鹽類ハ容易ニ水

ニ溶解スルトモ酸性ノ反應ヲ微シテ皮下ノ注射ニ適セサルコト是ナリ
依リテ二氏ハ更ニ研究ヲ持續シテ遂ニ本品ヲ集造スルニ至リシナリ
「ニルウァニン」ハ無水亞爾簡保爾ヨリ結晶セシムルトキハ無色稜柱晶
ヲナシ百八十五度ニ於テ溶解ス水ニハ容易ニ溶解シテ中性ノ反應ヲ微
シ格魯兒鐵ヲ加フレハ紫黑色ヲ呈ス五%ノ溶液ハ知覺ノ稍々遲鈍ナル
粘膜ノ刺戟セサレトモ同時ニ又其作用深部ニ達セス然レトモ之ヲ皮下
ニ注射シ若クハ創傷、潰瘍ニ用フレハ其作用完全ニシテ持久ス、〇、五
瓦ヲ注射スルモ害アルヲ見ス、一%ハ溶液ハ能ク各種細菌ノ發育、醱
酵及ビ腐敗ヲ完全實全ニ防止ス、眼ノ損傷及ビ潰瘍ニハ古加乙涅ト混
用スルヲ可トス何トナレハ「ニルウァニン」ノミヲ以テス常眼ヲ刺戟ス
ルコト強キニ失スルヲ以テナリ又二乃至五%ノ溶液トナシテ齒科治療
ニ用ヒテ好果アリ (Münch, rweb. Meshchr. 1898, 1533)

保部

●「ボロタルトロール」 Borotartrol

「ボロタルトロール」ハフォォーグテンベルゲル及ヒフェール氏等カ礬酸
及ヒ中性酒石酸那篤留謨ヨリ製造シタルモノニ附シタル名稱ナリ (Ph,
C. XXXIX 330)

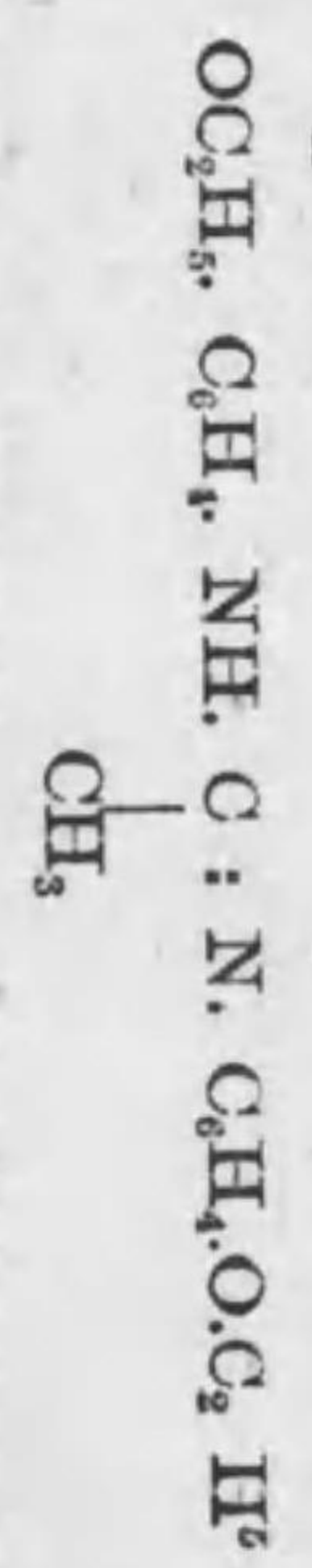
●「ポリフォルミン」 Polgyormin

數價ノ「フェノール」若クハ凝縮シタル偏蘇爾核ヲ有スル「フェノール」
類ヲ「フォルムアルデヒード」ノ水溶液中ニ溶解シ冷却セスシテ之ヲ過
剩ノ安母尼亞ヲ添加スルトキハ「フォルムアルデヒード」ニ富ミ殺菌力
ノ強大ナル不溶性ノ化物ヲ生スルモノナリ本品ハ則チ「レゾルチン」ヨ
リ此法ニ據リテ得タル帶黃褐色無晶形ノ粉末ニシテ臭氣ナク諸溶解藥
ニ溶解セス沃度仿謨ノ代用ニ適ス可溶性「ポリフォルミン」ニ對シ之ヲ
不溶性「ポリフォルミン」ト稱シテ區別ス (Th, C. XXXIX 508)

○「ホロカイン」 Holocain

「ホロカイン」ハ古加乙涅ノ新代用藥ニシテ在シアルロツテンブルヒト
イベル氏ノ創製ニ係リマイステル、ルチウス及ヒブリウニング社ニ於
テ發賣ス

本品ハ一分子ノ「フェナセチン」ト一分子ノ「パラフェチチン」ト化合シ
一分子ノ水ヲ分離シテ生スル「パラヂエトオキシエテニールヂフェニ
ルアミヂーン」ナリ



本品ハ美麗ニ結晶スル強塩基ニシテ水ニ溶解セス百二十一度ニ於テ溶
融ス塩酸塩ハ白色細計狀ノ結晶ヲナシ熱湯ニハ多量ニ溶解スレトモ冷
飽和液中ニハ約二、五%ヲ含有スルノミ味微ニ苦ク反應ハ中性ナリ煮

沸スルモ變化セス能ク保存ニ堪フ

在伯林眼科醫ドクトルガツテルマン氏ハ之ヲ點眼用トナシ施術上幾多
ノ場所ニ用ヒテ奏効アリシト云フ尤皮下注射ノ用ニハ供セサルヲ可ト
ス (Ph. C. XXXVI 164)

○ポロフォルミクム酸アルミニウム Alumin. borofor-
mic.

マルテンソン氏ノ製出シタル新アルミニウム抱合体ナリ眞珠様光輝ア
ル板狀結晶ニシテ水ニ溶ケ易シ消毒ノ力確實ニシテ而モ緩和ナルヲ以
テ喉頭ノ疾患殊ニ小兒科ニ於テ其實用ヲ見ルベシ現ニ「ペーテルスル
ヒ」病院ニ於テ試用シツ、アリト云フ (XXXV, 138)

○ポドフィロトキシン
Podophylotoxin $\text{C}_{22}\text{H}_{24}\text{O}_9 + 2\text{H}^2\text{O}$

「ポドフィルロトキシシン」ハキユルステン氏ガポトウィッソチキー氏ノ創製シタル無形「ポドフィルロトキシシン」ヨリ製出シタル所ノモノニシテ無色柱狀ノ結晶體ナリ(從來ノ者ハ無形白色ノ粉末ナリ)水「ペンツァー」ニハ溶ケ難ケレモ熱ヲ與フルキハ溶解シ易シ「ミルロン」氏試薬ニ逢フテ著シク紅色ヲ發ス其詳カナルコトハ藥學寶函(S, 220, 1891)ヲ檢スヘシ

○ボルニールアツエタート *Bornylacetat*

「ボルニール」即龍腦ノ醋酸「エーテル」ニシテ柱狀結晶體ナリ比重ハ〇、九九一ニシテ一種ノ芳香アリ恰モ松葉ニ似タリ粧飾藥トシテ近來使用ス

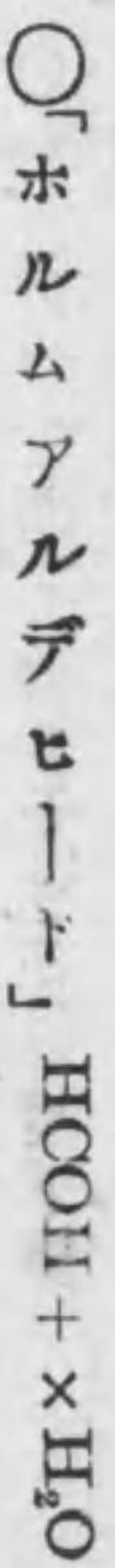
- ボルニールホルミアート(比重一、〇一三ノ液ナリ)
- ボルニールワレリアナート(纈草油ノ主成分ナリ)
- ホマトロピチ *Homatropinum* (貌魯母水素酸ホマトロピチ

ヲ見ヨ)

- ボロフェニール酸 *Acid. Boro-phenylicum* (防腐藥)
- ホロザリチール酸 *Acid. Boro-salicylicum* (防腐藥)
- ボルチン *Boldin* (黄色無形類鹽基、催睡藥)
- ボルドグルチン *Boldoglucin* (唾液分泌、催睡、苦味藥)
- ボンドゥチン *Bonducin* (間歇熱藥)
- ホモアトロピチ *Homatropin* (瞳孔散大藥)
- ホペイン *Hopain* (催睡藥)
- ポトフィルリン *Podophyllin* (峻下藥)
- ボヘミア製「リゾール」 *Lysolum bohemicum*

ボヘミア製「リゾール」ハ在クラルブルドリツク製造所ノ新製品ニシテ暗褐色ノ液ヲナシ不快ナラサル臭氣ヲ有ス隨意ノ比例ニ於テ常水及

ヒ蒸溜水ト混和シ溶液ハ常ニ透明ニシテ黄色ヲ帶ヒ久時ヲ經ルニ及ヒテ暗色ヲ呈スレトモ溷濁スルコトナシ創傷消毒用トシテ一乃至二%器械消毒用ニハ〇、一%ノ溶液ヲ以テ足レリトス (Ph. C. XXXVI 280)



Formaldehyd (Formol)

「ホルムアルデヒード」ハ刺激性ノ臭氣アル瓦斯ニシテ其水溶液ヲ「ホルモール」ト稱ス通常四十乃至四十五%ノ「ホルムアルデヒード」ヲ含有ス千八百九十年ニ至リトリラット氏創メテ其防腐ノ非常ニ強盛ナルヲ發見シテ已來學者ノ注意ヲ引クトコロトナレリベリオッツ及ヒトリラット (Comptes rend. de l'acad. des scienc, Séance du I Aout 1892) 并ニアロンソン (Berlin. Klin. Wochenschr. 1892. Nr 30) 三氏ノ試験ニ由レハ「ホルムアルデヒード」ハ液形ニ於テモ又瓦斯形ニ於テモ「バクテリア

ヤ」殊ニ病的「ミクロローベン」ノ發生ヲ抑止スルノ力強大ニシテ其五萬分一ヲ添加スルモ既ニ肉汁ニ「バクテリア」ノ發生ヲ見サルニ至ルトイフ又其二千倍溶液ハ能ク脾脱疽「バチルス」ヲ死殺セシメ千倍溶液ハ能ク其「スポーレン」ヲ死殺スルトイフ (P. C. XXXIV, 192) 然ルニ其後更ニベリオッツ氏ノ試験シタル成績ニ由レハ「バクテリア」ヲ死滅セシムルノ力ハ割合ニ強盛ナラサルカ故ニ創傷外科的防腐藥ニハ十分ニ適セサルガ如シ然レモ葡萄酒麥酒等ヲ保存スルカ爲メニハ最モ適セリ何トナレハ臭味ヲ變化セシメサル、微量ノ「ホルムアルデヒード」ニシテ既ニ十分ノ効驗ヲ見レハナリヤブリン、ゴンチット氏ノ報スル所ニ由レハ葡萄酒ニ〇、五密瓦麥酒ニ一、〇密瓦ヲ加ヘテ其一「リートル」ヲ能ク保存シ得ヘシトイフ (Journ. Pharm. et Chim. 1892. II. Nr 9)

○ホルモール Formol (一名ホルムアルデヒード)

○ホルマリン Formalin (四十%ホルムアルデヒド液)

○ホルマリート Formalith

「ホルマリン」ヲ珪土ニ吸收セシメタル粉末性消毒薬ニシテ外科醫ニ使用ス効用ハ「ホルムアルデヒド」ニ同シ

○ボラール Borai

ドクトル、パウル、コツヘル氏ニ依レバ「ボラール」ハ「アルミニウム」ト硼酸孕酒石酸トノ重鹽ニシテ細微白色ノ結晶ナリ其多量ハ能ク
ノニ溶解シテ酸味アリ、臭氣ナシ、又強ク微菌ノ發育ヲ制止スル作用
アリ、其治療上ノ應用ハ甚ダ狭ク氏ハ化膿性中耳疾患ニ洗滌薬トシ又
ハ吹き込ミ料トシテ用キ良結果ヲ得、其他聽道ノ濕疹ニ十%軟膏トナ
シ試用シタルニ刺撃モナク其有効ナルヲ認メタリト云フ (Th. n. 98.11)

○硼酸水 Potwasser

硼酸ノ防腐薬トシテ、洗滌薬トシテ、諸般ノ應用ヲ有スルコトハ善ク人
ノ知ルトコロナリ然レモ此ニ一ツノ欠典ト云フヘキハ水ニ溶解スルノ
力弱キ之レナリ硼酸ハ常温ニ於テ四「プロセント」ノ割合ニ溶解スルモ
ノナレモ寒冷時ニアリテハ二十三「プロセント」液ヲ得ルコト易スキニア
ラズ Jaenicke (Therap. Monatsh. 1591, S. 477) ハ即チ此ニ注意スルト
コロアリテ遂ニ硼酸「ボラ」キス」ト稱セシ一種ノ抱合體ヲ製出セリ硼
酸ト硼酸曹達トヨリ製シタルモノニシテ常温ニ於テハ其十六「プロセ
ント」體温ニ於テハ其三十「プロセント」以上ヲ溶解スル所ノモノナリ
而シテ其効力ハ單純ノ硼酸ニ優ルコト數等ナリトイフ

注意世間硼酸或ハ「サリチール」酸ノ水ニ溶解スル力弱キヲ恨ムモノ多シ余ハ數年前ヨリ
既ニ是レ等ノ藥物ノ溶解力ヲ増加センカ爲メニ常ニ硼砂ヲ添加セリ硼砂十瓦ヲ用ユル
ハ硼酸ノ六瓦ヲ水ニ溶解スルヲ得ベシ

● 硼酸加爾叟謨 Calcium boricum

硼酸加爾叟謨ハ硼砂溶液ニ格魯兒加爾叟謨ヲ加ヘテ製シタルモノニシテアルベルタ氏ハ之ヲ用ヒテ濕性「エクツエマ」ヲ治シ汗ノ惡臭ヲ止メ又小兒ノ下痢ヲ癒スニ〇、三乃至〇、四ヲ用ヒテ奏効アリ (Ph. C. XXXV 672)

● 硼撒里失爾偲里設林 Borsalicylglyecin

硼撒里失爾偲里設林ハ

硼酸 十分

撒里失爾酸 十分

蒸溜水 十分

偲里設林 四十分

ヲ「コルペン」ニ容レテ煮沸シ

煨性麻偲涅失亞 一分

ヲ添加シ適度ノ熱ヲ與ヘ蒸發シテ五十分トナシタルモノナリ (Ph. C. XXXV 739)

● 硼酸撒里失爾酸那篤留謨 Natrium borosalicylat

硼酸撒里失爾酸那篤留謨ハ硼酸百二十五分撒里失爾酸那篤留謨二百二十十分水七百分ヲ硝子壺中ニ入レ冷却器ヲ附シテ加熱シ放冷スレハ固化ス依リテ之ヲ平扁ノ皿ニ入レテ乾燥スルトキハ白色塊ヲ得ヘシ

本品ハ強力ノ防腐藥ニシテ四十度ノ水ニハ二十%溶解ス又「エチールアルコール」、「メチールアルコール」、「アミールアルコール」、「醋酸依的兒、偲里設林及ヒ「アセトン」ニ溶解スレトモ依的兒ニハ溶解セス (Ph. C. XXXVII 129)

○ ボールグリセリンヲノリン Borglycerinlanolin

「ボールグリセリンヲノリン」ハ硼酸、刺乃林、及ヒ虞利設林ヨリ成ルモ

ノニシテツォルツェル氏創メテ之ヲ「カテーテル」送入ノ際ニ使用シタリ
粘膜ヲ刺戟スルノ力絶テ之レナク極メテ善性ナリトイフ又フォン、バル
デレーベン氏ハ火傷ニ本品ヲ使用ノ良結果ヲ得タリトイフ (Therap.
Monatsh. 1892, 564)

閉部

○ペンツォール Benzol C₆H₆

「ペンツォール」ハ石炭釜兒ヨリ製シタル炭化水素ニシテ無色透明ノ液
ナリ「ペンツォール」ノ旋毛蟲(豚肉内ニ發見スル寄生虫)ニ有効ナルコ
トハ古來人ノ知ルトコロナリ●ピニツテル氏ハ「ペンツォール」ヲ二十七
人ニ應用シテ良結果ヲ得タルコヲ獨逸醫學周誌(一八九一、十四號)ニ
報道セリ○、五瓦ヲ膠囊ニ納レテ朝夕ニ投シ同時ニ大黃ヲ與ヘテ瀉下
ヲ促シタリシト云フ但シ「トリヒチ」(旋毛蟲)含有ノ豚肉ヲ食シタル後

直チニ「ペンツォール」療法ヲ施シタルモノナレモ食後數日ヲ經テ尙ホ
有効ナルヤ否ヤハ疑題ノ中ニアリ●注意「ペンツォール」ト「ペンチン」
トハ固ヨリ同シカラザルモノナリ「ペンチン」ハ石炭油ノ低温度ニ蒸餾
シ來ル所ノモノニシテ化學的單ニ C₆H₆ ナル記號ヲ有スルモノノミナ
ラサルナリ此ノ故ニ藥劑師タルモノ「トリヒチ」藥トシテ「ペンチン」ノ
處方ヲ得タルルハ必ス「ペンツォール」ヲ投與シ同時ニ醫師ニ其由ヲ報
告スシ

●「ペンツァセチン」 Benzacetin

「マンツァセチン」ハ「アセトアミドメチール」撒里失爾酸ニシテ無色ノ結晶ナリ二百五度ニ
於テ熔融シ水ニ溶解シ難シ○、五乃至一瓦ツ、毎日三回之ヲ用フ神經症ニ効アリ (Ph. C. X
XX VI 61)

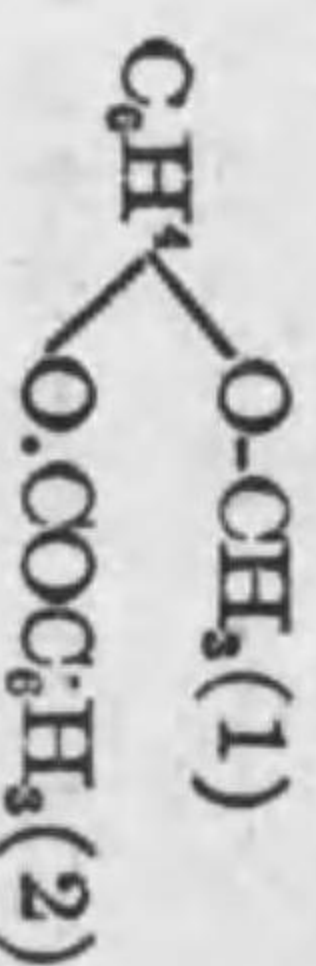
○ペンタール Pental, Trimethylaethylen



「ベンタール」ハ教授フォン、メーリング氏ノ發明シタル知覺脫失藥ニシテ無色透明點火シ易スキ稀薄ノ中性液ナリ一種依的兒樣ノ臭氣ト甘味トヲ有セリ比重ハ〇、六九ニシテ二十九度以下ニ於テ沸騰ス其「ベンタール」ト名ケシハ一分子中ニ五個ノ炭素ヲ含有スルカ故ナリフォン、メーリング氏ノ報告ニ由レハ「ベンタール」ノ二十立方仙米ハ能ク三乃至四分間ニシテ麻醉ノ効ヲ奏シ絶テ副作用ヲ見ルコトナシト云フ (P. C. XXXII 611) 然ルニ治療月報ノ報スル所ニ由レハ種々ノ副作用アリテ他ノ知覺脫失藥ニ劣ルトモ優ルトコロアルコトナシトイフ (Therap. Monatsh. 1893, Nr. 1, S. 44) 此ノ故ニ今ハ「ベンタール」製法等其詳細ナルコトハ省略スヘシ

○ベンツォイルグアヤコール

Benzoyl-Guajacol (Benzozol)



「ベンツォゾール」即チ「ベンツォイルグアヤコール」ハ無色無臭無味ノ結晶ニシテ僅カニ「グアヤコール」ノ味ヲ殘スノミ「グアヤコール」ト安息酸トノ抱合體ニシテ體中ニ攝取スレハ「グアヤコール」ト安息酸トニ分解シ其胃腸ヨリ吸收セラル、ノ度ハ強メテ速カニメ服後二十分間ニ既ニ尿又ハ唾液中ニ「グアヤコール」ノ析出ヲ見ルナリ (P. C. XXXII, 859) 「ベンツォゾール」ハボングルツ氏ノ肺勞療法ヲ目的トシテ製出シタル所ノモノニシテ結麗阿曹篤ノ如ク胃腸ノ刺戟ヲ呈露スルコトナク且ツ不快ノ臭味等ナキヲ以テ極ニテ便益有効ノ新藥ナリトナスヘシワル

ツェル氏ニヨレハ柯々阿脂ト白糖トニ配伍シテ丸トナシ或ハ薄荷油ヲ
 附加スルキハ最モ服用ニ適スルトイフ初メ一日三回ヅ、食後〇、二五
 ヲ投シ漸ク増量シテ一日三回〇、八ニ至ルヘシ●ヒアトコウスキー氏
 ハ本品ヲ蜜尿病ニ與エテ良効アルヲ報道セシガ其後バルマー氏ハ數
 多ノ同患者ニ應用シテ効果ノ如何ヲ驗セリバルマー氏ハ自家ノ實驗ニ
 徴シテ遂ニ本品ハ決シテ糖分ノ消散若クハ變化ヲ由來スヘキ効力ナキ
 ヲ斷言セルノミナラス時トシテハ下痢ヲ起スノ弊アルヲ揚言セリ
 (Berl. Klin. Wochenschr. 1893, 1117.)

○ベンツォゾール (一名ベンツォイルグアヤコール)

○ベンツォナフトール Benzonaphthol $C_{10}H_7OOCOC_6H_5$
 Benzoesäure-B-Naphthyläther, B-Naphtholbenzoat

「ベンツォナフトール」ハ安息酸「ベタナフトール」ト稱シ「ザリチル」酸

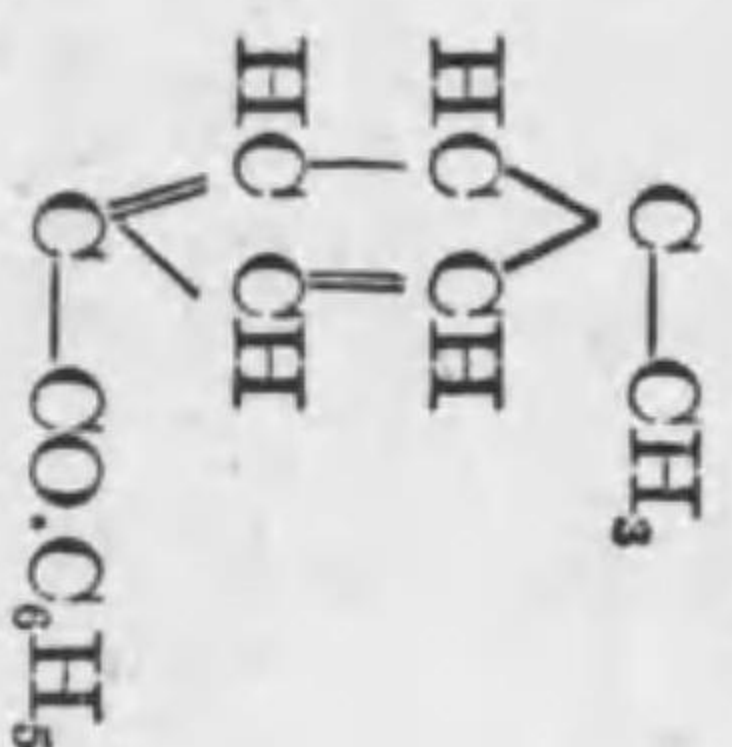
「ベタナフトール」ト同一ナル構造ヲ有スル者ニシタイグオン及ピベル
 リオツツ兩氏ノ創製ニ係ル「コロール化ベンチール」ニ温ヲ加ヘテ「ベ
 タナフトール」ヲ作用セシメ得ル者ナリ白色細針狀ノ結晶ニシテ無味無
 臭ナリ(「ベタナフトール」ノ如ク惡臭ヲ有スルコナシ)常温ニ於テハ殆
 シト水ニ溶解スルコナシ二十二度ニアリテハ水ノ千分ハ「ベンツォナフ
 トール」ノ〇、一瓦ヲ溶解スヘシ依的兒ニ僅カニ溶解シ嘔囉防ニハ容易
 ニ溶解ス熔融點ハ百十度ナリ乾燥セル「ベンツォナフトール」ノ小許ヲ
 亞爾簡保兒ヲ含マサル「コロ、ホルム」ニ溶解シ之レニ一小片ノ苛性加
 里ヲ投シ加温ノ沸騰スルニ至ラシムベシ此ノ時若シ直チニ青色ヲ呈ス
 ルモノハ遊離「ベタナフトール」ヲ雜有スルノ徴ナリ但シ長時間煮沸ス
 ル片ハ純粹ノ「ベンツォナフトール」モ亦青色ヲ發スルモノトス是レ「ベ
 ンツォナフトール」ノ分解シテ安息酸ト「ベタナフトール」トニ變スルカ

故ナリ又「ベンツォナフトール」ノ「アルコール」溶液ニ同量ノ硝酸ヲ加ヘ一二滴ノ硝酸汞液ヲ注下シテ赤黄色ヲ發スルモノハ純粹ニアラサルノ徴トナス「ベンツォナフトール」ハ毒性甚タ微弱ナルカ故ニ腸中ノ防腐藥トシテ稱賛スヘキモノナリドクトル、ギルベルト氏ハ始メテ本品ノ治療的研究ヲ企テタル人ニシテ同氏ノ試験ニ由レバ極メテ有力ナル腸防腐藥ナリトイフ本品ハ分解スルナクシテ胃腑ヲ通過シ腸中ニ達シ「アルカリ」性腸液ノ爲メニ安息酸ト「ベタ、ナフトール」トニ分解スルカ故ニ腸中ヲ防腐スルニ最モ適スルモノトス用量ハ大人ニハ五、〇小兒ニハ二、〇ヲ「オプラート」ニ包ミ與フベシブリック氏ノ定メタル小兒ノ年齢ニ對スル「ベンツォナフトール」ノ用量ハ六ヶ月未滿ニ〇、二一〇、五十二ヶ月未滿ニ〇、六一〇、八三歳未滿ニ一、〇瓦七歳未滿ニ一、五瓦十四歳未滿ニ二、〇瓦ナリトス (P. C. XXXII. 752, XXXIII.

246, n. XXXIV. 51)

○ベンツバラクレンソール Benzoparakresol

「ベンツォバラクレンソール」ハペチット氏ガ「バラクレンソール」ノ那篤留母鹽ニ「コロル化ベンツォイル」ヲ作用セシメ或ハ安息酸那篤留母ト「バラクレンソール」トヲ和シ酸格魯兒化磷ヲ作用セシメテ得タル所ノ新防腐藥ナリ



無色ノ結晶ニシテ水ニハ溶解セサレモ依的兒、嘔囉叻ニハ容易ニ溶解ス又熱亞爾箇保兒ニモ容易ニ溶解ス溶解點ハ七十度乃至七十一度ナリ

防腐ノ効強盛ナリ (Nouv. remedes 1893, Nr 4.—P. C. XXXIV, 152.)

○ベンツアニリド Benzanilidum $C_6H_5-CO.C_6H_5$

白色ノ粉末ニシテ水ニ溶ケズ酒精ニ溶解ス小兒科ノ有効解熱劑ニシテ肺炎、腦膜炎等ニ對シ其効驗顯著ナリ小兒ニハ〇・一〇、四チ一回量トシ大人ニハ〇・六一、〇チ用ヒ一日ノ極量ヲ三、二瓦トス

●「ベンツォヨードヒドリン」 Benzoyldhydrin

「ベンツォヨードヒドリン」ハシエナル氏ノ報告ニ據レハ沃度加留謨ノ代用藥ニシテ而シテ沃度ノ中毒ヲ誘起スルノ虞ナク且ツ沃度加留謨ヨリ少量ヲ以テシテ能ク沃度加留謨ト同一ノ効ヲ収ムルコトヲ得ベシト云フ本品ハ脂肪様ノ感ヲ有スル結晶性ノ物質ニシテ「ペンツォイールヨードット」及ヒ「エビクロールヒドリン」ノ混和物ヲ七十度ニ熱シテ製シタルモノニシテ依的兒、酒精及ヒ嘔囉防謨ニ溶解ス (Ph. C. XX

XVIII 372)

○ペンツォイールアミードフェニール醋酸

Benzoylamidophenylsäure

「ペンツォイールアミードフェニール」醋酸ハ其製法「バテント」ニ屬シ詳カナルコトハ知ル能ハサレモ扁桃酸ニ安母尼亞ヲ作用セシメテ得ル所ノ「アミードフェニール」醋酸ヲ「アルカリ」液ニ溶解シ一定量ノ「コロール化ペンツォイール」ヲ加フルニ由テ化生スル所ノモノニシテ最モ卓越ナル消毒藥トナス殊ニ腸ノ消毒ニ適セリ然レモ其用量等ハ未タ詳カナラス本品ノ「アルカリ」鹽ハ水ニ溶解シ易シ (Chem.-ztg. 1890. 103, P. C. XXXII, 243)

●「ペトロズルフォル」 Petrosulfol

埃國製「イヒチオール」ノ別名ナリ

○ペンツォフェノ子イド Benzo-Phenonoid

ガレツォウスキ―及ヒベチット兩氏ハ一種ノ新「テール」色素ヲ製出セリ化學士「テトラ、メチール、チアミード、ペンツォ、フェ、子イド」ト稱シ單ニ「ペンツォフェノ子イド」ト名ケタル所ノモノナリガレツォウスキ―氏ノ試験ニ由レハ本品ノ「プロセント」水溶液ハ刺戟ナキ確實ノ防腐藥ニシテ殊ニ眼病治療ニ稱賛スヘキ者ナリトイフ (Therap. Gazette 1891. 199)

●「ペプトメツルリン」 Peptomedullin

「ペプトメツルリン」ハ骨髓ノ有効成分ヲ含有スル所ノ百布頓ニモトランザ氏ノ附シタル名稱ナリ (Ph. C. XXXVIII, 853)

●「ヘムアルブミン」 Hämalbumin

クレトフェル製造所ノ報告ニ據レハ「ヘムアルブミン」ハドクトルダー

メン氏カ諸症殊ニ虎列刺ノ如キ傳染病ニ罹リ若クハ罹病後及ヒ一般虛弱者等カ營養傷害ノ爲ニ胃弱ヲ誘起スルヲ慨シテ新ニ造レル理想的ノ鐵蛋白製品ナリ

本品ハ已ニ消化ヲ了シタルモノナルヲ以テ最早胃ノ消化液ヲ要スルコトナク且ツ著シク多量ノ營養素ヲ含ミ而シテ價ハ却リテ廉ナルカ故ニ貧者モ亦之ヲ用フルコトヲ得ヘシ

本品ハ稍々酸味ヲ帶ブル粉末ニシテ永久ノ保存ニ堪ヘ熱湯及ヒ葡萄酒麥酒等ニ溶解シ而シテ消化ノ状態ニ於ケル無水蛋白九十五%以上ヲ含有ス、其集成ハ鮮血ニ酷似シ一瓦中ニハ健康ナル鮮血六瓦中ニ含メル物質ヲ有ス只「フィブリン」及ヒ新陳代謝ニ由リテ生スル尿素及ヒ「クレアチニン」等ヲ缺如スルノミ

本品ハ第一位ヲ占ムル營養品ニシテ之ヲ服用スルニ際シ別ニ攝生ヲ行

フ必要ナシ何トナレハ日ナラスシテ食慾ヲ催進スヘキヲ以テナリ
 消化力弱キ乳兒ニハ一瓦ヲ七十乃至八十瓦ノ熱湯ニ溶カシ乳器ニ容レ
 砂糖ヲ添加シテ與フヘシ又乳汁ニ和シテ與ヘント欲セハ一%ノ熱湯液
 一分ヲ鮮乳三分中ニ攪拌シツ、混シテ凝固ヲ避クヘシ萎黃病ニハ一瓦
 宛毎日三回乃至六回服用セシメ而シテ成年者ニハ直ニ之ヲ舌上ニ致シ
 水、葡萄酒又ハ麥酒ニテ飲下セシムベシ (Ph. C. XXXV. 476—477)

●「ヘモフェルム」Hämoferrum

ステアルンス商店ニ於テ販賣スル丸藥ニシテ一種ノ鐵蛋白化合物ナリ製法及ヒ集成等未ダ
 詳ナラズ (Ph. C. XXXV 575)

●「ヘモフェルローゲン」Haemoferrugen

乾燥「ヘマトーゲン」ト同シ

●「ベタオイカイン」Beta-Eucain

「メタオイカイン」ハ在伯林シエーリング株式會社ガ其製品タル「ペー」印鹽酸「オイカン」即チ
 「ペンツォイルルウイニールザアセントアルカミン」ノ鹽酸鹽ニ附シタル名稱ナリ (Ph. C. X
 XXIX 552)

●「クトクレオソール」Hetokresol

桂皮酸「メタクレソールエステル」ノ別名ナリ

●「クトール」Hetol

「クトール」ハ桂皮酸那篤留誤ニシテ結核ヲ治スルニ用ヒテ宜シ然レモ桂皮酸ハ葡萄狀菌、鏈
 鎖菌等ニ對シ自ラ殺菌力ナキガ故ニ「クトクレソール」ノ如キモノト混用スルヲ可トス (Ph.
 C. XXXVIX 817)

●「ヘモトロフィン」Haemotrophin

「ヘモトロフィン」ハハウスマン氏ノ製造品ニシテ保存ニ堪フル美味ノ液狀血素製劑ナリ (Ph.
 C. XXXVII 355)

●「ペプトオウァリン」Peptovarin

「ペプトオウァリン」ハ卵葉ノ有効成分ヲ含有スル百布頓ニモーランゲ氏ノ附シタル名稱ナリ
(Ph. C. XXXVIII 853)

○「ペプトー糊」

シユライヒ氏ノ「ペプトー糊」糊ナル者ハ繻帶ヲ結バズシテ其固定ヲ要スル場合ニ「コルロジウム」ニ代用スル者トス本品ハ分解スルノ性ナク而シテ制腐ノ性ヲ有シ且襪密ニ皮膚又ハ粘膜ニ糊着スルノ性アリ之ヲ使用スルニハ先ツ此糊ヲ以テ創面ノ周圍ニ塗り之ニ「ガーゼ」ヲ被フテ其上ニ又綿ヲ被ヒ而シテ後「ガーゼ」ノ全面ニ糊ヲ塗布スルナリ、糊ハ一日間固着セシメ置クモ皮膚ノ其部分ニ炎症等ヲ起スコトナク却テ能ク襪密ニ其「ガーゼ」ヲ保持スルノ効アリ、其繻帶交換ニ際シテハ容易ニ水ヲ以テ溶解除却スルヲ得ベシ又頸部等毛髮アル處ニモ直チニ塗布ス

ルヲ得テ簡便ナルノ利アリ、沃士仿謨、「イヒチオール」又ハ「スクレイン」ト混スレハ他ノ目的ニモ供スルヲ得ベシト云フ (Pharm. Centrbl. f. Deut. 1854)

●「ヘロイン」Heroin



「ヘロイン」ハ莫兒比涅ノ「ヂアセチール」化合物ニシテドクトル、フローレット氏ハ之ヲ咳嗽及ヒ喘息ニ用ヒテ良果ヲ得タリ蓋シ不良ナル副作用ハ之レ無カルヘシ一回〇、〇一乃至〇、〇二瓦ツ、一日三回又ハ四回砂糖ヲ加ヘテ散薬トナシテ與フ又之ヲ水溶液トナシ稀醋酸二三滴ヲ點シテ用フルモ可ナリ (Therap Monatsh. 1898, 512; Chem. Ztg 1999, 156)

●「ペロニン」Peronin $C_{17}H_{18}NO_2 \cdot O \cdot CH_2C_6H_5 \cdot HCl$

「ペロニン」ハ莫兒比涅ノ「ベンチールエーテル」ノ鹽酸鹽ニシテ即チ莫兒比涅ノ水酸基ノ水素カ亞爾箇保爾殘基 $C_6H_5CH_2$ ニ由リテ交換セラレタルモノナリドクトルシユリョーテル氏ハ之ヲ「フチジス」患者ノ咳嗽ニ賞用セリ本品ノ効力ハ莫兒比涅ト古堙乙涅トノ間ニ在リ在ダラムスタットメルク社ノ製造ニ係ル用量ハ一回〇、〇二乃至〇、〇四瓦ナリ (Ph. C. XXXVIII 58 Chem. Ztg. 1899. 156)

●「ベタレスアルギン」 B-Resalgin

一分子ノ「ベタン」ズルテール「酸」ト二分子ノ安知必林トノ濃厚水溶液ヲ造リテ相混和スルトキハ直ニ油狀物ヲ析出シテ徐々ニ凝固ス依リテ之ヲ水洗シ亞爾箇保爾若クハ醋酸依的兒ヨリ再晶ヲ結ハシムレハ百十五度ノ溶融點ヲ有スル無色ノ針狀晶ヲ得ヘシ是レ「ベタレスアルギン」即チ「ベタ撤里失爾酸フェニールヂメールピラツォロン」ナリ

本品ハ冷水ニハ溶ケ難ク沸湯ニハ易シ殊ニ亞爾箇保爾「アセトン」「噶囉仿謨」醋酸依的兒ニハ容易ニ溶解シ依的兒、「リグロイン」ニハ溶解セズ那篤倫滷液ヲ加フレバ「レゾルチール」酸那篤留謨ト安知必林トニ分解ス又之ヲ無水「フタール」酸ト共ニ二百二十度ニ熱スルトキハ「フルオレスセイン」ヲ化生ス (Ph. C. XXXV 429)

○「ヘマトーゲン」 Hämatogen

ピオ、マルフォイ氏ノ製出シタル、鐵ノ有機性抱合體ニシテ體中ニ吸收シ易スキモノナリ輕疎ナル葉黃色ノ粉末ニシテ弱亞爾加里液ニ溶解シ易シ〇、七「プロセント」ノ鐵ヲ含有ス製法ハ蛋白ヲ加里滷ニ溶解シ濾過シテ酒石酸鐵液ヲ加ヘ更ニ醋酸ヲ以テ沈澱セシムルニアリ (Deutsche Med.-ztg. 1892, 17)

●「ヘミクランニン」 Hemieranin

「ヘミクラニン」ハ「フェナセチン」五分、咖啡根一分、枸橼酸二分ノ混物ナリ (Ph. C. XXXVII 72)

●「ヘモ子イン」 Haemonein

「ヘモ子イン」ハ在ハンノウウエル レープリンク氏ガ肉越幾斯ヨリ製造シタル滋養品ニシテ 強壯劑トシテ應用セララルモノナリ (Ph. C. XXXVII 854)

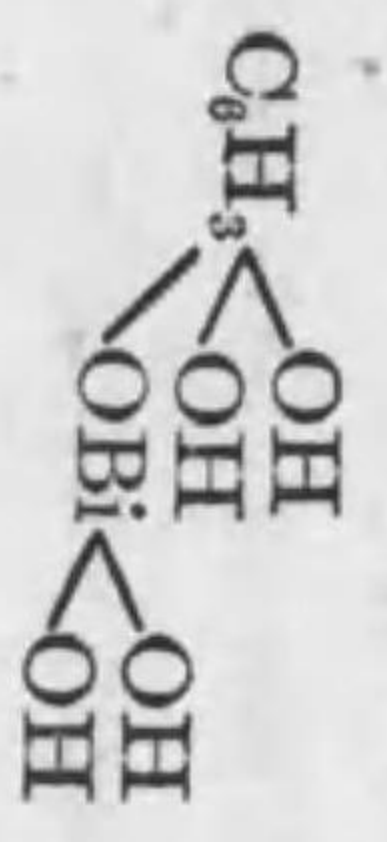
○ヘモスタチクム Haemostaticum

「ヘモスタチクム」ハライト氏ノ製出シタル創傷止血藥ナリ 犢牛ノ胸腺ヲ細挫シ三乃至四「リートル」ノ稀曹達液 (一、二瓦ヲ千瓦ニ溶シタル者) 中ニ投シ十五—二十瓦ノ嘔羅叻ヲ添加シ温浸シテ濾液ニ「プロセント」ノ「コロールカルチム」ヲ加ヘ且ツ稀曹達液ヲ加ヘテ弱「アルカリ」性トナシ密栓器中ニ貯フベシ本品ハ之レヲ脱脂綿ニ浸シ創面ニ置クベシ (P. C. XXXIV, 598)

●「ヘルミチーテ」 Hermitine

「ヘルミチーテ」ハ電氣ヲ通シタル海水ニシテ外科術ニ於テハ之ヲ防腐藥消毒藥トシテ實用ス蓋シ游離格魯兒アリテ此作用ヲナスナルベシ (Ph. C. XXXVII 734)

●「ヘルコソール」 Helcosol



「ヘルコソール」ハ子グレスク氏ガ焦性没食子酸若鉛ニ附シタル名稱ナリ (Ph. C. XXXVII 88)

●「ペルツッシン」 Pertussin

「ペルツッシン」ハ在伯林コンマンダントン藥局ニ於テ製造スル百日咳ニ有効ナル新藥ニシテ 無害ナリ製法未詳又之ヲテシユチル氏金牌「チームス」越幾斯ト稱ス (Ph. C. XXXVII 239)

●「ペルロチン」 Pellotin

「ペルロチン」ハヘフレル氏カ「アンハロニウム、レウイニイヘンニングス」ナル植物ヨリ製出シタル亞爾加魯乙度ニシテ好良ノ催眠藥タリ〇、〇六瓦ヲ内服シ又ハ〇、〇二乃至〇、〇四瓦ヲ注射スルトキハ直ニ眠ヲ催フシテ數時間持續シ毫モ惡作用ノ認ムヘキモノナシ (Ph. C. XXXXVII 385)

●「ペリヲダーテス」Periodates

「ペリヲダーテス」ハ近來英國ノ化學者ウイーメル氏ガ虎列刺病ニ應用シタル所ノモノニシテ礦物性ノ物質ナリトイフ然レモ其詳カナルコトハ知ルニ由ナシ

●ヘブリン酸 Chebulinsäure

アドルビト氏ニ由レハ一種ノ芳香酸化酸ニシテ鞣酸ト單寧トノ間ニ位スルモノナリトイフフリドリッ氏ニ由レハヘブリン酸ハ $C_{28}H_{34}O_{19} + H_2O$ ノ記號ヲ有シ其ノ水性液モ既ニ分解チナストイフ藥用ニ供セラレタルコトヲ聞カズ

●「ペプトチロイゲン」Pepsotrypsin

「ペプトチロイゲン」ハ甲狀腺ノ有効成分ヲ含有スル百布頓ニモーランチ氏カ附シタル名稱ニシテ「ペプトメヅルリン」及ヒ「ペプトオウァリ」ト共ニ孰レモ唯簡單ニ各種ノ器官ヲ百布頓ニ變化セシメタルモノニ外ナラス而シテ此等ノ製品ハ乾燥ノ状態ニ於テモ又舍利別ノ状態ニ於テモ共ニ永久變敗セス (乙ノ場合ニ於テ亞爾加魯保爾及ヒ偏里設林各々等分ヲ和スルヲ可トス) (Ph. C. XXXVIII 853)

●「ペプトチレオイゲン」酒 Vinum Pepsotrypsini

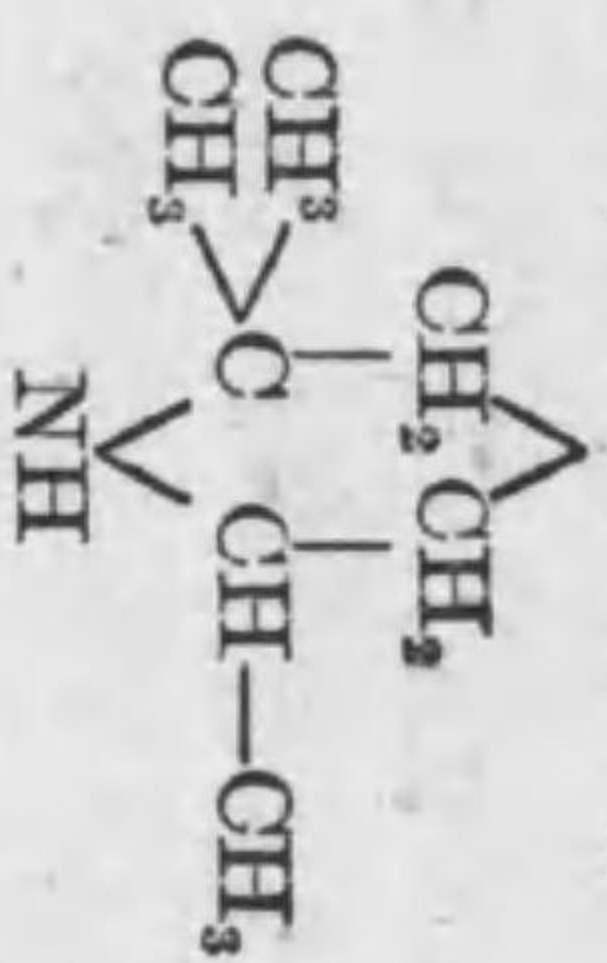
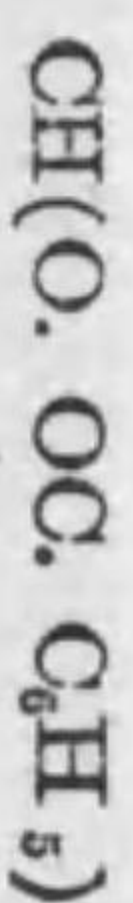
「ペプトチレオイゲン」酒ハ甲狀腺ヲ細挫シ水、百布聖、酒石酸等ヲ加ヘ四十五度以下ノ温ニ於テ温浸シ濾液ヲ中和シ更ニ濾過シテ后濾液ヲ真空裝置内ニ於テ蒸發シテ舍利別稠トナシ葡萄酒ヲ和シ放置シテ更ニ濾過シタルモノナリ (Ph. C. XXXVIII 854)

●百布頓彩^{ペースタ}糊 Peppson-Paste

百布頓彩糊ハシエライヒ氏ニ據レハ古魯胃膜ノ代用品トシテ繃帶ヲ固着セシムルニ用フルモノナリ本品ハ分解スルコトナクシテ能ク皮膚及ヒ粘膜ニ附着ス今創面ニ「ガーセ」若クハ綿花ヲ置キ周圍ニ百布頓彩糊ヲ塗り而シテ更ニ創面ヲ蓋フニ適當大ノ布片ヲ以テ其周圍ヲシテ彩糊ニ粘着セシムレハ少シモ皮膚ヲ刺戟スルコトナクシテ終日能ク之ヲ固定ス繃帶交換ニ際シテハ水ヲ用ヒテ溶去スヘシ又能ク毛髮上ニ之ヲ塗布スルコトヲ得、沃度仿膜度、「イヒチオール」「スクレン等」ヲ混和シテ特別ノ目的ニ使用スルコトアリ製法未詳、在伯林藥劑師コールマイエル氏ノ販賣ニ係ル (Ph. C. XXXV. 575)

●「ペー」印「オカイン」

Eucain B.



「ペー」印「オイカイン」ハ「ペンツォイルウイニールヂアセトンアルカミン」ニシテ「アー」印「オイカイン」ニ化學上密接ノ關係アルノミナラズ古加乙涅殊ニ「トロバコカイン」ニ對シテ亦化學上ノ關係淺カラス然レモ此等ノ化合物ニ比スレハ遙ニ無害ニシテ刺戟性少ナク而シテ麻醉ノ効ハ却リテ強大ナリ、水溶液ハ之ヲ煮沸スルモ分解セサルカ故ニ煮沸ニ依リテ滅菌スルコトヲ得ヘシ

本品ノ水ニ溶解スル比例ハ室内溫度ニ於テ大約五%ニシテ反應中性ナリ或ハ微亞爾里性ヲ徴スルコトアリ

シーレッツキス氏ハ常ニ二%ノ水溶液トナシ眼科ノ施術ニ最モ有望ナル
新局處麻酔藥トシテ賞用セリ (Ph. C. XXXVIII 103)

○ベタナフトールウイスマート

Beta-Naphthol-Wismut

本品ハ「テーデボエル」ノハイデン商社ニ於テ製出スル蒼鉛製劑(フエノ
ールウイスマート、クレソールウイスマート)等ノ一ニシテ中性無臭無味
水ニ不溶解ノ粉末ナリチンキー氏ハ本品ノ殊ニ虎列刺ニ有効ナルヲ
稱道シ腸中ニ於テ「ベタナフトール」ト蒼鉛トニ分解シテ一ハ糞便ト共
ニ析出シ一ハ忽チ吸收セラレテ尿中ニ排泄スルト云ヒシユベコ、ブラッ
ハスタイン雷氏ハ本品ハ虎列刺及ヒ類似症ニ一日二瓦ツ、用ヒテ満足
ノ成效ヲ得タリトイフ (Wratsch. 1892 Nr 51—1893 Nr 1—P. C. XXXIV
236)

○ペラギン Pelagin

オエゲン、ホルニール氏ノ創製シタルモノニシテ船病ニ効アリトイフ或報告ニ由レバ「ペラ
ギン」ハ「アンチヒリン」「コカイン」及ヒ「コッフエイン」ヲ依的兒性液ニ溶解シタルモノナリ
トイフ一食匙ヲ水ニ和シ或ハ單ニ服用スベシ (P. C. XXXIV, 497)

○ベルベリン Berberin $C_{20}H_{17}NO_4 + 4\frac{1}{2}H_2O$

黄色苦味ノ針狀結晶ニシテ健胃強壯ノ効ヲ主トス妊婦ノ嘔吐子宮ノ出血ニ一日一瓦ヲ用ユ

○ペペリン Beberin $C_{19}P_{12}NO_3 + 1\frac{1}{2}P_2O$

白色苦味ノ粉末ニシテ強壯解熱ノ効アリ規尼涅ノ良代用品ナリトイフ一回ノ量ハ〇、〇五乃
至〇、一ヲ散劑、丸劑トシテ與フ

●「ペルロ」Perco

「ペルコグナック」ノ異名ナリ

●「ペルコグナック」Perucognac

ヘルコゲナック」ハ在ゲンメルスバツハダルマン社ノ製品ニシテ「リートル」中ニ二十五瓦ノ「ヘルバルサム」中ニ含メル有効成分ヲ溶解セシメタルモノナリ (Ph. C. XXXIX 61)

●乾燥「ヘマトゲン」 Haematogenum Siccum

乾燥「ヘマトゲン」ハ和菌スニークノ製薬社ニ於テ真空装置ヲ用ヒテ製造シタル乾燥無臭ノ粉末ナリ其百五十五ワハホムメル氏「ヘマトゲン」ノ「リートル」ニ當ル丸劑錠劑等トナシテ服用セシム (Ph. C. XXXIX 60)

○ベルレチリン Helleterin

「ベルレチリン」ハ柘榴根皮ヨリ製出セル黄色油狀揮發性ノ液體ナリ條虫ノ特效薬トス前夕ヨリ消化シ易キ淡泊ノ食物ヲ與ヘ兼テ緩下劑ヲ投シ翌朝胃腸ノ空虚ニ乘シ硫酸鹽又ハ鞣酸鹽ノ〇、一五—〇、三ヲ綿馬越幾斯ニ伍シ丸劑若クハ膠囊ニ入レテ服セシムヘシ時トシテハ惡心嘔吐、眩暈等ノ副作用ヲ起スアリ此ノ如キニ方リテハ沸騰散ヲ投シテ

豫防スヘシ

○ベラ實 Bela (赤痢薬)

○ベルラドンニン Belladonium (瞳孔散大薬)

○ヘニン Helinum (結核薬)

○ヘレボレイン Heleboreinum (眼科的知覺脱失薬)

○ペレイリン Pereirinum (間歇熱薬〇、五—二、〇)

止 部

○トリクレソール Trikresol

石炭釜兒油ヨリ精製シタル純粹ノ「クレソール」混合劑ニ「シェーリン」グ「會社」ハ「トリクレソール」トイフ名ヲ命シテ市上ニ出シタリ「クレソール」ノ水ニ溶解シガタキ所以ハ其雜物ヲ含有スルカ故ナルヲ看破シタルハ是レ此ノ會社ノ殊ニカヲ盡シテ「トリクレソール」ヲ製出シタ

ル所以ナリ○「トリクレソール」ハ三種ノ「クレソール」ノ「イソメット」
 躰ヨリ成ルモノニシテシユルツェ氏ニ從ヘハ其百分ハ「メタクレソ
 ル」四十分「オルトクレソール」三十五分「ブゾエトシレソール」二十五
 分ヨリ成ルトイフ水清、透澄ノ液ニシテ「クレヲソート」ニ似タル一種
 ノ香竄臭アリ比重ハ攝氏二十度ニ於テ一、〇四二一一、〇四九ナリ百八
 十五度乃至二百五度ニ於テ沸騰ス二、二一一二、五五%ノ水溶液ヲ製シ得
 ヘシ本品ノ一立方仙米ニ那篤倫汁ノ二、五立方仙米ヲ加ヘ之レヲ五十
 立方仙米ノ水ニ滴下スルキハ十分ニ透明ナル水液ヲ得ベシ○フレンケ
 ル及ヒグルーベル氏ニ由レハ「トリクレソール」ノ一「プロセント」溶液
 ハ石炭酸ノ三「プロセント」水溶液ト同一ノ消毒力ヲ有ストイフ (P.C.
 XXXIV, 722)

●「トリフォルモール」 Triformol

「トリフォルモール」ハ「パラフォルムアルデヒド」ト同一物ナリ

○トリチナール Trional

「トリチナール」ハ新催眠薬ニシテ實地上ニ應用シ得ヘキ價値アルモノ
 トスオー、コルラツツ氏ハ「トリチナール」ニ就テノ經驗ヲ伯林臨床周誌
 (1893, Nr. 40)ニ掲ケタリ其ノ經驗ニ由レハ「トリチナール」ハ絶對的
 確實ノ効驗アリトハ云フベカラサレ凡而モ有害性ノ副作モナク永ク持
 續シテ投薬スルヲ得ベキモノナリ二、〇ハ以テ確實ニ催眠セシムヘ
 シ(但シ不眠躁狂ニアリテハ其効確實ナラズ)持續シタル時ハ一、〇ニ
 シテ足レリ殊ニ多量ノ温湯ヲ同時ニ攝取スルキハ睡眠ヲ迅速ナラシ
 ムルヲ得○或場合ニ於テ八瓦ソ「トリチナール」ヲ攝取シタルヲアリシ
 モ十二時間睡眠シタルノミニシテ爾后異狀ヲ見サリキ是レニ由テ「ト
 リチナール」ハ中毒ノ危險ニ陥ルヲナキヲ知ルベシ

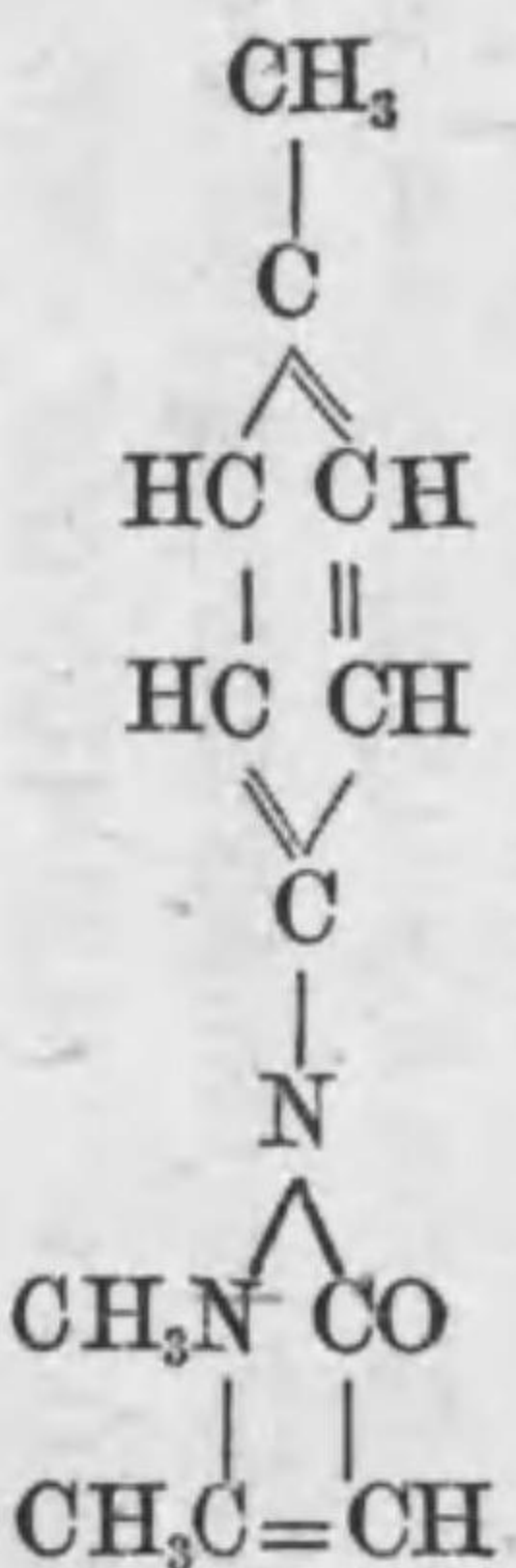
●「トリチナール」炭酸水 *Trional-Wasser, (Kohlensäure haltiges.)*

「トリオナール」炭酸水ハ一瓶(三百三十立方センチメートル)中ニ一瓦ノ「トリオナール」及ヒ天然「セルテル」水ノ本成分(CO₂HNa₂NaCl)ヲ含メル炭酸飽和水ナリ本水ハ「トリオナール」ノ缺點ナク服后十分間ニシテ能ク安眠スルコトヲ得用量ハ一瓶ノ二分一又ハ三分一即チ「トリオナール」〇、五若クハ〇、三ニテ足ル成績好良ナリ (Ph. C. XXXIX 330) (催眠水參看)

○トリピリン *Tolypyrin*

「トリピリン」ハクノル氏カ曾テ獨逸化學會報 (XVII, 549) ニ「トルヂメチールオキシヒニチン」ト名ケテ創製報告シタル所ノモノニシテヘルマン、トーマス氏ハ「ブゾエドトルイヂン」ヨリ製シタル「ブゾエドト

リールヒドドラチン」ヲ「アツェト醋酸エステル」ニ抱合セシメ生成シタル「ブゾエドトリールメチールピラツオーロン」ヲ「メチール」化セシメテ製出シタリキ (P. C. XXXIV. 146) 此ノ故ニ「トリピリン」ハ「ブゾエドトリール、ヂ、メチールピラツオーロン」ト稱シ左ノ記號ヲ有ス



「トリピリン」ハ無色苦味ノ結晶體ニシテ百三十六乃至百三十七度ニ於テ溶解ス其「アンチピリン」ニ異ナル點ハ「ピラツオーロン」核ニ彼レハ「フェニール」屬ヲ嵌入セシメ此レハ「バラトリール」屬ヲ嵌入セシメ彼ハ水ニ溶ケ易ク此レハ溶ケ難シ彼レハ濃液ニアリテノミ「ナトロン」滷汁ニ混濁スレモ此レハ稀薄液ニ於テ混濁スルニアリ (Pharm. Ztg 1893)

Nr. 24, S. 192) 本品ハ解熱ノ効、「アンチピリン」ニ卓越ナリト雖モ他ノ解熱藥ノ廉ナルニ若カサル所アリ●本品ノ撒里失爾酸鹽ヲ「トリザール」ト云フ猶「アンチピリン」ノ撒里失爾酸鹽ヲ「ザリピリン」トイフカ如シ

●「トリフェニン」 Triphenin



「トリフェニン」ハ一種ノ新解熱藥及ヒ鎮痛藥ニシテメーリング氏ニ據レハ「バラフェチチデン」ニ「プロピオン」酸ヲ加ヘ加熱シテ得タル「フェナセチン」ノ同基化合物ナリト云フ百二十度ニ於テ溶解シ二十倍ノ冷水ニ溶解ス、用量ハ〇、五乃至〇、六瓦ニシテ体温ニ乃至三度ヲ下降ス (Ph. C. XXXVII 73)

○トリザール Tolysal $C_{13}H_{14}N_2O \cdot C_7H_6O_3$

「トリザール」ハ「トリピリン」ノ「ザリチル」酸鹽ニシテ無色ノ結晶體ナリ百一度乃至百二度ニ於テ溶解ス水ニ殆ント溶ケス「アルコール」ニハ溶ケ易シ●アー、ヘンニング氏ノ研究ニ由レハ急性關節「レウマチス」ニ最初二瓦ヲ與ヘ半乃至一時間毎ニ一瓦ツ、持續シテ投セシニ非常ノ効驗ヲ見タリト云ヒ又慢性ノ「レウマチス」ニモ効アリトイフ又四乃至八瓦ヲ三十分乃至一時間毎ニ數回分服ムシムルハ間歇性又ハ持續性ノ體温ヲシテ著シク速カニ下降セシムヘシ時トシテハ其常温下ニ達スルヲアリ體温低降ト共ニ脈搏呼吸ノ減少スルヲ見ル、「トリザール」ハ其體中ニ蓄積スルノ作用モナク又慣習スルノ性モナシ、本品ハ夜間ニ服用シテ直チニ眠リニ就クハ其効確實ナリ殊ニ頻繁反覆シテ投スルヲ良トス服藥ノ間隔餘リ久シキハ其効著明ナラス耳鳴、眩暈、胃ノ壓重、惡心、嘔氣等ノ副作用ヲ見ルヲナシ○ヘンニング氏ニ由レハ解熱

ノ外ニ酸酵ヲ仰止シ防腐スルノ作用ヲモ具有スルトイフ

● トリールアンチピリン *Tolyantipyrin*

「トリールアンチピリン」ハクノール氏ニ由レハ「トリピリン」ト同質ナリトイフ○「トリピリン」ノ誘導體ニ數種アリ(一)鹽酸「トリールアンチピリン」ハ「トリールアンチピリン」ヲ「ベンツォール」ニ溶解シ之レニ鹽酸瓦斯ヲ通シテ製ス溶點百〇五度ナリ水「アルコール」ニ容易ニ溶解ス(二)異性亞硝酸「トリールアンチピリン」ハ綠色ノ沈澱ナリ(三)第一「ブロームトリールアンチピリン」ハ一分子ノ「トリールアンチピリン」ヲ「コロ、ホルム」ニ溶解シニ分子ノ「ブローム」ノ「コロ、ホルム」溶液ヲ加ヘ依的兒ヲ以テ²澱セシメタルモノヲ温水ニ溶解シ再ヒ冷放スルキハ百二十二度半ニ於テ溶解スル所ノ結晶ヲ析出ス(四)第一沃度「トリールアンチピリン」ハ百四十八度ニ於テ溶クル所ノ結晶ナリ(五)格

魯兒鐵化「トリピリン」ハ黃赤色ノ粉末ナリ(六)「コロラールヒドラー」トトリピリン「一名トリールヒブナール」ハ九十六度乃至九十七度ニ於テ溶解スル結晶ナリ以上ノ諸誘導體ハゲー、エーペルト氏ノ製出セシモノナリ ((Pharm. Ztg. 1893, 251)

○ トロバコカイン *Tropacocain*

古加類鹽基ノ研究ハ一千八百九十一年ニ至リテ其盛大ヲ極メタリ殊ニリーベルマン氏トヘッセ氏トノ交渉研究ハ極メテ有益ナリキ蓋シ「トロバコカイン」モ亦此ノ研究ノ結果ナリトスカードポール子氏ハリーブライヒ氏藥物教室ニ於テ「トロバコカイン」ノ生理的性質ノ研究ヲ企テ其成績ヲ治療月報 (1892, Nr. 9, S. 471) ニ登錄セリ抑「トロバコカイン」ハ化學上「ベンツォール、ブゾエドトロベイン」ト稱シ $C_8H_{11}NO$ (C_7H_5O)ナル記號ヲ有スル無色ノ結晶ニシテ水、亞爾箇保兒ニ溶解シ易シ

古加葉ヨリ製出シタル者ト人工ニ製シタルモノト其性質異ナル所ナシ
 「トロバコカイン」モ通常ノ「コカイン」ト知覺脫失ノ作用ヲ具フルノ點
 ハ全ク同一ナリ然レモカードポール子氏ノ研究ニ由レハ通常ハ「コカ
 イン」ヨリモ其毒性弱クシテ半カニ位シ而シテ其局處ヲ痲痺セシムルノ
 力ハ通常ノ「コカイン」ヨリモ速カニ其効力モ久シク持續スルトイヘリ
 ●或眼科實地醫ノ試験ニ由レハ効力ノ顯發スルヤ通常ノ「コカイン」ヨ
 リモ迅速ナルヲハカードポール子氏ノ研究ノ如クナレモ効力ノ持續ス
 ル點ニ至リテハ却テ短小ナリト云ヘリ或ル場合ニ於テハ眼中ニ滴シタ
 ル後暫時ノ間瞳孔ノ散大シタルコトアリシト云ヒ生理的食鹽液ニ溶解
 スルキハ是レ等ノ欠點ヲ多小除去スルヲ得ベシ概シテ論スレハ通常ノ
 「コカイン」ヨリモ良好ノ成績ヲ見ル場合アリトス (P.C.XXXIII, 615)

○「トラウマトール」Traumatol

本品ハ沃土仿讀ノ補藥「ヨードクレゾール」ト同質異名ニシテ其製法ハ沃土加里母液ノ作用ニ
 賴リテ「クレゾール」ヲ水中ニ乳化セシ其際赤紫色ニシテ臭氣ナキ沈澱ヲ生スルヲ以テ之ヲ洗
 ヒ後乾燥セシムルニアリト云フ (Pharm. Cent. f. Deut. 1894)

○「トロペイン」Tropaine

心臓ニ對シテ刺戟性ノ働キヲ有スルモノナリト云フ

○「ドユボイジン」Duboisinum

「ドユボイジン」ハ「ドユボイジア、ミオボロイデーヌ」樹ノ「アルカロイ
 ド」ニシテ褐色ノ、氣中ニ潮觸シ易スキ塊ナリ亞爾加里性ノ反應ヲ有
 シテ水ニハ溶ケズ其鹽類即チ硫酸「ドユボイジン」ハ水ニ能ク溶解ス本
 品ハ瞳孔ヲ散大スルノ効顯著ニシテ其功ヲ奏スルヤ亞篤魯比涅ヨリモ
 速カナリ瞳孔散大藥トシテハ通常硫酸「ドユボイジン」ノ五%水溶液ヲ
 用ユ又「アトロヒチ」中毒ヲ發シ易スキ患者ニ稱用ス一回ノ極量ハ一ミ

リ瓦トス皮下注射トシテハ〇、〇〇〇一二(一回)乃至〇、〇〇〇一二(一日)
ヲ用ユ (P.C. XXXII, 536)

〇ドユルチン Dulcin

甘味薬「ドユルチン」ハ化學上「ブゾエドフェチトールカルブアミード」
 $\text{CO} \begin{matrix} \diagdown \\ \text{NH}_2 \end{matrix} \text{NH} - \text{C}_6\text{H}_4 \text{OCH}_2\text{C}_6\text{H}_5$ ト稱シ既ニ千八百八十三年ニベルリチルブラウ
氏ノ發明シタル所ナレモ其之ヲ製スルヤ極メテ不廉ナリシガ故ニ久シ
ク世間一般ノ應用ヲ見ルコトナカリシナリ然ルニ千八百九十二年ニ至リ
伯林ノヨット、デー、リーデル化學會社ハ容易ニ製出シ得ベキ「ブゾエド
フェチチデン」ヨリ本品ヲ製スルノ法(製法ノ詳細ハP.C. XXXIV, 280ヲ
參看スヘシ)ヲ發見シ今ヤ廣ク應用セラル、ニ至レリ〇本品ハ教授ヘ
ルツフェルド氏ガ或砂糖製造所ニ於テ演説シタルガ如ク砂糖製造業ノ
一強敵ニシテ「ザッハリン」ト共ニ其甘味アルガ爲メニ廣ク食品又佐藥

トシ用キラル、所ノモノナリトマス氏ノ記載ニ由レハ無色ノ針狀結
晶ニシテ百七十三度乃至百七十四度ニ於テ溶融シ常溫ニ於テ水ノ八百
分ニ溶解シ煮沸水ニハ其五十分ニ溶解ス九十%亞爾簡保兒ニハ一ト二
十五ノ比例ニ於テ溶解ス強硫酸ニ無色ニ溶解セサルモノハ純粹ニアラ
サルノ徴トス〇ヘルツフェルド氏ノ言フ所ニ由レハ「ドユルチン」ハ「ザ
ハリン」ヨリモ其甘味ノ度弱シト雖モ通常ノ砂糖ヨリハ實ニ二百倍
甘シト云フ 飲料中ニ「ドユルチン」ヲ含有スルヤ否ヤヲ檢査スルニハ
二様アリ一ハゲー、モルビューゴー氏ノ法ニシテ一ハノエマン、ウエンデ
ル氏ノ法ナリ(一)檢體ニ二十分一ノ炭酸鉛ヲ投シ蒸發シ「アルコホー
ル」浸液ノ蒸發殘渣ヲ更ニ依兒的ニテ浸出シ其蒸發殘渣ハ殆ント純粹
ノ「ドユルチン」ニシテ既ニ其甘味ニ由テ鑑定シ得ヘシ今此ノ「ドユル
チン」ニ二滴ノ「フェノール」ト二滴ノ強硫酸トヲ加ヘ暫時温メテ舍利別

様ノ液トナルキ之レニ一乃至二立方仙迷ノ水ヲ加ヘ試験管ニ移シ冷後
注意シテ「アンモニアク」又ハ「ナトロン」鹵酸ヲ注下スルキハ其而液ノ
接際ニ青色ヲ呈スベシ(d. Chem—Ztg. 1893. Rep.135)(一)小許ノ「ドユ
ルチン」ヲ磁皿ニ移シ一二滴ノ發烟硝酸ヲ加フルキハ劇烈ナル反應ヲ
起シツ、美麗ナル橙黄色ノ物質ヲ生成スヘシ水浴上ニ蒸發スレハ「ラッ
ク」様ノ橙黄色ノ物質ヲ殘ス今之レニ二滴ノ石炭酸ト二滴ノ強硫酸ト
ヲ加ヘ攪拌スレハ顯著ナル青赤色ヲ發スヘク之ヲ「コロ、ホルム」ニ溶
解スレハ鮮紅色ヲ呈スヘシ但シ此色ハ急チ消失ス(Pharm. Post 1893,
296)

注意「ドクトル、エフ、オン、ハイアンス、ナハフオルゲル」商社ニ於テ發賣製品ノ「ズクロ
ール」Surool ナルモノハ全ク此ノ「ドユルチン」ト同一種ナリ

○トクタイノール Tonguinol (人工麝香ヲ見ヨ)

○トリブROOMフェノール蒼鉛 (三ブROOMフェノール蒼鉛ヲ
見ヨ)

●「トラウマトール」Traumatol

「トラウマトール」ハ沃度仿謨ノ代用藥ニシテ「クレソール」ノ乳劑ニ沃度沃度加留謨液ヲ作用
セシメテ得タル帶赤紫色ノ沈澱ヲ水洗シ乾燥シタル無臭品ナリ (Ph. C. XXXV 653, XXX
VI 510)

●動物性器官製劑

Präparate aus thierische Organen

動物性器官製劑ハ己ニ普ク人ノ知ルカ如ク甲状腺、攝護腺、赤骨髓等ヨ
リスル製品ノ外、在ダラムスタットカルク社ニテハ新ニ胸腺、腦髓、腦
腫瘍卵巢、副腎及ヒ腎臟等ヨリ製劑ヲ造リ乾燥シテ散藥トナシ又ハ錠
劑トナシテ發賣スルニ至レリ (Ph. C. XXXVI 72)

知部



本品ハ枸橼酸ノ味アル白色ノ粉末ナレドモ或ハ結晶形トナシテ製スル
 一ヲ得、其溶融點ハ百八十一度ニシテ四十分ノ冷水、五十分ノ沸騰水ニ
 溶解ス故ニ之ヲ水劑トナシ又ハ皮下注射用トナスニ適ス酸類及亞爾加
 里ニ遇ヘハ「チトロフェーン」ハ再ビ其成分ニ分解ス、ドクトル、ベナリ
 マ氏ハ動物試験ニ由テ本品ノ其全ク無毒ナルヲ確メ○、五一一、○宛七
 人ノ室扶斯患者ニ之ヲ用キ二時間ヲ經タルニ其生理的ヨリ見レハ体温
 ノ正ニ昇騰スヘキ時刻ナルニモ關ハラス却テ二乃至三度ノ下降ヲ見タ
 ルノミナラス患者ハ孰レモ健康ノ状態ヲ現シ不良ノ副作用ハ毫モ之ア
 ルヲ見サリキ若シ夜間之ヲ與フルキハ患者ハ充分睡眠シ得テ其鎮靜ノ
 効ヲ證認スルニ足ルモノアリ肺結核患者ノ熱ニ對シテモ亦非常ニ良好
 ノ影響ヲ與ヘタリ就中一人ノ如キハ○五宛三日間服シタルニ獨熱度

ノ下降シタルノミナラズ兼テ患ヒタル胃ノ疾患モ同時ニ輕快セリ又有
 熱胃病ニ之ヲ用キタルニ此時モ亦体温及疼痛ニ對シ良好ノ影響ヲ認メ
 タリキ其最モ良効ヲ奏スルハ偏頭痛及神經痛ニシテ○、五或ハ是ヨリ
 モ少量ニシテ可ナリト云フ

○實麥答利斯 Digitalis

ピラツト氏ハ凍還ノ原因ヲ研究シ其血行ノ如何ニ由來スルヲ發明シ終ニ凍還ノ治療ニ實麥答
 利斯ヲ内服セシメ兼テ左ノ外用藥ヲ處セリ即チ實麥答利斯丁幾六、○チモール三、○酒精、
 グリセリン各百五十瓦右混和塗擦スルニアリ(Ph.C.XXXV 167)

○デフテリーアンチトキシニン液 Diphterie-Antito

xinlösung-Schering

本品ハ伯林「シェーリング」會社ノ菌學部ニ於テドクトル、ハンス、アロ
 ンソン氏ノ創製シタルモノニシテ無色澄明ノ液ナリ一乃至一半「プロ

セント」ノ蛋白質ヲ含ミ兼テ〇、ニ「プロセント」ノ「トリクレソール」ヲ添加シテ防腐シタルモノトス本品ヲ皮下ニ注射スルキハ「チフテリア」ノ侵害ヲ受ケザルニ至ルハ該會社ノ報告ニ示メセル所ナリベリリ
ング氏ハ同時ニ「チフテリア」療法ニ使用シテ價値アルヲ明言セリ尙
ホ詳カニ藥學中央誌二十五年百九十四頁ヲ參看スベシ

備考クレーブス氏ノ「アンチチフテリア」ト稱スルモノハ後章ニ見

ユ

○ヂフテリチヂウム Diphthericidium

ベルグマン氏ハ「ヂフテリ」ノ豫防藥トシテ一種ノ「バスタ」ヲ製シ小
兒ヲシテ咀嚼セシメ唾液中ニ有効藥物ヲ溶出シ「ヂフテリヤ」ヲシテ治
癒ニ趣カシムルノ法ヲ工夫セリ此ノ「バスタ」ハ「ダンマラ」華爾斯ト
「グッタベルカ」ヲ主成分トシ「バスタ」一個ニ付キ〇、〇〇ニ「チモー

ル」ト〇、〇ニ安息酸「ナトリウム」ト〇、〇一五ノ「ザッカリン」トヲ含
有セリ名ケテ「ヂフテリチヂウム」ト云フ (Med.Chirurg. Rundsch.
1894, 147—Ph.C.XXXV, 180)

●「ヂフテリ」アンチトキシシ

二年以下ノ小兒ニハ一立方「センチメートル」二年乃至十年ノ小兒ニハ
二立方「センチメートル」十年以上ノモノ及ヒ成年者ニハ三立方「セン
チメートル」ヲ皮下ニ注射スヘシ注射器ハ豫メ亞稱個保稱及ヒ三%ノ
石炭酸若クハ一%ノ「トリクレソール」液ヲ用ヒテ消毒ヲ行ヒ兩肩胛骨
間ノ皮下ニ深く注射スルヲ可トス或ハ又上膊若クハ大腿ニ於テスルモ
宜シ (Ph. C. XXXV 476)

●實扶埤里治療血清 Diphtherie-Heilserumhochwerthig

實扶埤里治療血清ハゾロフェツソルペーリング氏カ千八百九十五年リッ

ベツクニ於テ開會シタル萬有學會ニ於テ述ヘタル「高價」ノ品ニシテ六種アリ

記 標	液 量	免 疫 單 位 數
Nr. O. D.	100	500
Nr. II. D.	200	1000
Nr. III. D.	300	1500
Nr. IV. D.	400	2000
Nr. VI. D.	600	3000
Nr. VI. E.	500	3000

免疫單位數五百ニツキ容器并ニ運送賃共價四「マルク」ニシテ孰レモ政府ノ検査ヲ經且ツ「高價」ノ二文字ヲ特記ス(Ph. C. XXXVII 8)

●「ヂヂミン」 Didymia

「ヂヂミン」ハ英國製ノ器官製劑ニシテ牡牛ノ睪丸ヨリ製シタルモノナリ (Ph.CXXXVII

655)

●「チトルレア」 Citrura

「チトルレア」ハ在伯林ラードラウエル氏ノクローチン藥局ニ於テ發賣スル板劑ニシテ尿素枸橼酸及ヒ親雜護里ヲ誤ヨリ成ル (Ph.CXXXVII 816)

●「チレオヨヂン」 Thireojodin

甲狀腺中ノ有効分ヲ分離シ且ツ其有効分ニ就キテ諸家ノ研究中吾人ヲ驚カシメシモノヲプロフェツソルバウマン氏ノ報告トナス氏ハ奄羊ノ甲狀腺ヨリシテ沃度含量ニ富メル有機化合物(傍ラ尙〇、五%ノ燐ヲ含有ス)ヲ製出スルコトヲ得タリ稱シテ「チレオヨヂン」ト云フ本品ハドクトルロース氏ノ實驗ニ依レハ人体中ニ於テ甲狀腺ト同一ノ効力ヲ有ス製法左ノ如シ

細挫シタル甲状腺二十%ノ稀硫酸ヲ加ヘテ數日間煮沸スルトキハ微細絮狀ノ沈渣ヲ折出スベキヲ以テ更ニ八十五%ノ酒精ヲ加ヘ反覆煮沸シテ有効分ヲ抽出シ酒精ヲ蒸發シテ得タル殘滓ヲ那篤倫滷液ニ溶解シ濾液ニ稀硫酸ヲ加フルトキハ褐色無晶形ヲナシテ「チレオヨヂン」ヲ折出スヘシ (Ph.C. XXXVII 58)

● 知母爾溶液 Thymollösung

「チモール」ハ優秀ノ防腐藥ナレトモ之ヲ應用スルコト少ナキハ水ニ溶解スルコト僅微ナルニ由ル然ルニヘルミーテ氏ニ據ラハ酒石酸及ヒ苛性曹達ヲ添加シテ此目的ヲ達スルコトヲ得ヘシ處方左ノ如シ

知母爾	各一分
酒石酸	各一分
苛性曹達	各一分
水	二千分

先ツ前二品ヲ少量ノ微温湯ニ溶解シ尋デ殘餘ノ水ヲ注加スルヲ可トス (Ph. C. XXXVII 97)

○「チモール」 Thimol (「チモール」 Cymolニ異ナレリ)

「チモール」ハ無色ノ結晶ニシテ一種ノ芳香アリ酒精、依的兒、哥囉叻等ニ能ク溶解スレモ水ニハ溶クルヲ甚ダ少シ酸酵、腐敗ヲ抑止スルノ力甚ダ強シ○「チモール」乳劑ハ十二指腸虫ニ稱用ス通常一日六瓦ヲ適量トス其他皮膚病ニ華攝林軟膏ニ和シテ用ユ

● チラーデン Thyraden

「チラーデン」ハ甲状腺ヨリ製造シタル越幾斯ニシテ在ルードウイヒスハ「フエンクノル商店」ノ發賣ニ係ル本品ハプロフェツソル、コッヒェル氏ノ考案ニ基ツキ「ハーフ氏」等ノ製造シタルモノニシテ腺ノ全有効分ヲ含有シ且ツ無臭ニシテ無毒ナリ

其一分ハ鮮腺ノ二分ニ相當ス (Ph. C. XXXVI 645)

●チモフォルム Thymoform



「チモフォルム」ハドクトルヘンニング氏ガ知母爾及ヒ「フォルムアルデヒード」ニ凝縮藥ヲ作用セシメテ得タル類黃色無味ノ粉末ニシテ知母爾ノ弱臭ヲ有シ依的兒、亞爾個保爾、嘔囉仿謨及ヒ阿列布油ニハ容易ニ溶解シ水、石油依的兒及ヒ侃里設利ニハ溶解セス之ヲ硫酸ト共ニ煮沸スレハ分解シテ「フォルムアルデヒード」ヲ生スルモ加里溶液ニハ溶解セス是ニ由リテ之ヲ觀レハ蓋シ「フォルムアルデヒード」ハ「アセタール」ニ於ケルカ如キ結合ヲナスモノナルベシ「沃度仿謨及ヒ「デルマトール」ノ代用品タルヲ得ベキ望アリ (Ph. C. XXXIX 508)

○チモール水銀 Hydrargyrum thymolicum

シユライヒスヅァデック氏ハ梅毒患者ニ筋下注射藥トシテ「チモール」水銀ヲ使用セリ即チ「チモール」水銀一、五分護謨漿〇、五分蒸餾水二十分ノ合劑ヲ用ヒタリト云フ (P. C. XXXII, 212—Therap Gazette) 〇一回ノ量五密一仙瓦トス

●チールシエ氏消毒液 Thiersch'sche Lösung

チールシエ液ハニウヨルク病院ニ於テ用アル規定方劑ニシテ一、五分ノ撒里失爾酸及ヒ十五分ノ硼酸ヲ取り豫メ煮沸シタル蒸餾水千分ニ溶解シタルモノナリ (Pr. C. XXXV 341)

●「ヂヒトロレゾルチン」 Dihydroresortin

「ヂヒトロレゾルチン」ハ「レゾルチン」ノ沸騰水溶液ニ炭酸瓦斯ヲ通シツ、二%ノ「ナトリウムアマルガム」ヲ投シ而シテ尙未タ變化セサル「レ

ゾルチン」ヲ除クカ爲メニ依的兒ヲ加ヘテ振盪シタル後之ヲ酸性トナシ更ニ依的兒ニテ振盪シテ得タル稜柱狀ノ結晶ニシテ百〇四度乃至百〇六度ニ於テ溶解シ水、亞爾個保爾、嘔囉仿謨ニハ容易ニ無水依的兒、硫化炭素及ヒ「リグロイン」ニハ困難ニ溶解ス本品ハ防腐藥トシテ應用セラル (Ph. C. XXXV 687)

●「重酒石酸リシヂン」 Lysidinum bitartaricum

重酒石酸「リシヂン」ハ白色結晶様ノ粉末ニシテ水ニ溶解シ空氣ニ觸ル、モ變化セス其十五ハ「リシヂン」ノ三、六瓦若クハ「リシヂン」液(五十%)ノ七、二瓦ニ當ル (Ph.C.XXXVII2)

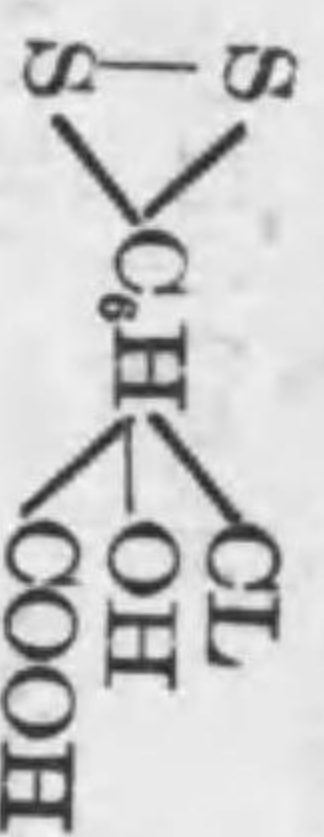
○チチオール Thiolum

「チチオール」ハ一ニ獨逸「イヒチチオール」ト稱シ各種炭化水素ノ硫酸ノ「アンモニヤ」鹽ヨリ成レリ本品ハドクトル、エー、ヤコブセン氏ノ發明シタル者ニシテ應用ハ「イヒチチオール」ニ殆ント異ナルヲナシ●ビッ

テル氏ハ「チチオール」ヲ倍量ノ水ニ稀薄シ火傷ノ第一期又ハ第二期ニ塗布シテ良好ノ成績ヲ得タリトイフ (Südd. Apoth-Ztg 1892, 253)

●「ヂチオクロロ」撒里失爾酸

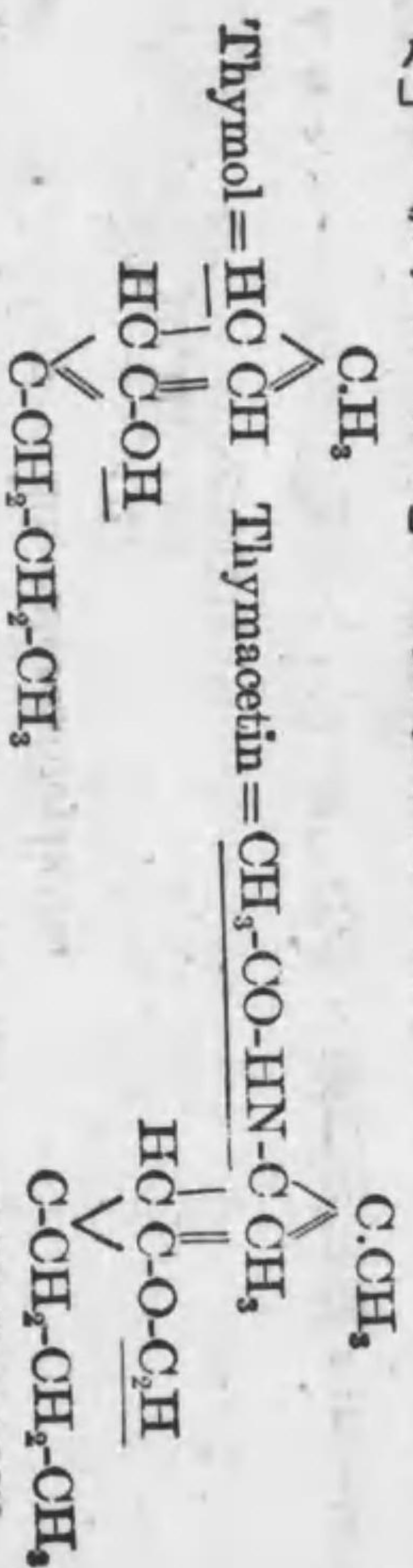
Acidum dithis-chlorosalicylicum



「ヂチオクロロ」撒里失爾酸ハ二十七、六分ノ撒里失爾酸ニ五十五分ノ亞格魯兒硫黃ヲ加ヘ絶ヘス攪拌スルトキハ熱度上昇シテ百四十度ニ及ヒ全然鹽酸瓦斯ヲ放散シテ容易ニ製造スルコトヲ得ルモノナリ今此塊ヲ炭酸曹達ノ幫助ニテ溶解シ更ニ酸類ヲ加ヘテ沈降セシムルトキハ帶黃赤色ノ粉末ヲ得ヘシ沃度仿謨代用品トシテ聲價アリ (Ph.C.XXXVI 566)

○チマツェチン Thymacetin

「チマツェチン」ハ「チモール」ヨリ誘導シタル新薬ニシテ白色結晶性ノ粉末ナリ水ニ僅カニ溶解スル所ノモノニシテヨルリー氏ハ之レヲ神經性頭痛ニ應用シテ緩解スルヲ得タリトイフ (P. C. XXXIII, 56.) ○「チモール」ト「チマツェチン」トノ關係ハ左ノ如シ



「チマツェチン」ノ服量ハ未ダ詳カナラズ

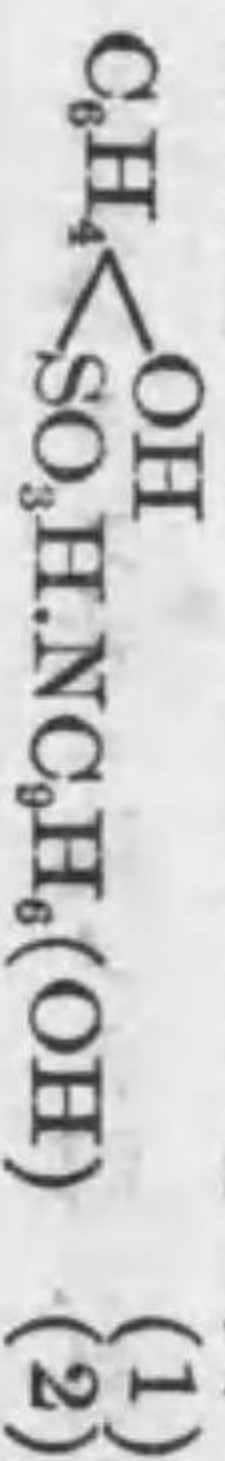
●「チモイヂン」 Zymoidin

「チモイヂン」ハローゼンベルグ氏ノ手ニ成レル一秘薬ニシテ亞鉛華

酸化蒼鉛、酸化亞爾密紐、沃度、苛性曹達、苛性加里、鹽酸、硫酸、硼酸、石炭酸、沒食子酸、撒里失爾酸、鹽酸規尼涅、偏蘇爾「ナフトール」「ピルロール」及ヒ「エチール」亞爾個保爾ヨリ製造シタルモノナリト云フ、水溶液又ハ二十五%軟膏トナシ或ハ「滑石」ト混和シテ用フ淋疾等ニ効アリ (Ph. C. XXXV. 642. XXXVI 120)

○チアフテリン Diaphtherin

「チアフテリン」ハ一名「オキシヒナツェブトール」トイヒ「ミエンヘン」府ニ開設シタル第十一回萬國內科「コングレッツ」ニ於テ始メテエムメリッヒ氏ノ演説シタル新防腐薬ナリトス「オルトフェノール」硫酸(「ゾゾール」酸又ハ「アセブトール」)ト「オキシヒノリン」トノ添加物ニシテ「オルト、フェノール硫酸」オキシヒノリン」ト稱スヘシ其式ハ左ノ如シ



本品ハ硫黄色ノ粉末ニシテ水ニ極メテ溶ケ易シ、他ノ「フェノール」類ノ如ク創面ニ蒸發スルニ由リテ其効力ヲ失フカ如キ弊ナキノミナラス弱「アルカリ」又ハ血液ニ由テ分解シ創面ニ有力ナル「オキシヒノリン」ヲ析出スル故ニ防腐藥トシテハ最モ有力ナリトスエムメリヒハ中等大ノ「メール」シエワインヘン」ニ〇、二五ヲ皮下ニ注射シニ、〇ヲ胃ニ投シタルモ絶ア障害ヲ見ルコナク能ク堪ヒ得タルヲ以テ無害無毒ノ防腐藥ト稱セリ創面ヲ洗滌シ或ハ手術ノ用トナスニハ本品ノ「プロセン」ト「液」ヲ適當トナス「クローン」アッセル氏ニ由レハ創面ヲ刺戟スルコト昇汞又ハ石炭酸ノ如キヲ見ザルモ時トシテハ創面ニ僅カノ燃性疼痛ヲ訴フルアルヲ見ルコアリト云フ〇本品ノ外科術上ニ於ケル欠點トモ云ヌヘキハ鑄製又ハ不完全ニ「ニッケルメッキ」ヲナシタル器械類ニ對シ忽チ分解シテ爲メニ器械ノ黑色ニ變スルコト及ヒ昇汞水ヲ用キタル後ニハ術

者ノ手又ハ爪ヲシテ黄色ニ染着スルノ弊之レナリ〇ハー、ストーベル氏ニ由レハ「リゾール」、石炭酸等ヨリモ遙カニ消毒力強クシテ、「バクタリヤ」ノ種類ニ由リ十倍乃至六十倍ニ至ルトイフ (Munch. med. Wochenschr. p. Therap. Bl.—P. C. XXXIV. 688)

●「ヂアセトアニリド」 Diacetanilid
 $C_8H_9N(C_2H_5O)_2$

「ヂアセトアニリド」ハ「フェニール」芥子油ニ醋酸ヲ加ヘテ加熱シ若クハ安知歇貌林ヲ水醋ト共ニ二百乃至二百五十度ニ熱シテ製ス次方ニ於テハ先ツ反應成績物ヲ度スルニ石油依的兒ヲ以テスレハ未タ變化セサル安知歇貌林ハ溶解セスノ残留スルヲ以テ之ヲ分離シ而シテ石腦油依的兒ヲ冷却セシムルキハ結晶様ノ小板狀トナリテ抑出スルモノナリ其作用ハ安知歇貌林ニ似テ更ニ強大ナリトス (Ph.C. XXXVI 92)

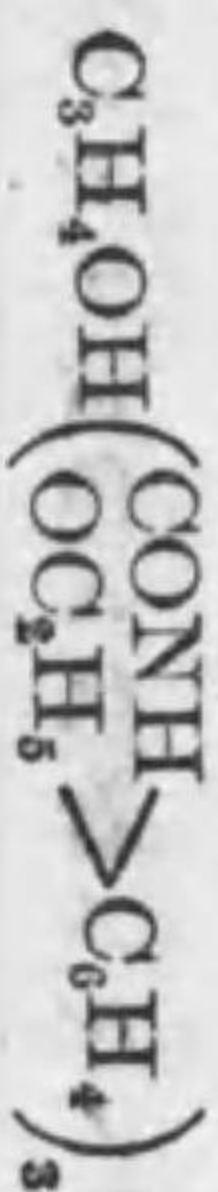
○ヂヨド化グアヤコール Guajacoldiobid

本品ハヴィカリヲ氏ノ製シタル所ノモノニシテ赤褐色沃度ノ臭氣アル
粉末ナリ亞簡爾保兒、脂肪油ニ溶ケ易シ加温スレハ分解スヴィカリヲ氏
ハ本品ヲ肺結核藥トシテ使用シ得ヘキモノト信セリ○製法ハ「グアヤ
コール」ヲ苛性那篤倫ニ注加シ先ツ「グアヤコールナトリウム」ノ結晶
ヲ製シ之レヲ水ニ溶シ沃度ノ沃度加里液ヲ加ヘ沈澱セシムベシ (P.C.
XXXIII, 112)

○チヲチナフチールオキシード Thiodinaphthyl oxyd

本品ハ「チチナフチールオキシード」ト同一ノ法ヲ以テ製ス橙黄色無臭ノ粉末ニシテ皮膚病
ニ使用ス (P. C. XXXIII, 715)

●チトロフエーン Citrophen



「チトロフエーン」ハ枸橼酸ト「バラフェエチデン」トノ化合物ニシテロー
ゼ氏ノ專賣品ナリ

本品ハ白色ノ粉末ニシテ酸味ヲ帶ビ百八十一度ニ於テ溶解シ之ヲ服用
スレバ爽快ナル枸橼酸ノ味ヲ止ム約四十分ノ水ニ溶解シ酸類及ヒ鹽基
類ニ逢ヒテ分解ス

ベナリオ氏ハ本品○五乃至一瓦ヲ「ナーフス」患者ニ與ヘタリシニ二時
間ヲ經テ体温ノ二乃至三度下降スルヲ認メ又夕景之ヲ服セシメシニ當
夜安眠スルコトヲ得タリト云フ又偏頭痛及ビ神經痛ニ用ヒテ効顯アリ
一日量約六瓦若クハ六瓦以上ヲ用フルコトヲ得ヘシマイステル、ルチ
ウス及ビプリウニング色素會社ノ製造ニ係ル (P. C. XXXVI 409)
本品ハゲーヘー商社ノ報告ニ據レハ前條記載ノ如キ一分子ノ枸橼酸ト
三分子ノ「バラフェエチデン」トノ化合物ニ非スシテ却リテ「モノフェエチ

チン」枸橼酸ナルカ如シ

○チヲリン Thiolin

「チナリン」ハコッペ氏ノバテント製劑ニシテ其効ハ、糖基液ノ加里又ハ那篤倫鹽ニアリ○製法ハ亞麻仁油ヲ熱シテ硫黄ヲ通シ其生成物ヲ強硫酸ニテ處置シ此ニ化生シタル硫基酸ヲシテ加里又ハ那篤倫鹽ニ變セシムヘシ

●「チンナミールメタクレソール」Cinnamyl-m-Kresol

桂皮酸メタクレソールエステルニ同シ

●「チログランヂン」Thyroglandin

「チログランヂン」ハ刺羊ノ甲狀腺ヨリ得タル食鹽含有ノ製品ニシテスマンフォルト氏ニ據レハ腺中ノ總テノ有効成分ヲ含有スト云フ(Ph. C. XXXIX 621)

●「チローゲン」Thyrogen

「チローゲン」ハトクトルブルーム氏カ甲狀腺ノ飽和水浸液ヲ熱シ若クハ鹽ヲ加ヘテ凝固セ

シメタル沃度含有物ナリ (Ph. C. XXXIX 205)

●「チオコール」Tiocol

「チオコール」ハ「グアヤコール」硫基酸ノ加留鹽ニシテ水ニ易溶性ノ白色粉末ナリ稍苦甘味ヲ帶ヒ六十%ノ「グアヤコール」ヲ含有ス用量ハ一日十乃至十五瓦ナリ (Ph. C. XXXIX 52)

●「チナモーゲン」Dynamogen

「チナモーゲン」ハ藥劑師ザウエル氏カ血液ヨリ製出シタル藥品ニシテ鑿驗アリ、味モ亦極メテ佳ニテ永久貯藏シ得ヘク若幼皆喜ヒテ服用ス (Ph. C. XXXVIII 102)

○チヨド、レゾルチン、モノズルフォン酸加里
Dijod-Resorcin-
Mono-Sulfesäures Kalium

ダルトゥエンス及ヒドュゴアー兩氏ハ本品ノ製法ヲ詳細ニ Repert. de Pharm 1892, 343(P. C. XXXIII, 532)ニ論載セリ○本品ハ有力ナル防腐藥ニシテ其毒性モ亦甚タ強カラズトイフ

○ヂヨドホルム *Dijodoform C₂J₄*

「ヂヨドホルム」ハ「テトラヨドエチーレン」ト稱シマッケンヌ及ヒタイ
 ン兩氏ハ沃度叻代用品トシテ稱贊シタル者ナリ本品ハ沃度含有劑中沃
 度ヲ最モ多量ニ含有スル者ニシテ殊ニ其臭氣ナキカ爲メニ沃度叻ヨリ
 モ使用ニ適セリ○黄色針狀又ハ柱狀ノ結晶體ニシテ水ニ全ク溶解セス
 日光ニ觸ルレバ忽チ分解シテ特異ノ臭氣ヲ發生ス然レモ化學的試薬ニ
 對シテハ抗抵力甚タ強ク濃厚ノ硝酸ト共ニ煮沸スルモ分解ヲ受クル
 ナシ亞爾箇保兒性加里液ニハ熱時容易ニ分解ス○ボックイロン氏ニ由
 レバ「ヂヨドエチーレン」(C₂J₄)ヲ硫化炭素ニ溶解シ一定量ノ沃度ヲ加
 ヘ空氣ヲ避ケテ蒸發シ殘渣ヲ水ニテ洗ヒ熱「トルオール」ヨリ結晶セシ
 メテ製スト云フ (Zeitschr. d. österr. Apoth.-Ver. 1893, 810)

○ヂヨドチナフエーン *Thiophendijodid*

「ヂヨドチラフエーン」ハ沃度叻ト其效力ヲ同フスル一ツノ新防腐藥ニ
 シテツツケルカンドル氏ニ由レハ瘍腫、挫傷等ニ防腐繃帶品トシテ卓効
 アリトイフ但沃度叻ノ如キ毒性ノナキト皮膚ヲ刺戟セサルトハ本品ノ
 特色ナリ (P. C. XXXIV, 112)

○ヂチチカルボン酸加里 *Kalium-Dithiocarbonat*

トンマソリー及ヒヴィチニー兩氏ニ由レハ各種ノ皮膚病ニ効アリトイ
 フ硫化炭素ヲ熱シタル加里滷汁ニ作用セシメテ得ル所ノ結晶性橙黄色
 ノ粉末ナリ水ニ溶ケ易ク亞爾箇保兒ニ僅カニ溶ケ氣中ニ潮解スヘシ稀
 酸類ヲ加フレハ硫化水素、炭酸、亞硫化酸化炭素トヲ發生シ同時ニ硫黃
 ヲ析出ス○ウンナ氏ハ本品ノ効用ヲ本質ノ上ニ歸シタレモトンマソリ
 ー及ヒヴィチニー兩氏ハ其硫化水素ヲ發生スルニ歸シタリ○通常五「ブ
 ロセント」ノ軟膏トシテ用ユ (Monatsh. f. Pract. Dermat. 1892, 427—P.

C. XXXIII, 583)

○チナシナミン Thiosinamin

「チラシナミン」ハ「アルリール、ズルフオカルブアミード」ト云ヒ二分ノ「アルリール」芥子油ニ一分ノ純亞爾簡保兒ト七分ノ安母尼安水（比重〇、九六）ヲ加ヘ四十度ニ温メ一二時間水浴上ニ濃厚ナラシメテ製スル所ノモノニツハー、フォン、ヘブラ氏ハ亞爾簡保兒又ハ依的兒性溶液ヲ皮下ニ注射シ「ルプス」ニ偉効ヲ博シタリト云フ（Monatsh. f. Pract. Dermatol. 1892, 337—P. C. XXXIII, 615）

○チナナフチールオキシード Thionaphthyl oxyd

本品ハウエックスレー氏ノ「バテント」法ニ由テ製出シタル者ニシテ黄色ノ粉末ナリ水ニ溶解セス、熱亞爾簡保兒、氷醋酸、依的兒、ペンツォール、トルオール、コロ、ホルム等ニ溶ケ易シ治療上ノ効力ハ其中

ニ含有スル硫黄二期スベキヲ猶別項ノ「チラリン」ニ於ケルカ如シ○製法ハ「チラ、ベーター、ナフトール」ヲ那篤倫滷汁ニ溶解シ赤色血滷鹽ヲ以テ酸化シ沈降スル所ノ絮狀ノ物質ヲ集メ洗フテ五十乃至六十度ニ於テ乾カスベシ（P. C. XXXIII, 320）

○チラニン Thilamin

「チラニン」ハザイベルス氏ノ創製ニシテ硫化「ラノリン」ト稱スヘキモノナリ黄褐色軟膏様ノ稠度ニシテ硫黄様ノ臭氣アリニ「プロセント」ノ硫黄ヲ含有ス一千八百九十一年ニ「ライプチヒ」府ニ開キタル第三皮膚病學會ノ「コングレッツ」ニ於テザーフフェルド氏ノ演說シタル所ニ由レハ本品ハ刺戟ナキ良好ノ皮膚病藥ニシテ殊ニ諸種ノ「エクツエマ」ニ適スルトイフ（P. C. XXXII, 678, XXXIV, 85）

○チンクオイル Zinköl

「チンクオイル」即チ亞鉛油ハ酸化亞鉛ト阿列布油ヨリ成ルモノニシテ
テッサル氏ノ創製シドレーウス氏ノ始メテ皮膚ノ諸患殊ニ「エクツエマ」
ニ用キタル者ナリ其處方ハ酸化亞鉛三十分阿列布油五十分右混和餅泥
トナシ布片ニ塗布シ患部ニ貼スルナリドレーウス氏ハ消毒藥ヲ以テ處
置シタル創傷周圍ノ浸漬ニモ亦之ヲ應用セリ (P. C. XXXIV, 141)

○チウレット Thiret

「チウレット」ハ含硫新防腐藥ニシテ $C_8H_7NS_2$ ノ組成ヲ有シ「フェニール
ヂチヲビウレット」ノ酸化物ニシテ結晶性無臭ノ粉末ナリ水ニハ殆ント溶
解セサレモ依的兒、亞爾簡保兒ニハ僅カニ溶解ス本品ノ消毒力アル所
以ハ其容易ニ硫黃ヲ析出スルニアリ○本品ノ鹽類トシテ「ブゾエド、
フェニールズルフォン酸チウレット」ト稱スルハ黃色結晶無臭ノ粉末ニシ
テ乾濕兩道ノ防腐ニ適セリ (Prager Rundsch. f. Pharm. 1893, Nr 9)

○チンナモール Cinnamol

「チンナモール」ハ佛國醫カンピオニール氏ガ塗擦的防腐藥トシテ創傷手術ニ實用シタルモノ
ニシテ「レチノール」(華爾斯油)七十五分滅菌蠟二十五分「チンナモール」一分「スター、ナ
フトール」二分ヨリ成レリ (Rundschau 1893, 570)

○チヲサポール Thiosapol.

硫黄含有ノ石鹼類ヲ概シテ「チヲサポール」製劑ト稱ス主トシテ皮膚病ニ用ユ○本品ノ製劑
ニ「チヲサポールナトリム」「チヲサポールコロソス」石鹼等アリ (Pharm. Ztg, 1893, 663)

○ヂウレチン Diuretin

「ヂウレチン」ハ白色ノ粉末ニシテ、撒里失兒酸「ナトリウム、テヲプロ
ミン」ト稱スシユロエデル氏ニ由レハ單ニ利尿ノ効アリテ心臟ニ影響
セズ水腫、慣性實質性腎炎ニ適スグラーム氏其利尿ノ効ヲ確實ニシタ
ルヨリ以降一般ニ人ノ用ユルトコロトナリ一日量六―七瓦一回ノ量ハ

一、瓦香竄水ニ溶シ單舎ヲ加ヘテ與フ

○チチザリチール酸 Thiosalicysäure $C_6H_4 \begin{matrix} SH \\ \swarrow \\ COOH \end{matrix}$

「チラザリチール」酸ハツエー、グーレベ氏ノ新「バテント」法ニ由リ「オルト、デアツォ」安息酸ヲ水ニ溶シ硫化水素ヲ作用セシメテ得ル所ノ赤色ノ物質 $C_6H_4 \begin{matrix} N=N-SH \\ \swarrow \\ COOH \end{matrix}$ ヲ水中ニ煮沸スレバ窒素ヲ放散シテ「チラザリチール」酸トナル (Darstellung von Chiosalicysäure von C.

Graebe in Gent—P. C. XXXIV. 500) ○「チラザリチール」酸ハ通常ノ「ザリチール」酸ト同一ニ使用スルヲ得ヘシ

○チチチザリチール酸那篤母 Natrium Dithiosalicysäure

灰白色水ニ溶解シ易キ粉末ニシテ強劇ノ制腐藥ナリ「ミルツブランド」ノ芽胞ハ其二十倍溶液ニ於テ四十五分間ニ死滅スヘシ ○急性「レウマチス」ニ特效アリ服量ハ一回〇、二ニシテ朝夕二回ニ過クベカラス ○本

品ニハ一號ト二號ト二種アリ一ノ水ニ溶ケズシテ一ツハ水ニ能ク溶解スルモノトス第一號品 (Natr. dithiosalicysäure. I) ハ郡獸醫レンチル氏ニ由レハ牛疫ニ卓効アリト云フ (P. C. XXXII, 410)

○チアベチン Diabetin

「チアベチン」ハ密尿病患者ノ爲メニ製出シタル甘味質ニシテ古來菓糖(レヅローゼ)ト稱シタルモノ之ナリ、本品ハ能ク密尿病患者ノ同化スル處ノモノナリト云フ

○「チチール」 Thiolum

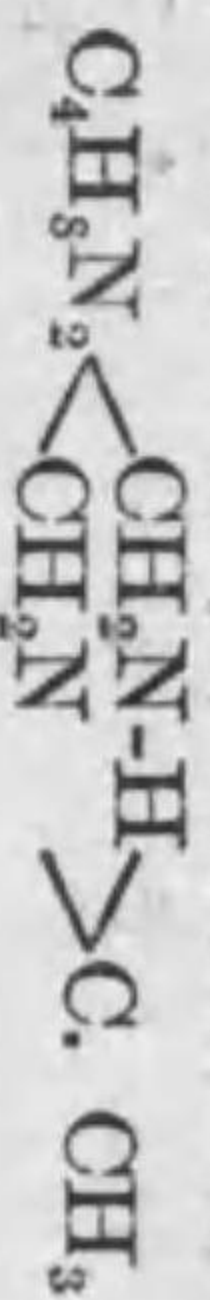
ドクトル、ヘルレル氏ハ本品ヲ百四十患者ニ使用シタリ今其成績ヲ聞クニ本藥ノ適應症ハ濕疹ニシテ氏ハ諸種ノ濕疹患者合計六十三人ニ之ヲ用キシニ曾テ他ノ療法ノ施治ヲ受ケテ治癒セサリシモノ或ハ又嘗テ氏ノ治療ヲ受ケテ再發セシモノニ奏効最モ顯著ナリシト云ヒ又皮膚消毒ノ爲ニ生セシ濕疹、靜脈瘤性濕疹及小兒ノ濕疹ニモ良効アルモノナ

リトミン (Allg. w. m. Zeitung. NO 35)

利部

○「リシヂン」 Lysidin

「リシヂン」ハ一名「メチールグリオキシアリヂン」ト稱シ「ラーヂンブルヒ氏ガ維納博物學會化學部ニ寄セタル報告ニヨレバ本品ハ



ノ化合物ヲ有シ「エチレンヂアミンクロールヒドラー」ニ醋酸那篤母ヲ加ヘテ熱灼シタル後「クロールヒドラー」ヲ分離シテ製シ得タル者トス此鹽基ノ最モ興味アル性質ハ其水溶液ノ尿酸ニ對シテ卓絶ノ溶解藥トナルコト是ナリ臨床上ノ實驗ニ徴スレバ尿酸ノ析出スル疾病ニハ無害ニシテ有効ハモノタルヤ疑ナシ唯引濕性强クノ特異不快ノ臭氣アルヲ一弊トナスベシト云フ (Pharm. Cent. f. Deut. d. October 1894)

●リエナーデン Lienaden

「リエナーデン」ハ脾臟越幾斯ニシテ在ル「ドワイヒスハーフェン」社ノ製造ニ係ル本品ハ麻拉里亞惡液症并ニ脾臟肥大ニ骨髓製劑ト併用スルチ可トス (Ph. C. XXXVII 239)

○リゾール Lysol

治療月報ハ防腐消毒藥トシテ左ノ合劑ヲ稱揚セリ「トリクレソール」五〇、〇加里石礮三五、〇蒸溜水一五、〇右混和二十立方仙米ヲ「リートル」ノ水ニ和シ外科的洗滌防腐藥トシテ應用ス若シ粘滑ニ過クルトキハ石礮ノ量ヲ適宜ニ減スルヲ得ヘシ (Therap. Monatsh. 1894, 46—Ph. C. XXXV, 165)

○リゾール Lysolum

「リゾール」ハ百八十度乃至二百十度ニ於テ餾出シタル重質兒油ニ脂肪、華爾斯、及ヒ「アルカリ」ヲ加ヘ數時間煮沸スルニ由テ得ルノ所ノ

褐色油状透明ノ液ナリ臭氣ハ「クレヲソート」ニ似タリ防腐消毒ノ効アリテ痰壺寢床等ヲ消毒スルニハ其五%液ヲ用ヒ、室内ニ散吹スルニハ其三%液ヲ用ヒ手指ヲ消毒スルニハ其一二乃至三%液ヲ用ユ外科手術ニハ〇、二%ニテ足レリトス

● 磷酸「クレオソートエステル」Kresosolphosphorsäureester.

「フオソート」ニ同シ

○ リナマリリン Linamarin

「リナマリリン」ハ「リノスム、ウシタチツシムーム」ト稱スル母植ノ胚胎ヨリヨリッセン及ヒハイリス兩氏ノ創製シタル新糖原質ニシテ稀鐵酸ニ和シテ煮沸スレハ青酸ヲ發生スルモノトス無色放線狀束集セル針狀結晶ニシテ強苦味ヲ有シ水ニ溶ケ易ク溶點ハ百二十四度ナリ強硫酸ニ染色スルコトナク其分解スルヤ「ベンツアルデヒード」ヲ生スルコトナキガ

如シ「リナマリリン」ノ原素分析結果ハ C=47, 88pCt. H=6,68pct. N=5, 55pCt., O=39, 89 pCt., (Pharm. Post 1891, Nr34) ナリ〇本品ハ未ダ藥用ニ供セラレタルヲ聞カサレモ青酸ヲ發生スルトイフニ由リ此ニ録ス

● 「リシトール」 Lysitol

「リシトール」ハ「リゾール」類似ノ製品ニシテ細菌及ヒ芽胞ヲ撲滅スルノ作用ヲ有ス本品ハ其効力「リゾール」ニ等シクシテ而シテ價ハ約二乃至三割廉ナリト云フ (Ph. C. XXXIX 145) 在ブラーゲリヨスレル氏ノ販賣ニ係ル

● 「リナルギン」 Rhinatgin

「リナルギン」ハトマルラ氏ノ製品ニシテ柯々阿脂「アルムノール」薄荷腦及ヒ纈艸油ヨリ成ル鼻感冒ニ際シ之ヲ鼻孔中ニ挿入シテ驗アリ (Ph. C. XXXVI 436) 又一説ニハ此「リナルギン」ハ柯々阿脂一〇「アルムノール」〇〇一薄荷腦〇〇二五及ヒ纈艸油〇〇二五瓦ヨリナリテ感冒、沃度感冒、「インフルエンザ」ノ初期等ニ用ヒテ奏効アリトイフ (Ph. C. XXV

III)

○硫化加里母 *Kalium sulfuratum*

フオン、ポルテンステルン氏ハ教授シユルツ氏ノ賞賛ニ基キ痔疾ニ硫化加里母ヲ内服セシメタリト云フ即チ硫化加里ノ一、〇ヲ水一〇〇、〇ニ溶解シ此ノ液ノ一茶匙ヲ一碗ノ水ニ加ヘテ時々服用スルニアリ〇硫化加里ハ胃ノ鹽酸ニ逢フテ分解シ一方ニハ硫化水素ヲ發シ一方ニハ硫黄ヲ沈降スルカ故ニ此ノ如キ合劑ヲ使用スルヨリモ寧ロ沈降製硫黄ヲ用ユルヲ良シトスヘキ歟(Therap. Monatsh. 1894, 91—Ph.C. XXXV, 296)

●硫藏酸「ヒノリン」 *Chinolinum rhoea. natum*

硫藏酸「ヒノリン」ハアルベルト、エザンゲル氏ノ製造ニ係リ虎列刺及ヒ「ゲフテリー」等ノ消毒藥トナシ又之ヲ淋疾患者ノ尿道ニ注射スニル毒ヲ疼痛ヲ覺フルコトクシテ強消毒ノ効チ

奏ス冷水百分ニ溶解ス (Ph. C. XXXVI 29, 358)

●硫藏酸蒼鉛「ヒノリン」 *Chinolin - Wismuthodanot*

($C_6H_7N_2HSN$)₂Bi(SCN)₂

硫藏酸蒼鉛「ヒノリン」ハプロフェッソルエチンゲル氏ノ製造ニ成レル赤黄色ノ粗末ニシテ稍々鋭キ臭氣ヲ有シ七十六度ニ於テ熔融シ水、亞爾個保爾及ヒ依的兒ニ溶解セスドクトルフオルヒハイメル氏ハ之ヲ靜脈腫瘍及ヒ梅毒性ノ腫物ニ用ヒテ比較的好果ヲ得タリ而シテ繃帶ノ交換ハ四乃至六日毎ニ行フヲ以テ最モ佳ナリトス脚湯若クハ全身浴后ニ於テスレハ繃帶ヲ容易ニ除去スルコトヲ得ヘシ (Therapeutische Monatsh. 1898, 445)

○硫酸礬土 *Aluminium sulfuricum*

硫酸礬土ハ收斂性防腐藥トシテ用ユル者ナリ其製法ハ明礬ノ水溶液ニ亞爾加里ヲ加ヘテ含

水礬土ヲ沈降セシメ、採集シテ能ク洗滌シ、之レヲ稀硫酸中ニ溶解シ遊離硫酸ヲ見サルニ至ルベシ此ノ如キ水溶解ハ直チニ眼科手術等ニ應用スルヲ得ベシ

●硫酸亞爾密紐謨古加乙涅 Cocain-Aluminiumsulfas

硫酸亞爾密紐謨古加乙涅ハ硫酸古加乙涅ト硫酸亞爾密紐謨ノ溶液ヲ混和シテ蒸發シ之ヲ冷却スルモ尙未タ直ニ結晶ヲ析出セサル稠度トナシ冷液ニ加里明礬ノ小結晶片ヲ投シテ結晶セシメタルモノナリ本品ハ容易ニ結晶スヘキ性質ヲ有スルカ故ニ古加乙涅ヲ其副亞爾嘉魯乙度ヨリ分離スルニ便ナルベシ (Pharm. Zeitschr. für Russe 1895, 577)

○硫酸ロベリン Lofelinum sulfuricum

「ロベリン」ノ硫酸鹽ニシテ帶黃白色ノ粉末ナリ痙咳及喘息性諸症ニ皮下注射トシテ用ユ用量〇・一〇〇III

○硫酸彩^{バスタ}粥 Schwefelsäure—Paste

硫酸彩粥ハ強硫酸ト泊美蘭トノ等分ヲ取リテ混和シタルモノニシテ腐蝕藥トシテ用フ特ニ泊美蘭ヲ以テスルハ蓋シ微細ノ炭末ヲ生スルニ由ルナラン (Ph.C. XXXV 575)

○硫酸コ^マフェイン Coffeinsulfosäure

硫酸「コ^マフェイン」ハ新利尿藥ニシテハインツ、リーブレヒト兩氏ノ創製ニ係レリ通常藥用ニ供スルモノハ硫酸「コ^マフェインナトリウム」ナリ本品ハ單純ニ利尿作用ノミヲ有シテ他ニ血壓ヲ増進スルコトモナク又血管中樞ニ影響ヲ及ボスコトモナク實ニ至純ノ利尿藥ト稱揚スヘキモノトス諸種ノ水腫中、心臟又ハ腎臟ノ疾患ニ屬スルモノニ用ヒ其他心臟ノ脂肪變質、痛風、尿酸「チアテ^イゼ」、砂淋等ニ廣ク稱用ス○硫酸「コ^マフェインナトリウム」ノ用量ハ一日四乃至六瓦タルベシ時トシテハ尙多量ヲ用ユルコトアリ○硫酸「コ^マフェインリチウム」硫酸「コ^マフェインストロンチウム」鹽ハ強苦味アリテ水ニ溶ケ易シ一回量一瓦ニシ

テ膠囊ニ容レ與フルヲ善シトス (Berl. klin. Wochenschr. 1893, 1059—
P. C. XXXIV 647, 641)

○硫酸タルリン *Thallum sulfuricum* (「タルリン」ヲ見ヨ)

○硫基石炭酸亞鉛 *Zincum sulfoarbohicum*

無色ノ結晶ニシテ水酒精ニ溶ケ易シ石炭酸ノ如ク腐蝕ノ作用ナクシテ
其効ハ石炭酸ノ如ク確實ナルカ故ニ屢々防腐藥トシテ應用ス、ウオー
ド氏ハ半乃至一「プロセント」水溶液ヲ尿道又ハ腔ニ注射シ淋疾、白帶
下ニ賞用セリトイフ

○硫酸アニリン *Anilinum sulfuricum*

無色又ハ微黃色ノ鹽ニシテ虎列刺又ハ癩癩ニ用ユ一回ノ量〇、〇五—〇、一ナリ

○硫酸漿 *Mucilago sulfuricum*

マルト氏ハ之ヲ腐蝕藥トシテ用ヰタリ治療彙報第十九號ニヨレハ濃厚ノ硫酸ニ「サフラン」

粉ノ等量ヲ混シテ製スルト云フ即チ柔軟ニシテ疎鬆ナル皮膚面ニ固着スベキ性質アル處ノ漿
ヲ得ルト云フ (Phar. Cent. f. Deuts. 1894) (硫酸バスター見ヨ)

○リチエトール *Lycetol*

本藥ハ顆粒狀ノ粉末ニシテ酸味アリ其熔點ハ二百四十三度ニシテ水ニ解ケ易ク少シク引
濕性ヲ有ス利尿藥トシテ用ヰラルト云フ (Ph. Zig.)

○リソルム、ボヘミタム *Lysolum bohemicum*

本品ハ「ボヨーマン」ノア、ブラリツク製造所ニ於テ製出スル防腐劑ニシテ暗褐色ノ溶液ヲナ
シ不快ノ臭氣ナク水及蒸留水ニ混和スルト云フ (Phar. Z. 1895 NO 29)

○リンチン *Lintin*

「リンチン」ハ脱脂綿ヲ以テ組織シタル白色多毛ノ木綿布ナリ柔軟ニシ
テ身体ノ諸部適宜ニ蓋フコトヲ得ルコト從來ノ林篤ニ似タリ或ハ直チニ使
用シ或ハ藥物例ヘバ硼酸、昇汞、沃度防ノ類ヲ包含セシメテ防腐消毒外

科材料トシテ用ユベシ脱脂シタル綿花ニ代ヘテ用ヒ得ルノミナラズ却テ漿液ノ吸収強盛ナルト應用ノ便利ナルトノ益アリトス本品ハシムウ
エール氏ノ創製ナリ (Hh. C. XXXV, 217)

●「リノスクレリン」 Rhinosklerin

「リノスクレリン」ハパウロースキー氏カ鼻梁變硬症ヲ誘起セシムルフリツチエー氏細菌ニ水及ヒ亞爾菌保爾ヲ含メル偲里設林ヲ加ヘテ浸出シ、モノニシテ鼻梁變硬症ニ用ヒテ成果アリ (Deutsch. med. Ztg. 1894, 612)

●「リマノール」 Iimanol

「リマノール」ハ半面痛、神經痛、癩麻質斯、痛風及ヒ其他ノ關節諸症ニ塗擦劑トシテ賞用スル所ノモノニシテ主要成分ハ噶囉仿謨、安母尼亞、的列並底油、石鹼精及ヒ沼泥越幾斯等ナリ而シテ沼泥越幾斯ハ魯國リマン沼泥ヲ煮沸シ厭搾シタル特許品ナリ

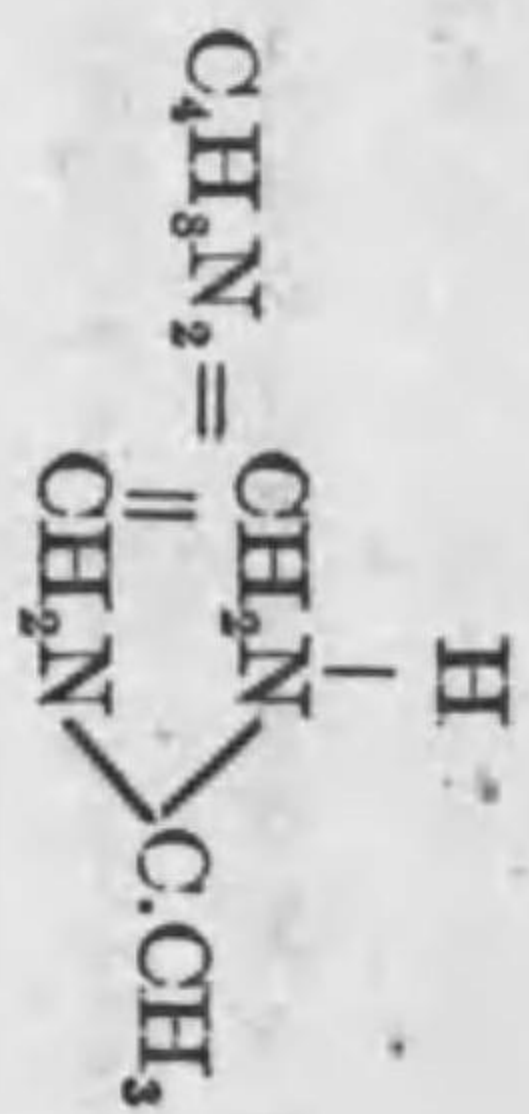
本品ハ在伯林藥劑師ドクトルハルレ氏ノ發賣品タリ (Ph. C. XXXV III 546)

●「リグノスルフイーン」 Lignosulfin

「リグノスルフイーン」ハ在ザルツブルヒ宮内省藥劑師ドクトルセドリツキー氏カ亞硫酸瓦斯ヲ含メル蒸氣ノ呼吸器病ニ好績アルヲ見テ製造發賣シタルモノニシテ居室ノ消毒及ヒ吸入ノ目的ニ適ス本品ハ木材ノ揮發油ヲ以テ飽和セラレタル水浸液ニシテ游離亞硫酸及ヒ亞硫酸鹽ヲ含有ス (Ph. C. XXXV 429)

●「リシヂン」 Lysidin

「リシヂン」ハ鹽酸「エチレーンヂアミン」ヲ醋酸曹達ト共ニ熱シテ得タル鹽酸「メチールグリオキサリヂン」ヨリ游離セシメタル鹽基ニシテ其記號ハ左ノ如シ



此水溶液ハ尿酸ノ抜群ナル溶解藥ナリ而シテ之ヲ臨床的實檢ニ徴スルニ無毒ナルヲ以テ尿酸拆出ニ因ル患者ニハ頗ル必要ナル藥劑タリ (Tabl. Blatt der Nasurf.-Vers, 1894, 405)

本品ハ頗ル引濕性ヲ有スル結晶様ノ化合物ニシテ鮮赤色ヲ帶ヒ一種ノ特臭ヲ有シ容易ニ水ニ溶解ス毎日一乃至五瓦ヲ五百立方「センチメートル」ノ炭酸水ニ溶解シテ用フヘシ、一%ノ溶液ハ不快ノ味ナシ之ヲ氷冷シテ用フレハ更ニ可ナリトス

通常五十%ノ水液トナシテ販賣ス (Deutsche med. Woehenschr. 1894, 786)

●「リセトール」 Lycopol

「リセトール」ハ「ヂメチールビベラチン」ノ酒石酸鹽ニシテドクトル、ウイツァック氏ノ研究ニ基ツキバイエル色素製造所ニ於テ製造シタルモノナリ本品ハ鹽基ニ計算量ノ酒石酸ヲ加フレハ容易ニ化生スルモノニ濃厚水溶液中ヨリ結晶セシムルキハ光澤アル美シキ巨大ノ稜柱狀結晶若クハ板狀ヲナシテ析出シ三分子ノ結晶水ヲ有ス「リセトール」ハ即チ其無水物ニシテ二百四十三度ニ於テ熔融ス容易ニ水ニ溶解シ潮解性少ナリ且ツ稍々酸味ヲ帶フ本品ハ生體中ニ於テ分解シテ「ヂメチールビベラチン」ト酒石酸トヲ生シ「ヂメチールビベラチン」ハ體中ノ尿酸ト化合シテ極メテ溶解シ易キ鹽ヲ生シ酒石酸ハ體中ニ於テ燃燒シテ炭酸ト成リ血液ハ亞爾加里性ノ度ヲ増ス加之本品ハ比較的利尿ノ効力強キカ故ニ更ニ利アリトス

ウィツブク氏ハ之ヲ痛風患者ニ散藥若クハ水藥トシテ賞用セリ而シテ利尿ノ副作用アルカ故ニ「ビベラチン」ヨリモ遙ニ有効ナリトス (Pharm. Ztg 1894, 116)

本品ハ皮下注射ニハ適當セス又其用量ニ就キテハ未タ精細ノ報告ナシト雖モ蓋シ「ビベラチン」ト同量ヲ用ヒテ不可ナカルヘシ (Therap. monatsh. 1894, 125)

奴部

○ヌクレイン Nuclein

「ヌクレイン」ハ犢牛ノ脾臟ヨリ一種秘密ノ法ニ由テ製シタル黄白色ノ粉末ナリ冷水、亞爾箇保兒、依的兒ニハ溶解セサレモ稀薄ノ亞爾加里ニハ溶解スヘシ教授ホルバクツエウスキー氏ノ説 (Pharm. Post) ニ由レハ「ヌクレイン」ハ白血球ヲ增多セシムルノ効力アリト云ヒゲルマインヤー氏 (Südd. Apoth. — ztg. 1903, 267) ニ由レハ「ヌクレイン」ノ効ハ

「トニベルクリン」ニ類シ、若シ之レヲ服スルハ身體ノ機關又ハ組織ノ病患アル部分ヲシテ忽チ煥衝ヲ呈セシムルカ故ニ能ク潜伏セル病勢ヲ未現ニ發覺スルヲ得ベシト云フ殊ニ「トニベルクリン」ノ如ク危険アル「ナシ」内服ニハニ乃至三瓦ヲ投シ或ハ皮下ニ注射スベシ (P.C.XXXIII. 732, XXXIV. 355)

●ヌクレイン液 Nucleinlösung

「ヌクレイン」液ハ二、五瓦ノ純「ヌクレイン」ヲ取り五%ノ那篤倫液ヲ徐々ニ滴加シツ、研和シテ溶解シ二、五瓦ノ石炭酸ヲ添加シ水ヲ以テ稀釋シテ五百瓦トナシ濾過シタルモノニシテ一立方「センチメートル」中ニ〇、〇〇五瓦ノ「ヌクレイン」ヲ含有ス、ムレック氏ハ狼瘡ニ皮下注射ヲ行ヒテ好果ヲ得タリ (Ph.C.XXXV. 465)

●「ヌクレオアルブミナーツム」 Nucleoalbuminatum
乾酪鐵ニ同シ

○「ヌロール」 Nutrol

「ヌトロール」ハクレイウエ商店發賣ノ全消化澱粉ニシテ尙之ニ少量ノ鹽酸ト肉消化力ヲ有スル「フェルメント」トチ加ヘタル理想的ノ滋養品タリ (Ph. C. XXXVI 511)

○ヌトリン Nutrin

「ヨット、エー、メトロシヤイン」商社ヨリ製出シタル一種ノ滋養劑ニシテ帶褐黄色ノ粒末ナリ原料タル所ノ肉ノ臭味アリ本品ノ一分ハ牛肉四分ノ滋養力ヲ有セリ分析ノ結果ハ蛋白八三、五脂肪六、一肉性滋養鹽類四、九水 五、五「プロセント」ナリ○販賣品ニハ「ヌトリンカカラ」、肉茶、ビーフケーキ等アレモ本品ハ藥物トシテ藥局ヨリ處方ニ由テ授與スヘキモノトス (Ph. C. XXXV. 181)

留部

○ルプリン Luperin

「ルプリン」ハ佛蘭西人ルメルト云ヒル人、酒客ノ爲メニ製出シタル一種ノ秘藥ニ屬ス或雜誌 (Repert. de pharmac) ノ報スル所ニ由レハ龍膽、コロンボ、及ビ括失亞末等ヨリ成ルト云フ

●ルプロール Rubrol

「ルプロール」ハシュミット氏カ硼酸知母爾及ヒ石炭參兒誘導體ノ溶液ニ命シタル名ニシテ痲疾ニ之ヲ注射用トナス (Ph. C. XXXVI 410)

遠部

●「オイガルロール」 Eucallol

「オイガルロール」ハ焦性沒食子酸ノ一醋酸鹽ニシテ舍利別稠、透明、褐黄色、水ニ溶解シ易キ物質ナリドクトルクローマイエルニ據レハ焦性沒食子酸ノ代用品トシテ之ヲ鱗癬ニ用ヒテ効アリ然レモ使用者ハ經驗アル専門家ナラサル可カラズ、等分ノ「アセトン」ニ溶解シテ之ヲ塗布

スレハ「アセトン」ハ揮散シテ強靱ナル假漆様ノ薄皮ヲ留ム、三十三%ノ「アセトン」溶液トナシテ發賣スルモノアルヲ見ル (Ph. C. XXXIX 507)

● オイノール Eunoil

「オイノール」ニ二種アリ一ヲ「アルファオイノール」ト稱シ一ヲ「ベタオイノール」ト名ツク「アルファナフトール」及ヒ「ベタナフトール」ニ「オイカリブトール」ヲ作用セシメテ製シタルモノニシテ強苦味ヲ有シ水ニハ溶解セサレトモ亞爾個保爾、依的兒、嘔囉仿謨、偏蘇爾及ヒ阿列布油ニハ容易ニ溶解スニ品共ニ皮膚病及ヒ創傷治療上ニ應用セラル
シシ (Ph. C. XXXIX 509)

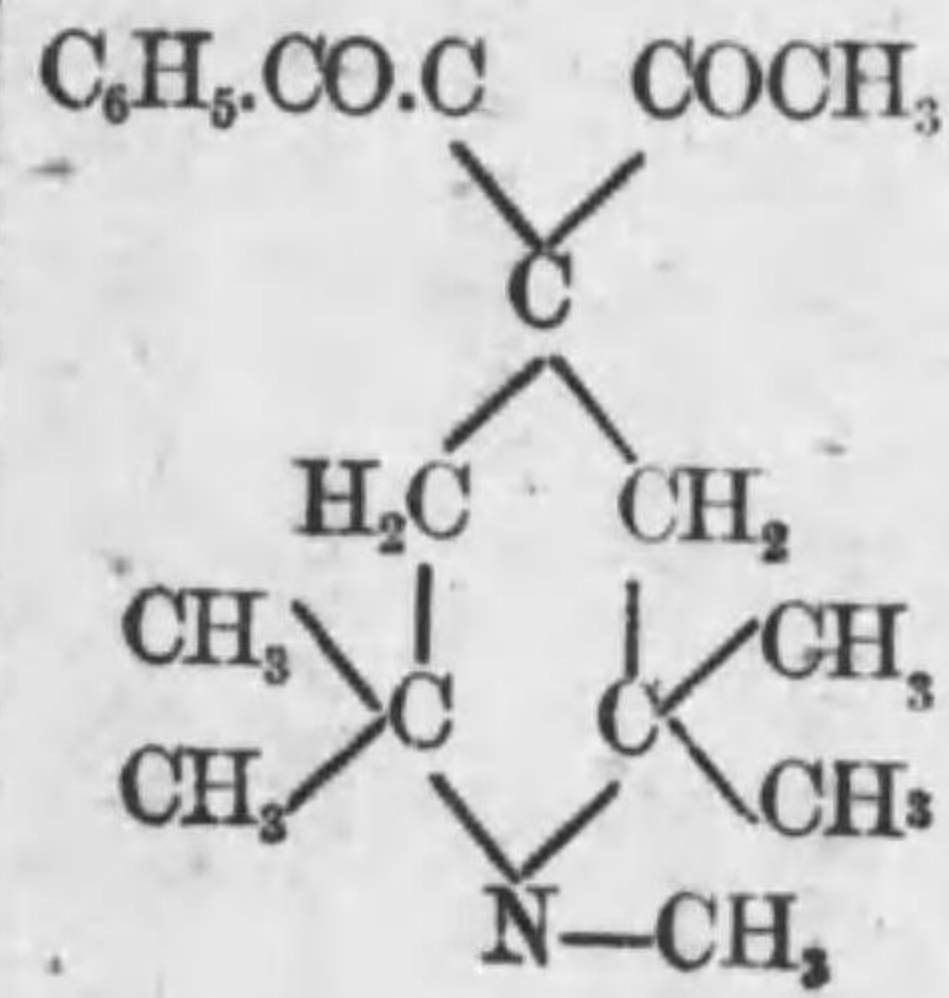
● 「オイレソール」 Euresol

「オイレソール」ハ「レゾルチン」ノ一醋酸鹽ニシテ佳快ノ香氣ヲ有シ蜂蜜黄色透明濃稠液ナリ「アセトン」溶液トナシ頭部ニ毛髮ヲ剃去スルコトナ

ク (bei Talgflüss) 或ハ鬚髻上 (bei Barthflechte) 直ニ之ヲニ塗布スルコトヲ得シ (Ph. C. XXXIX 508)

● オイカイン Eucainum

「オイカイン」ハシエーリング社專賣品ニシテ古加乙涅ノ代用藥トシテ賞用セラル、局處麻醉藥ナリ本品ハ化學上「ベンツォイル、メチール、テトラ、メチール、ガンマ、オキシビペリヂン、カルボン酸メチールエステ



本鹽基ハ乙加涅鹽基ノ如ク水ニハ殆ント溶解セサルカ故ニ治療上ニ應用スルコト能ハサルモ古加乙涅ノ如ク其鹽酸鹽ハ容易ニ水ニ溶解ス
(Ph. C. XXXVII289)

● オイカシン Mucasin

「オイカシン」ハ「カゼイン」ニ安母尼亞瓦斯ヲ通シテ製シタル「カゼイン」ノ酸性安母紐誤鹽ニシテ「カゼイン」ノ分子量大ナルカ故ニ鹽ノ生成ニ必要ナル安母尼亞ノ量ハ極メテ少ナクサルコースキー氏ノ施行シタリシ試験ニ徴スレハ本品中ニ含有スル安母尼亞ノ量ハ敢テ有害ノ作用ナシトス

本品ハ白色粉末ニシテ香氣爽快乳脂ニ類シ温湯ニハ澄明ニ溶解シ其味乳ニ似テ而シテ淡泊ナリ肉汁若クハ蒸麥「ソツプ」大麥「ソツプ」等ノ如キモノ又ハ柯々阿或ハ「チヨコラーデ」ニ混シテ用フヘシ之ノ麥酒葡萄酒

酒ニ和スルハ宜シカラス是レ「カゼイン」ノ一部沈降スヘキヲ以テナリラクウエル氏ノ説ニ據レハ本品カ人体ニ利用セラル、程度ハ蛋白質吸収ノ常數ニ同シク且ツ又尿酸ノ分泌ヲ減スルコト甚シキカ故ニ之ヲ痛風結石等ノ患者ニ用ヒテ効アルヘシ (Ph. C. XXXVII 747) 本品ハ伯林近在グリウナウノマイエルト及ヒエーベルス商所ノ製造ニ係ル

● オイリトロール Eurythrol

「オイリトロール」ハ在グリウナウランツホッフ及ビマイエル氏製造所ニ於テ牛脾ヨリ製出シタル水製越幾斯ニシテ多量ノ食鹽ト植物性粘液トヲ添加シタルモノナリ

本品ハ貯藏ニ堪ヘ無害ニシテ快ク服スルコトヲ得ヘシ即リービツヒ氏肉越幾斯ノ如ク「スープ」「ソース」又ハ肉汁等ニ和シテ用フルコトヲ得一日用量一乃至二茶匙トス

本品ハ之ヲ脾ノ出血ニ用ヒ又貧血症等ニ用ヒテ良効アリト云フ (Ph. C. XXXVII 397)

●「オルフォール」 Orphol

「ペダナフトール」蒼鉛ノ登録名ナリ

○ラツアリン Ozalin

「ラツアリン」ハ一種ノ消毒薬トシテ用井ラレタルモノナレド、ウエルレル、オツヘルマン諸氏ノ分析ニ由レハ全ク無効ノモノナリト云フ其成分ノ如キハ載セテ藥學中央誌第三十二號二百十五頁ニ見ユ

又其後得タル報告ニ依レハ此無効ト見ナサレタル「オツアリン」ハ硫酸亞酸化鐵、苦土及ヒ生石灰ノ混和物ニシテ消毒ノ作用ナ有ストイフ (Ph. C. XXXVI 163)

●「オルトトリピリン」

Ortho-Tolypyrin

「オルトトリピリン」ハ在伯林リーデ商店ノ新ニ發賣シタル「オルトトリールサメールピラツオロン」ニシテ其作用ハ「トリピリン」ニ同シ (Ph. C. XXXVI 120)

●オマール Onal

「オマール」ハハイテン社ニテ「トリクロールフェノール」ニ附シタル名稱ニシテ氣管ノ嫩衝ニ應用セラレモノナリ (Ph. C. XXXVII 58)

●埃國「イヒチオール」 Ichthyolum austriacum

埃國製「イヒチオール」ハ獨逸ハンプルヒ製品ト化學上殆ト同一物ナレド只其臭氣ノミハ途ニ緩和ニシテ價亦廉ナリヘル商社販賣ニ係ル (P. h. C. XXXIX 352)

●オエナン・トキシシン

オエナン・トキシシンハポール氏カ「オエナンテ、クロカータ」(水斬ノ一種)ヨリ得タル樹脂狀ノ物質 $C_{17}H_{23}O_5$ ニシテ「ピクروتキシシン」ニ類似シ甚ダ毒性ナ有シ劇シキ痲痺ヲ起スモノナリ (Ph. C. XXXVI 62)

○阿巽油 Ozonöl

阿巽油ハ諸種ノ油類ニ阿巽含有ノ酸素瓦斯ヲ通シテ製シタル者ナリ在伯林「グラーフ」商會ノ創製ニ係ル、○阿巽ヲ多量ニ含有スルカ故ニ防腐ノ効アリ從テ創傷手術ニ使用ス、又時トシテハ内服スルコトアルニシ (P. C. XXXII. 324)

●オイドキシニン Eudoxin

「オイドキシニン」ハ在アーヒエンレニア製造所ノ製品ニシテ「ノソフエーン」(「テトラヨードフェノールフタレイン」)ノ蒼鉛鹽ナリ腸胃症ニ應用ス一日ノ用量ハ〇・二乃至〇・五ナリ (Ph. C. XXXVI. 410, 473)

○オエカリプテオール Eucalyptol $C_{15}H_{26}O$

アントイオ氏ハ「オエカリプテアース」油ヨリ一種白色眞球様光輝アルモノヲ製出シ名ケテ「オエカリプテオール」ト云フ水、「グリセリン」ニ溶解セス酒精、依的兒、揮發、脂肪油ニ溶ケ易ク五十度ニ於テ溶解シ百

十五度ニ於テ分解スラファアグ、ルーリー両氏ハ内科的ノ良好ナル防腐藥ナリト稱シ殊ニ呼吸器ノ粘膜上ニ顯シク効能アルベシト言ヘリ或ハ散劑トシテ、或ハ卵黃乳劑トシテ〇・二五ヲ與フ〇ヴアイリー氏 由レハ本品ハ「オエカリプテアース」油ヨリ製シタル「テルピン、ヂコロールヒドレート」ニ異ナル所ナシトス (Ph. C. XXXV, 95)

○オエリピン Eurybin

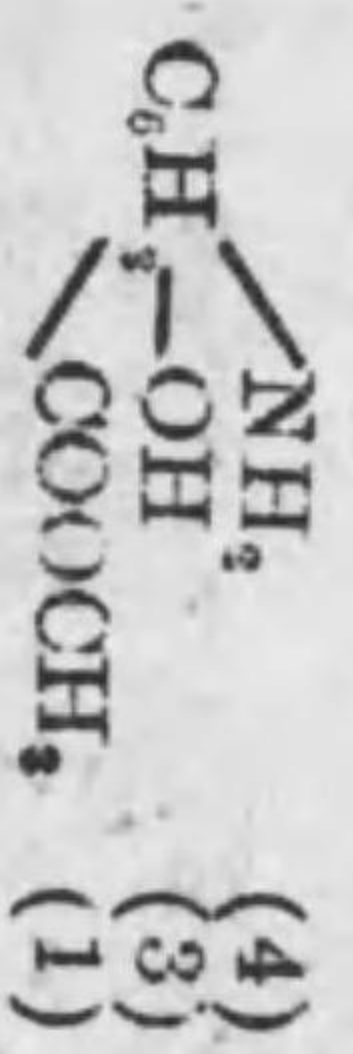
「オエリピア、モツシャーター」ノ糖原質ナリ無形微黄色苦味ノ粉末ナリ水、酒精ニ溶解スベシ
コーマルト氏ノ試験ニ由レバ少量ヲ皮下ニ注射シ大量ヲ頓服スルモ殆ンド毒性ナシトス (Ph. C. XXXV, 95)

●オルヒヂン Orchidin

ア、ウエー、ボエール氏ハ「テスチケル」即チ「ブラウンセカルヂン」(有機液ノ條項參看) ヨリ蛋白質ヲ含有セザル、純粹ノ「ロエコマイン」ヲ

製出シ「オルヒチン」ノ名ヲ與ヘタリ其法ハ「テスチケル」ヲ鹽酸性ノ水
 ヲ以テ浸出シ浸液ノ蛋白質ハシユミット、ミュールハイム及ビアルマンド
 ウルチイル合成法ニ由リテ除却シ殘ル所ノ「ロイコマイン」ハ燐「ウォル
 フラム」鹽酸トシテ沈降セシメ此ノ沈澱ヲ「バリート」ニテ分解シタル
 后格魯兒那篤留母ト共ニ重鹽ヲ構成セシメ更ニ水ニ溶シテ滅菌スルモ
 ノトス (Ph. C. XXXV, 288)

●「オルトフォルム」 Orthoform



「オルトフォルム」ハ化學上「バラアミドメタオキシ安息香酸メチール
 エステル」ト稱スベキモノニシテプロフェツソルドクトルアインホル

ン及ヒドクトル、ハインツノ二氏カ多年ノ推覈研究ニ由リテ集造シタル
 局處麻醉ノ新藥タリ

本品ハ白色ノ結晶粉末ニシテ臭味ナク水ニハ只僅ニ且ツ徐々ニ溶解ス
 ルノミ之ヲ數回ノ動物試験ニ徴シ又屢々人体ニ用ヒテ何等ノ惡作用ア
 ルヲ認メス奏効確實ニシテ且ツ持久ス或ハ植皮術ニ用ヒテ好果ヲ收メ
 或ハ喉頭潰瘍ニ用ヒテ偉効ヲ奏シタル等殆ント枚擧ニ瞭アラス而シテ
 又強キ防腐ノ効力ヲ有スルカ故ニ創傷藥トシテ最可ナリトス

鹽酸「オルトフォルム」ハ結晶シ易キ化合物ニシテ水ニ溶解シ易ク内服
 スルニ宜シ胃潰瘍及ヒ胃癌等ニ特效アリ其水溶液ハ酸性反應ヲ徴スル
 カ故ニ皮下ノ注射ニ適當セス

「オルトフォルム」及ヒ其鹽酸鹽ハ一回〇、五乃至一、〇毎日數回之ヲ内
 用スルコトヲ得ヘク又外用トシテハ最モ大ナル創傷面或ハ潰瘍面ト雖

モ隨意ニ多量ヲ塗附シテ可ナリ蓋シ本品ハ絶体的無害品タルヲ以テナ

リ
本品ハマイステル、ルチウス及ヒプリウニング色素製造所ニ於テ發賣
ス (Ph. C. XXXVIII 604)

● オイロビン Eurobin

「オイロビン」ハ苦利沙羅並ノ三醋酸鹽ニシテドクトルクローマイエル
氏ニ據レハ苦利沙羅並ノ優等ナル代用品ニシテ効力強大ナルノミナラ
ス毫モ毒性ナシ而シテ皮膚ノ焮衝ヲ誘發セス布片ヲ汚染スルコトナシ
(münch. med. Wochensh. 1898, 795)

● オイフタルミン Euphtalmin

「オイフタルミン」ハ扁桃酸ノ誘導体ニシテ其二%溶液ノ二三滴ヲ眼中
ニ點スレハ二十分時乃至卅分ニ腫孔散大シ二時乃至三時間ヲ經レバ

効力全ク消失シテ複古ス疼痛若クハ不快ナル副作用ヲ呈スルゴトナ
シ

ドクトルフォツシウス氏ハ眼ノ診療上ニ最モ有効ナリトシテ之ヲ賞用
セリ在伯林シエーリング發賣ニ係ル (Ph. C. XXXVIII 923)

● 「オイロビン」假漆 Eurobinfrmiss

「オイロビン」假漆ハ「オイガルロール」十乃至五十分「オイロビン」一乃
至二十分ニ「アセトン」若クハ「アセトン」若クハ「アセトン」若クハ「アセトン」
「サリガルロール」五乃至十分「オイロビン」一乃至二十分ニ「アセトン」
若クハ「アセトン」若クハ「アセトン」若クハ「アセトン」若クハ「アセトン」
氏ノ常用スル所ノモノニシテ本品ハ硬キニ失セサル鱗癬斑等ニ用フレ
ハ一回ノ塗布ニ由リテ屢々之ヲ全治スルコトヲ得ヘシ (Ph. C. XXX
IX 508)

○オエロフェーン Enrophen.

「オエロフェーン」ハ化學名ヲ「イソブチール、ヲルト、クレソール、ヨ
ヂット」ト云ヒ距今八年前始メテ製出セラレタル沃度防新代用品ナリ殊
ニ惡臭ナクシテ其効沃度防ニ同シキヲ以テ使用上最モ便宜ナリトスエ
フ、ゴルドマン氏ノ報告ニ由レハフィンクレル氏バチルス、虎列刺菌、脾
脱疽バチルス、等諸種ノ細菌ノ發生ヲ抑止スルノ力盛ナリト云フジイ
ベル氏ニ由レハ火傷ニ散布シテ効アリト云ヒアイヒホッフ氏ニ由レハ
軟性潰瘍ニ効アリト云ヒ又微毒ニ皮下注射トシテ顯著ノ効アリト云ヘ
リ○黃色無形ノ粉末ニシテ二十七、六「プロセント」ノ沃度ヲ含有ス一
種ノ芳香性臭氣ヲ有シテ水、「グリセリン」ニハ溶解セサレトモ、亞爾簡
保兒、依的兒、嘔囉防、格魯胃等ニ溶解ス常温ニ於テ四分ノ阿列布油ハ
一分ノ「オエロフェーン」ヲ溶解ス「オエロフェーン」ノ阿列布油溶液ハ諸

種ノ疾病ニ皮下注射トスルニ適セリ (P. C. XXXII, 4322, XXXIII,
157, XXXIV, 29)

○オエクロリン Euchlorin

エルリス氏ハ一乃至二瓦ノ格魯酸兒加里ヲ二百四十瓦ノ水ニ溶シ之レ
ニ十滴ノ鹽酸ヲ加ヘタルモノニ「オエクロリン」ノ名ヲ命シ「チフテリ
ー」患者ニ與ヘテ或ハ塗布セシメ或ハ含嗽セシメテ好結果ヲ得タリト
云フ○夫レ格魯兒水ノ「チフテリー」ニ効アルコトハ昔シヨリ人ノ知ルト
コロナリ鹽酸性格魯兒酸加里水溶液ハ格魯兒水ト其効同一ナリ然ルニ
今殊ニ此ノ如キ合劑ニ此ノ如キ名ヲ命スルハ蛇足ナルベシ又曰クミル
ロン氏ハ此ノ如キ合劑ニ既ニ「オエクロリン」ノ名ヲ命シテ「アルカロ
イド」試薬トセリ (Ph. C. XXXV, 195).

○ヲキシン Oxin

脂肪等ヲ除去シタル牛肉ヲ搗碎シ砂糖ヲ和シ四十度ノ温ニ於テ十分ニ攪拌シ浸出シタル液ヲ適宜ニ蒸發シタル所ノモノニシテ消化力ノ衰弱シタル者又ハ重症後ノ回復期ニ與フルモノトス

●黄熱血清 Gelbfieber-Heilserum

黄熱血清ハ黄熱細菌ノ發見者プロフェツソルサナレルリ氏カ十二乃至十四ケ月間黄熱ニ感セサルニ至レル馬ヨリ得タル血清ニシテ細菌ヲ滅殺スルノ作用ヲ有ス奏効ノ第一標徴ハ過量ノ尿通ニ在リ (munch. med. Wchschr. 1898, 728)

○オルトオキシヂフェニールカルボン酸
Orthoxydiphenylcarbonsäure

本品ハ新防腐薬ナレテ需用極メテ少ナシ四分ノ「オルトオキシヂフェニール」ニ一分ノ腐蝕那篤倫ト水トヲ加ヘ蒸發乾燥シ之レヲ百度乃至二百二十度ニ熱シツ、炭酸瓦斯ヲ通シ之レヲ

水ニ溶解シ鹽酸ヲ加ヘテ製ス

○オムフアラ油 Oleum Omphalae megacarpal

「オムフアラ」油ハ亞米利加ニ産スル大戟科植物「オムフアラメガカルバ」ノ種子ヨリ得タルモノニシテ美味ヲ有シ一乃至二瓦ヲ服スルモ「」ニ瀉下ノ効ヲ奏ス (Ph. C. XXXIX 263)

●「オクリン」 Oculin

「オクリン」ハドクトルラーグラング氏カ眼病殊ニ網膜剝削ニ應用シタル新劑ニシテ牡牛ノ硝子体及ヒ Wimperkörper ニ同量ノ偏里設林ヲ加ヘテ冷浸シ而シテ后〇、七%ノ食塩液ノ同量ヲ添加シ濾過シタルモノニシテ通常之ヲ内容三立方「センチメートル」ノ小硝子壺中ニ滿テ、貯フ

本品ハ皮下ニ注射スルコトヲ得レトモラーグラング氏ハ多クハ水ニテ稀釋シテ内用ニ供セリ (Ph. C. XXXIX 775)

○ヲキシスバルテイン Oxyserpine $C_{15}H_{24}N_2O$
「スバルテイン」ノ酸化物ナリ白色引濕性ノ針狀結晶ナリ水、亞爾崗保兒、依的兒、嘔嘔防ニ溶
ケ易シ心臓ノ機能ヲ亢進セシムルノ作用アリト云フ (P. C. XXXIV. 61)

○ヲレヲクレヲソート Oleoresot.

「クレチソート」ノ油酸依的兒ニシテ帶黄色ノ液ナリ味ハ「クレチソート」ノ如シ然レモ舌上
ヲ腐蝕スルノ作用ナシ「クレチソート」ノ効ヲ應用ス (P. C. XXXIV. 240)

○オレチグアヤコール Oleoguaiacol (チレチクレチムート)ニ類ス)

○オイフォルビア、ピルリフエラ Euphorbia pilulifera (蛇咬藥)

●「オウアゲン」 Ovadin

「オウアゲン」ハ動物ノ卵巢ヨリ製シタル所謂器官製劑ノ一ニシシ淡紅
色ノ粉末ナリ殆ント臭味ナク水ニ溶解セズ稀醋酸ヲ加ヘテ煮沸スレ
バ膠様ニ變シ強鹽酸類ヲ以テスレハ分解シテ半バ溶解ス其灰分中ニハ

一、三乃至一、四%ノ磷酸ヲ含有ス本品ノ收獲量ハ之カ製造ニ供用スル
原料ノ異ナルニ從ヒテ一樣ナラス牛ノ卵巢ヲ以テスレハ三%豚ノ卵巢
ヲ以テスレバ五%ナリ而シテ沃度ノ含量ハ前者ニ在リテ〇、〇〇一二
七後者ニ於テハ〇、〇〇四八二六%ナリ在バーゼルホフマン、ラ、ロー
シ社ノ製造ニ係ル (Ph. C. XXXVIII 129)

○オスミューム酸 Acidum Osmicum $Os O_4$

無色又ハ帶黄綠色ノ針狀結晶ニシテ刺刺性ノ臭氣ト灼クカ如キ味トアリ強劇ノ防腐藥トス
外用ニハ一%溶液ヲ用ヒ内服ニハ〇、〇〇一チ丸劑トシテ與フ○水溶液ハ日光ヲ避ケテ貯フ
ヘシ

○オスミューム酸加里 Kalium Osmicum $K_2Os + 2H_2O$

紅色ノ結晶狀粉末ニシテ末梢神經痛、「レウマチス」性坐骨神經痛ニ皮
下注射ス癩癩ニハ貌魯謨加里ト伍シテ丸劑トナシ與フ注射ニハ一%液

ヲ用ヒ内服用ハ一回量〇、〇〇一乃至〇、〇〇一五ヲ白礬土ニテ丸トシ
用ユベシ

○ラドール Odol (口中清淨劑)

○オキシナフトイ酸 Acidum Oxynaphthoicum

白色無臭ノ結晶粉末ニシテ其防腐力ハ遙カニ撒里失兒酸ニ優レリ、本
品ハ水ニ溶解シ難キカ故ニ通常磷酸曹達ノ水溶液ニ本品ヲ一「プロセ
ント」ノ割合ニ溶解シ外用トナス内服ニハ一回ノ量〇、一〇〇、ニヲ取
ル但毒性強劇ナルカ故ニ大ニ注意セサルヘカラス

○オレキシニン Orexinum (鹽酸オレキシニンヲ見ヨ)

和部

○ワニリン Vanillin

「ワニリン」子實中ノ香料成分ニシテ香水ノ原料ナリ價頗ル不廉ナレ 凡其香氣ノ佳良ノ爲メ

ニ多ク使用セラル、大量ハ催淫、通經ノ効アリ (近時大ニ廉價トナレリ)

●「ワセロキシーチ」 Vaseloxylene

「ワセロキシーチ」ハ在アスニエールロータン及ヒツアロー氏ノ消毒劑製造所ニ於テ製造ス
ルモノニシテ流動、半流動及ヒ固形ノ三態アリ蓋シ「ワッゲン」類似ノ物ナルニシテ (Ph.C.XX
XVIIIAS)

●「ワレリヂン」 Valerydin



「ワレリヂン」ハ白色ニシテ光澤ヲ有シ百二十九度ニ於テ熔融スル無臭
無味ノ針狀結晶ニシテ亞爾爾保爾哥囉仿謨ニハ容易ニ依的兒及ヒ石油
依的兒ニハ困難ニ溶解シ水ニハ殆ンド溶解セス本品ハ化學上「バラア
ミドフェチトール」ノ纈草酸エステルト稱スヘキモノニシテ甲「フェナ

セチン」及ヒ纈草酸ノ藥物學的性質ヲ兼備ス一回用量〇、五乃至一、瓦
毎日數回服用セシムルコトヲ得ヘシ (Pharm. Ztg. 1898, 409)

○ワツゲン Vasogen

「ワツゲン」ハ膏藥類ノ素質トナスヘキ新藥ナリ弱亞爾加里性黃褐色濃
稠ノ液ナリ比重ハ〇、八九一ニシテ水ニ混淆スルキハ久シク分離セサル
白色ノ乳液ヲ成形スヘシ〇沃度防ハ能ク「ワツゲン」ニ溶解スルカ故ニ
水ニ沃度防ヲ乳加セシムルノ媒介トナスベシ其外「クレヲソート」「イ
ヒチヲール」「クレヲリン」等ヲ混和シテ使用スヘシ (P.C.XXXIV, Nr
48)

○ワセロン Vaseline

「ワセロン」ハ「ワセリン」ノ代用品ニシテ牛脂ニ石炭ヲ混シ乾縮シ得タルモノヲ華殺精油ニ
溶解シタルモノトス (Ph. C. XXXV, 280)

●「ワリドール」 Validol

「ワリドール」ハ薄荷腦ト纈草酸トノ化合物ニシテ尙三十%ノ游離薄荷
腦ヲ含有ス

本品ハ無色透明粘稠ノ液体ニシテ香氣緩和爽快、味ハ清涼ニシテ微ニ
苦シ在フランクフルトチンメル社ノ製造ニ係ルリ

本品ハ興奮劑トシテ用フレハ能ク其効ヲ奏シ而シテ毫モ局處ノ刺戟ヲ
ヲ認メズ十滴乃至十五滴ヲ砂糖ニ和シ一日一回若クハ數回服用セシムヘ
シ健胃劑トシテ用フレハ食欲ヲ催進シ嘔氣ヲ退ケ不快ヲ治スルノ効ア
リ又驅風藥トシテ用フ

本品數滴ヲ掌裏ニ摩擦シテ吸入スレハ吸器加答兒ノ初期ニ大効アリ又
最良ノ消毒藥ナリトス (Ph. C. XXXVII 1792)

●樺葉 Folia Betulae